

社会福祉法人 三徳会

令和7年度事業報告書

令和7年4月1日～令和8年3月31日

(2025.4.1～2026.3.31)

介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）成幸・戸越台・荏原・平塚橋
通所介護事業（デイサービス）成幸・戸越台・荏原・小山
短期入所生活介護施設（ショートステイ）成幸・戸越台・荏原・平塚橋
在宅介護支援センター（居宅介護支援事業、老人介護支援センター、地域包括支援センター）
成幸・戸越台・荏原・小山・小山台
障害者計画相談支援事業所（特定相談支援事業）荏原
高齢者多世代交流支援施設（ゆうゆうプラザ）平塚橋

目 次

	(頁)
1 概 要	1
2 役員会等	2
3 法人事務局	5
4 中期経営計画	8
5 利用者サービス	10
1. 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）成幸・戸越台・荏原・平塚橋	11
2. 通所介護事業（デイサービス）成幸・戸越台・荏原・小山	16
3. 短期入所生活介護事業（ショートステイ）成幸・戸越台・荏原・平塚橋	21
4. 在宅介護支援センター（居宅介護支援事業、老人介護支援センター、 地域包括支援センター）成幸・戸越台・荏原・小山・小山台	23
5. 障害者計画相談支援（特定相談支援）荏原	25
6 高齢者多世代交流支援施設（ゆうゆうプラザ）平塚橋	26
7 各施設共通サービス	27
8 各拠点の取組	30
9 平塚橋ゆうゆうプラザ	44
10 安全への取組	45
11 主な施設整備	46
12 研修報告	48
13 地域活動	49
14 その他	50
15 業 績	50

資料編

1. 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）	51
(1) 令和7年度の利用者動向	51
(2) 利用者の入退所状況	54
(3) 利用者の日常生活能力（ADL）	63
(4) 利用者の日常生活自立度	64
(5) 家族などの訪問(面会)者数・外泊状況	64
(6) 三徳懇談会	65
(7) セルフチェックシート（自己評価表）	67
栄養・調理	
(8) 個別の栄養状態に着目した栄養ケアマネジメントに基づいた特別な対応	70
(9) 残菜・嗜好調査	71
(10) 選択食、団らん食、お楽しみ食、その他	72
(11) 栄養出納表（年間平均）	74

健康管理

(12) 受診状況	75
(13) 利用者の診断病名	76
(14) 入院・退所状況	77
(15) 入院者病名および件数	77
(16) その他	78
(17) 機能訓練	79
2. 在宅サービス	80
(1) 年間利用者状況	80
①通所介護事業（デイサービス）	80
②短期入所生活介護事業（ショートステイ）	96
(2) 機能訓練	100
(3) 食事サービス（ショートステイ・デイサービス・配食）	100
(4) 健康管理	101
(5) 栄養調理	102
3. 在宅介護支援センター（居宅介護支援事業、老人介護支援センター、 地域包括支援センター）	104
(1) 年間利用者状況	104
(2) 介護保険利用者状況	114
(3) 障害者計画相談支援	124
(4) 認知症サポーター養成事業・認知症サポーターステップアップ事業	126
4. 高齢者多世代交流支援施設（ゆうゆうプラザ）	127
(1) 各事業参加状況	127
(2) 地域ミニデイ実施状況	128
(3) 利用者状況	130
5. 防災	132
(1) 防災委員会の開催	132
(2) 防災訓練の実施	134
6. 委員会活動	136
(1) 苦情解決・サービス向上委員会	136
(2) 安全衛生委員会	138
(3) 給食委員会	140
7. その他	142
(1) 研修報告	142
(2) 実習生受入れ	152
(3) 見学	152
(4) 近隣との交流	153
(5) ボランティア事業報告	154
(6) 令和7年度行事表	156

1 概 要

令和7年度は、年度当初に策定した「中期経営計画」の初年度であった。諸課題の整理、検討に着手し、進捗状況を室長以上が出席する事業会議（木曜会）にて四半期毎に報告を行った。

法人運営において、収益の増減に大きな影響を及ぼすのが、施設稼働率の推移である。特養4施設の年間平均稼働率は92.4%で、前年度比マイナス1.0ポイント減となり、昨今の物価高騰と合わせ、厳しい経営状況の主要因となったが、平塚橋ホームでは93.6%となり、前年度比プラス5.1ポイントを達成した。

長年の課題である人材確保では、人材派遣、介護ワーキングシェアサービスおよび人材紹介を利用して人材不足解消に努めたが、紹介機関への手数料負担が課題となった。また、インドネシアとミャンマー国籍の介護職員計17名を採用し、全介護職員に対する外国人人材の割合は年度末において20.5%を占めた。この人材を育成、定着させるため、日本語研修、介護福祉士資格取得へ向けた支援研修・対策講座や理事長と外国人職員とのフリートークの会等を開催した。研修や講座を積極的に開催し、各人の努力も相まって、介護福祉士国家試験については外国人職員7名が合格した。

法人の魅力度アップとしては、働きやすい職場づくりへ向けたハラスメント相談窓口、メンタルサポートの充実や、職員の負担軽減を図るICT機器の活用検討導入を進めた。ユニフォームについては、機能性とデザイン性の観点から職員の意見を取り入れ検討し、令和8年度の更新につなげた。さらに、年間公休日を110日から120日に拡大した。

また、地域貢献活動として「生と死を見つめる懇談会」「元気クッキング」を継続実施するとともに、特養ホームへの入所説明・見学会も実施した。さらに、法人アピールの一環として、職員公募による新ロゴマークを決定した。

各施設の特記としては、令和6年度末に退任した施設長2名の後任として新たに2名の副施設長が昇任した。また、医療体制の強化を図るため、新たに厚生中央病院と協定締結を行うとともに、成幸・戸越台・平塚橋各ホームは新たな嘱託医と契約締結を行った。

成幸ホームでは大規模改修工事から6年経過した施設の老朽化状況の確認を行うとともに、令和7年10月末に閉院した内野医院跡の空きスペースの活用について検討を行った。戸越台ホームでは品川区認知症啓発活動（橙プロジェクト）の一環として、施設玄関にオレンジ色の花を設え撮影スポットを設置した。荏原ホームでは年度末に大規模改修工事がほぼ完了し、施設のリフレッシュ化が図られた。平塚橋ホームでは令和8年7月から給食業務を従来の業者委託方式から調理・冷凍した食材を納入するクックチル方式を用いた直営化に移行するための準備作業を進めた。

小山の家は令和8年3月31日に、平塚橋ホーム・ゆうゆうプラザは令和8年4月30日に指定管理期間が満了となるのに伴い、品川区が新たな指定管理者選定のための選定委員会を実施し、両施設とも当法人が今後5年間の指定管理者として選定された。

令和7年9月11日に発生した集中豪雨により、各施設で浸水等の影響を受けた。特に戸越台ホームでは、エレベーター機器内部に大量の雨水が流れ込み、5日間停止状態となり、業務に大きな支障が生じた。

2 役員会等

1) 令和7年度理事会の開催状況および審議の概要は、次の通りである。

開 催 日 時	審 議 事 項
第237回理事会 令和7年5月31日(土) 成幸ホーム 1階会議室	1. 評議員選任・解任委員の選任(案)について 2. 第12期評議員候補者について 3. 理事および監事候補者の推薦について 4. 令和6年度事業報告(案)について 5. 令和6年度決算報告(案)および監事監査報告について 6. 評議員および定時評議員会の招集について 7. 給与規程の一部改正について
第238回理事会 令和7年6月21日(土) 平塚橋ホーム 1階コミュニティ室	1. 理事長の選定について
第239回理事会 令和7年9月27日(土) 戸越台ホーム 10階会議室	1. 令和7年度食事サービス委託業務契約の変更について 2. 運営管理規程の一部改正について 3. 給与規程の一部改正について 4. 非常勤職員就業規則の一部改正について 5. 経理規程の一部改正について 6. 第85回評議員会の招集について ※報告事項 ①理事長の業務執行報告について ②外国人介護職員状況報告について ③新たな医療機関との連携体制について ④集中豪雨(9月11日)発生に伴う施設への影響報告について
第240回理事会 令和7年12月13日(土) 平塚橋ホーム 1階コミュニティ室	1. 令和7年度第一次資金収支補正予算(案)について 2. 顧問弁護士新規契約について ※報告事項 ①令和7年度上半期事業活動収支報告について ②指定管理者の指定について
第241回理事会 令和8年3月14日(土) 荏原ホーム 2階多目的室	1. 収益事業の廃止について 2. 定款の一部改正について 3. 定款施行細則の一部改正について 4. 組織規程の一部改正について 5. 就業規則の一部改正について

	6. 非常勤職員就業規則の一部改正について 7. 給与規程の一部改正について 8. 経理規程の一部改正について 9. 令和8年度事業計画（案）について 10. 令和8年度資金収支予算（案）について 11. 令和8年度委託契約について 12. 第86回評議員会の招集について ※報告事項 ①資金運用について
--	--

2) 令和7年度評議員会の開催状況および審議の概要は、次の通りである。

開催日時	審 議 事 項
第83回定時評議員会 令和7年6月21日(土) 平塚橋ホーム 1階コミュニティ室	1. 理事および監事の選任について
第84回評議員会 令和7年6月21日(土) 平塚橋ホーム 1階コミュニティ室	1. 令和6年度決算報告および監事監査報告について ※報告事項 ①令和6年度事業報告について
第85回評議員会 令和7年12月20日(土) 荏原ホーム 2階多目的室	1. 令和7年度第一次資金収支補正予算（案）について ※報告事項 ①令和7年度上半期事業活動収支報告について ②指定管理者の指定について
第86回評議員会 令和8年3月21日(土) 平塚橋ホーム 1階コミュニティ室	1. 定款の一部改正について 2. 令和8年度事業計画（案）について 3. 令和8年度資金収支予算（案）について

3) 令和7年度監事監査の開催状況の概要は、次の通りである。

開催日時	開 催 状 況
監事監査 令和7年5月19日(月) 荏原ホーム 1階機能回復訓練室	1. 各サービスの事業状況、会計についての監事監査

4) 令和7年度評議員選任・解任委員会の開催状況は、次の通りである。

開催日時	開催状況
評議員選任・解任委員会 令和7年5月31日(土) 成幸ホーム 1階会議室	1. 第12期評議員の選任について

5) 役員等名簿

理事長	小 濱 哲 二	医療福祉関係者
理 事	鈴 木 恂 子	医療福祉関係者
〃	井 上 幸 彦	学識経験者
〃	内 野 正 隆	医療福祉関係者
〃	村 和 男	学識経験者 【令和7年12月14日退任】
〃	小 林 光 俊	医療福祉関係者
〃	西 村 信 一	医療福祉関係者
〃	石 渡 恵美子	施設長代表
〃	提 坂 義 文	施設代表 【令和7年6月21日就任】
任 期	令和7年6月21日～令和9年定時評議員会	

評議員	酒 井 隆	医療福祉関係者
〃	阿 世 知 堯	地域の代表者 【令和7年6月21日退任】
〃	國 分 幹 郎	地域の代表者
〃	宮 坂 衛	家族代表
〃	高 橋 初 美	家族代表 【令和7年6月21日退任】
〃	宮 良 恵美子	家族代表
〃	片 岡 玲 子	学識経験者 【令和7年6月21日退任】
〃	平 田 実	学識経験者
〃	戸 田 光 則	地域の代表者 【令和7年6月21日退任】
〃	時 田 和 彦	地域の代表者 【令和7年6月21日就任】
〃	亀 井 哲 郎	地域の代表者 【令和7年6月21日就任】
〃	河 野 義 男	地域の代表者 【令和7年6月21日就任】
〃	中 田 洋二郎	学識経験者 【令和7年6月21日就任】
〃	飯 塚 美紀子	学識経験者 【令和7年6月21日就任】
〃	山 口 由美子	学識経験者 【令和7年6月21日就任】
任 期	令和7年6月21日～令和11年定時評議員会	

監 事	銅 谷 勝 子	医療福祉関係者 【令和7年6月21日退任】
〃	碓 井 憲 男	学識経験者 【令和7年6月21日退任】
〃	松 田 雄 二	医療福祉関係者 【令和7年6月21日就任】
〃	小 西 めぐみ	学識経験者 【令和7年6月21日就任】
任 期	令和7年6月24日～令和9年定時評議員会	

3 法人事務局

令和7年度は事務局長を中心に、事務局組織の再編を図った。前年度末に会計担当者の急な退職、新規採用者も試用期間での退職もあり、事務職員不足の中業務を行った。令和7年度末に、事務職員2名の採用が決定し、令和8年度に向けて職員の補充はできた。

また、介護職等の人材確保に力を入れ、正職員33人（内介護職員27人）非常勤職員11人（内介護職員3人）の採用を行った。

（1）利用者満足度の向上・法人アピール戦略

ホームページによる情報発信に加え、新たにInstagramを活用した情報発信を開始した。運用にあたっては、各セクションの協力のもと、組織横断的に取り組みを推進することができた。

特に、平塚橋ゆうゆうプラザの認知向上および魅力発信の手段としてInstagramを積極的に活用した結果、フォロワー数も着実に増加するなど、一定の成果が見られた。

（2）財政適正化

6月に決算報告会を開催し、法人の財政状況および経営状況について職員へ周知を図った。決算報告会以降は、職員からの関心や理解が深まるなど、一定の反響が見られた。

また、11月に開催した事業会議（木曜会）においては、上半期の収支状況について説明を行うなど、職員が法人の経営状況を適切に把握できるよう努めた。

（3）人材の確保・育成・働きやすい職場環境整備

外国人材の育成を目的とした研修を実施し、日本語レベルおよび目標資格に応じた複数の研修を体系的に開催した。

日本語研修においては、来日直後の職員を対象に、日本語能力試験N3取得を目標とした内容とし、毎月1回の頻度で継続的に実施した。

また、実務者研修受講者を対象とした研修では、課題への取り組みを支援する内容とし、理解の促進を図った。さらに、介護福祉士試験の合格を目指す研修については、外部講師を招へいし、複数回にわたり専門的な指導を実施するなど、資格取得に向けた支援体制の充実に努めた。

退職者の抑制および働きやすい職場環境の整備を目的として、公休を120日に拡大した。

しかしながら、採用が計画どおりに進まず、職員確保が困難な状況となり、結果として職員不足が一層顕在化することとなった。その影響により、既存職員への業務負担が増加し、超過勤務が増加する結果となった。

1) 外国人介護職員の資格取得支援および受験結果

外国人職員の専門性向上および定着促進を目的として、介護福祉士資格取得に向けた体系的な支援を実施した。日本語研修（JLPT N3 対策）、実務者研修支援、外部講師による受験対策講座等を組み合わせ、段階的な学習機会の確保に努めた。

その結果、令和7年度の介護福祉士国家試験において、外国人職員7名が合格し、法人内の外国人介護福祉士は計10名となる。

2) 介護福祉士試験 受験状況および研修受講状況 (単位：人)

区分	受験者数	合格者数	合格率	研修受講者数
外国人職員	13	7	53.8%	10
日本人職員	1	1	100.0%	1
合計	14	8	57.1%	11

3) 職員の採用実績

正職員

(単位：人)

採用実績(正職員)	介護職員	介護補助等職員	看護職員	訓練指導員	相談員	栄養士	事務職員	計
令和7年4月1日採用	5	—	3	—	—	—	1	9
対象年度中途採用	22	—	—	1	—	—	1	24
計	27	—	3	1	—	—	2	33

非常勤職員

(単位：人)

採用実績(非常勤職員)	介護職員	介護補助等職員	看護職員	訓練指導員	相談員	栄養士	事務職員	計
対象年度中途採用	3	6	—	1	1	1	—	12

4) 職員の退職

年度内の正職員離職率 15.1%

(単位：人)

雇用形態	介護職員	介護補助等職員	看護職員	訓練指導員	相談員	栄養士	事務職員	計
正職員	14	—	3	—	—	—	3	20
非常勤職員	10	4	1	1	1	—	—	17
計	24	4	4	1	1	—	3	37

(4) 業務効率化

現金の取扱いを見直し、キャッシュレス化を推進することで、金融機関の利用頻度を低減し、業務効率の向上を図った。

また、業務マニュアル（作業手順書）を整備し、担当者不在時においても円滑に業務対応が可能となるよう、業務の標準化および改善を推進した。

(5) 業務効率化

備蓄品の補充については事務局において一元的に実施し、業務効率化の観点も踏まえた対応を行った。

また、各拠点における防災訓練については、事務職員も積極的に参加した。さらに、単なる参加にとどまらず、防災訓練の企画・運営を担う事務職員の育成が進み、主体的な関与の促進につながった。

(6) 地域貢献

欠員補充に伴う採用活動において、各施設の掲示板等を利用して近隣住民を対象とした求人施策を重点的に実施した。職住近接の就労機会を提供することで、地域住民の社会参画を促しつつ、生活基盤の安定と雇用創出に寄与した。

この取り組みにより「地域住民が地域を支える」相互扶助の体制を強化し、単なる人員確保に留まらず、地域経済の活性化と福祉への理解を深める契機とした。今後も継続的な採用を通じて、地域共生社会の実現に貢献していく。

(7) 成幸ホーム建物管理

大規模改修に向けた体制整備として職員の配置転換を行い、まずは建物の現況把握および状態確認に努めた。

その中で、LED照明の全面更新や給湯設備の更新を実施するなど、施設の適切な維持管理および環境改善に取り組んだ。

4 中期経営計画

（3か年計画 令和7年4月1日～令和10年3月31日）

福祉を取り巻く環境は急激に悪化しており、安定的な運営を妨げる事態を引き起こしている。財政面では赤字経営が続いており、財務体力も確実に低下している。このような現況をしっかりと分析を的の確な対策を講じるため、令和7年度から中期経営計画（3か年計画）を策定した。

令和7年度の実績と達成度は以下のとおりである。

達成度の記号 ◎達成できた ○70%程度達成 △50%程度達成 ☆着手（継続）
空白 未実施

課題目標		達成	取組内容
【法人運営の適正管理】			
収益増への取組み	特養：入所・再入所までの期間短縮	△	入所調整表を作成して活用中
	ショートステイ：相談員の配置		未実施
	デイサービス：利用者ニーズに合わせたサービス提供	△	アンケートを実施し、集計した内容を次年度の事業計画に反映
	認知症対応型デイサービスの強化	☆	研修計画表を作成し、次年度の計画を立案
	情報提供		未実施
	支援センター業務の平準化	☆	算定可能な加算は継続して算定している
人事管理	人材不足解消の取組み	☆	外国人介護人材・人材紹介の採用、スポットワーカー活用
	外国人介護人材の受入れ	◎	登録支援機関（2社）、日本語力向上のための支援
	業務習得手順の標準化	☆	スキルアップシートの運用
	研修計画	☆	合同研修の開催、オンライン研修の拡大
	資格取得の推進	△	介護福祉士試験は、外部講師による定期研修を実施した
	外国人介護人材への対応	△	理事長との懇談会開催、課題整理
業務効率化	業務フローチャートの作成	☆	業務手順書を個々に作成
	業務マニュアルの作成	☆	一部着手
	文書の電子化・文書保存・保存期間		未実施
	勤怠管理業務の電子化		未実施
	現金精算の削減	◎	旅費交通費を給与に合わせて支給
	ICT環境の整備	☆	PCの一部リース化開始
	現状のコスト整理・物品の適正購入	☆	少額消耗品購入時も業者比較

	購入手続き・在庫管理	☆	供給状況を確認した在庫管理
災害・感染症対策	災害対策・BCP（事業継続計画）	☆	非常食の整備
	感染症対策	☆	各拠点
【法人の魅力度アップ】			
働きやすい職場づくり	働きやすい労働環境の整備	○	各施設のハラスメント窓口揭示の更新
	介護機器の活用	☆	施設ごと介護機器の更新を実施 福祉機器展への見学参加
	ユニフォームの見直し	◎	ポロシャツ・パンツのリニューアルを実施
	職員参加の充実	○	職員会にて職場環境についての 提案するガイドラインを作成
コンプライアンス強化	教育と研修	☆	カスタマーハラスメント動画の 視聴と紹介
	自己点検	☆	品川区セルフチェックの実施
	相談窓口の活用	◎	相談窓口ポスターの更新および 掲示
	コンプライアンス手続きの見直し	△	必要に応じて検討
地域貢献	指針作成		未実施
	地域ニーズを把握した事業継続	◎	近隣町会との連携強化。区民ま つりにボランティア参加
法人アピール戦略	ホームページ・SNSの活用	△	各施設の掲載方法と頻度を検討
	法人アピールポイントの把握	◎	施設説明会・見学会の開催。東 社協「アクティブ福祉」の掲載
【成幸ホーム維持管理】			
現状把握と中期改修修繕計画の作成			館内LED工事完了
大規模改修に向けて			建物管理業者と相談

5 利用者サービス

(介護老人福祉施設・通所介護事業・短期入所生活介護施設)

【令和7年度重点目標】

加齢や疾病により自宅での生活が困難になった場合でも、地域での継続した生活を実現するため、本人の希望に基づいた適切な介護サービスを提供している。

施設入所後は、生活環境が変わっても本人の生活スタイルを尊重できるよう、入所前の状況や生活歴を踏まえ、本人・家族とのコミュニケーションを重ねて支援している。

1) 尊厳の重視

利用者の価値観や生活観を尊重し、本人が主体的に生活を組み立て、その可能性を追求し続けられるよう支援を行った。尊厳の保持を基本としつつ、個々の状態に合わせた支援を提供した。

2) 権利擁護と虐待の防止

毎月開催される虐待防止検討委員会での学習や、権利擁護に関する伝達研修を通じて、職員が利用者の基本的権利を再認識できるよう取り組んでいる。さらに、「虐待の芽チェックリスト」を用いて日常ケアを振り返る仕組みを整えた。

3) 医療連携と看取り介護の充実

在宅サービスでは、日常の状態を把握し、変化が見られた場合には家族やケアマネジャー、必要時には訪問看護や主治医と連携を行った。ホームにおいては、新たな協力医療機関の体制と配置医の変更を行うことで、利用者および家族の安心感につながった。看取り介護においては、本人の苦痛緩和と家族の納得感を重視し、各専門職が連携して支援にあたった。

4) 地域連携・地域貢献

ホームにおいては、町会や戸越台中学校、荏原平塚学園との交流事業を継続し、地域社会との連携強化に努めた。デイサービスにおいては、各施設の状況を踏まえ、感染症対策を講じたうえで、夏祭り、クリスマス会、フラダンス等の多様な行事を実施した。さらに、近隣行事に積極的に参加することで、地域貢献の一助を担った。

また、実習生および職場体験の受け入れ、ならびに保育園児との交流を継続し、地域貢献の推進に取り組んだ。

5) 感染対策

日常的に求められる感染症対策は、在宅サービスとホームの双方で標準予防策として共有され、共通理解が図られている。万が一の事態に備え、継続的な取り組みを行った。

1. 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）

（成幸・戸越台・荏原・平塚橋）

区 分	成 幸	戸越台	荏 原	平塚橋
定 員(人)	88	72	120	100

【令和7年度重点目標】

1) 収益増への取り組み

稼働率を維持・向上させるために、入所の意向確認から、入所が決まるまでの期間を1か月以内と目標設定をして、入所受け入れ調整を意識して行った。

2) 人材確保

職員の配置割合を確認して、複数の人材募集媒体を活用し、介護福祉専門学校への募集や定期的にハローワークへの求人依頼をした。また、外国人職員のスキルアップのために、日本語の習得や専門知識の勉強会を定期的に行い、コミュニケーション能力が高まり、7名の外国人職員が介護福祉士国家試験に合格した。

3) 業務効率化

事務処理の効率化、マニュアル作成、現金精算の削減、ICT環境の整備、コストの削減等を意識して行い、業務の効率化を図った。

4) 災害・感染症対策

災害対策では、利用者および職員の命を守るために、必要に応じ防災計画の見直しを行い、災害用備蓄品の管理、防災訓練などを実施した。

感染症対策では、基本的な感染症予防を継続しつつ、感染症発生時に備えた実践的な訓練を定期的実施した。

表① 利用者状況（令和8年3月31日現在）

区分	性別	定員 (人)	最高年齢 (歳)	平均年齢 (歳)	平均 要介護度	年度内 総入所者 (人)	平均 稼働率 (%)
成 幸	男性	16	98	87.7	3.2	9(8)	88.3
	女性	72	102	88.2	3.4	44(22)	
	計	88	—	88.1	3.3	53(30)	
戸 越 台	男性	18	101	88.1	3.8	15(7)	92.3
	女性	54	109	89.7	3.6	23(17)	
	計	72	—	88.9	3.7	38(24)	
荏 原	男性	13	99	89.0	3.5	14(6)	94.4
	女性	107	100	89.0	3.5	85(31)	
	計	120	—	89.0	3.5	99(37)	
平 塚 橋	男性	30	93	86.5	3.8	17(9)	93.6
	女性	70	103	90.1	3.6	36(24)	
	計	100	—	90.3	3.5	53(33)	
法 人 計	男性	77	101	87.8	3.6	55(30)	92.4
	女性	303	109	89.3	3.5	188(94)	
	計	380	—	88.4	3.6	243(124)	

※（ ）内の数字は実入所者数。一時利用含む

※詳細は51～61頁を参照

（１）生活全般の支援サービス

１）介護サービス

①食事

食事は利用者の大きな楽しみの一つである。感染症に十分留意しながら美味しく、楽しく、安心で安全な食事を提供することに努めるとともに、給食委託業者と連携し、食品衛生法に基づき衛生的で安全な食事提供に努めた。また、多職種連携により栄養ケア・マネジメントを実施し、適切な食事サービスを提供した。

②入浴

利用者個々の状態に合わせて介助浴や機械浴などの方法を随時見直した。身体を清潔にすることだけでなく、リラックスした空間での入浴となるように、音楽を流したり、また、季節を感じる行事として菖蒲湯、柚子湯を実施した。

③排泄

できる限りトイレでの排泄を促し、利用者個々の排泄リズムに合わせることができるようケアを行った。身体状況に合ったオムツの使用、回数などを見直し、ケアプランに反映した。

④その他サービス

施設の状況に応じて、外部業者による理美容サービスを提供し、本人の要望に応じたヘアスタイルを提供した。また、爪切りや耳垢清掃、髭剃りなどを随時行い、身だしなみを整えた。

2) 健康管理

季節を問わない感染症となった新型コロナウイルス感染症やインフルエンザが各施設内で発生した。拡大防止対策で外部講師による研修実施や平時から感染症発生の可能性を念頭におき業務にあたった。

入所者の高齢化、重度化により、嚥下機能、身体的機能の低下に伴い医療行為や処置件数が増加している。皮膚トラブルを起こしやすく、褥瘡のリスクも高まっているため介護職員、看護職員と連携をとりながら、こまやかなケアを提供するよう努めた。

3) 機能訓練

利用者それぞれのADL(日常生活動作)の維持・安定を目的に、機能訓練を実施した。ベッドでの起居動作・立ち座り動作・歩行動作訓練などを通じて訓練指導員が現状の評価を行い、ポジショニングやシーティング、実際の生活の中での介護職員の実践等多職種連携で取り組んだ。

また、利用者の身体状況に適した福祉用具(杖・歩行器・車いすなど)の選定を行い、定期的に安全性や使いやすさの見直しを行った。その他、誤嚥性肺炎の予防を目的に嚥下体操やマッサージを行い、より安全な食事姿勢の確保に努めた。

(2) その他のサービス

1) 三徳懇談会

毎月、利用者満足度のサービス向上を目的とし、利用者への情報提供と意見交換や要望などをうかがう機会を設けた。

表②

区 分	参加延べ人数
成 幸	139
戸 越 台	91
荏 原	135
平 塚 橋	56

2) クラブ活動への参加

感染対策を講じながら、利用者の希望する活動に参加していただき、単調になりがちな日常生活に活気のある生活を送れるように努めた。

(3) 相談・情報提供

1) 相談サービス

①家族懇談会

上半期、下半期で計2回の家族懇談会を実施した。介護保険制度の改正や介護保険負担限度額申請等の案内、日々の利用者の生活の様子を伝えた。また家族にアンケートの記載をお願いし、アンケート結果をサービスに反映できるよう努めている。施設サービス計画書、栄養ケア・マネジメント計画書、個別機能訓練計画書は更新

のたびに送付をして同意を得た。

表③

区 分	実施月日	参加人数
成 幸	9月28日	9
	3月28日	11
戸 越 台	7月13日	21
	3月29日	26
荏 原	10月26日	28
	3月15日	32
平 塚 橋	9月27日	31
	3月14日	34

②苦情相談窓口

苦情対応窓口や意見箱に寄せられた意見や提案などは迅速に対処して、定期的に開催される苦情解決・サービス向上委員会に報告した。

2) 生活だより

利用者の施設における生活状況を家族に伝えるものとして、各施設で広報紙を発行し、館内での掲示、家族へ送付した。

(4) その他

1) 福祉サービス第三者評価

戸越台ホーム、平塚橋ホームは第三者評価を受審した。主な内容は利用者調査、職員自己評価、利用者聞き取りおよびアンケートであり、受審結果をもとにサービスの質の向上を図り、利用者本位の福祉の実現をめざしていく。

・戸越台ホーム

利用者聞き取り調査 令和7年11月13日 利用者8名

利用者アンケート（郵送） ショートステイ利用者11名

訪問調査 令和7年12月17日

調査機関：NPOサービス評価機構

・平塚橋ホーム

利用者聞き取り調査 令和7年10月28日 利用者15名

利用者アンケート（郵送） ショートステイ利用者35名

訪問調査 令和7年12月16日

調査機関：NPOサービス評価機構

・成幸ホーム

利用者聞き取り調査 令和7年11月10日 利用者10名

2) セルフチェックシート（自己評価）

品川区がサービス向上の仕組みとして「施設サービス向上研究会」で開発したセルフチェックシートを用いて施設サービスの評価を行い、評価結果をもとに課題を明確化し、計画的に改善を進めた。

3) 介護サービス情報の公表

毎年、東京都へ介護サービス情報を報告している。その結果はとうきょう福祉ナビゲーションの「介護サービスの情報の公表」で公開されている。

4) 実地指導

- ① 対象事業所 荏原特別養護老人ホーム・荏原老人短期入所施設
実施日時 令和7年11月20日、21日
- ② 対象事業所 小山在宅サービスセンター
実施日時 令和7年9月25日

2. 通所介護事業（デイサービス）

（成幸・戸越台・荏原・小山）

定員（人）

（1日あたり）

		成 幸	戸越台	荏 原	小 山
基 本	総合事業	20	30	40	
	介 護				
認知症対応			10	10	10

【令和7年度重点目標】

1) 利用者満足度の向上

余暇時間の充実を図るため、季節の作り物や新しい企画を積極的に実施し、楽しみながら参加できる活動を提供した。また、地域との交流促進として職場体験やイベントボランティアの受け入れなどを進め、利用者が多様な関わりを持てるよう努めた。さらに、利用者ニーズを的確に把握するために利用者満足度アンケートを実施し、その結果を今後のサービスにつなげるよう検討した。リハビリに関して、個々の身体機能や生活スタイルに合わせたリハビリを多職種で検討しながら実施した。また、楽しみながら参加できるレクリエーションリハビリも取り入れ、利用者の意欲向上と機能維持に努めた。

2) 財政適正化

稼働率向上を図るため、積極的な新規利用や増回の受け入れに加え、臨時・振替利用、送迎時間の変更、時間延長など柔軟な対応を行った。また、居宅支援事業所へ空き情報を適宜提供し、利用調整につなげた。

3) 人事管理

認知症実践者研修、品川福祉カレッジ「意思決定支援の基礎と応用」や「虐待防止研修」、また、アドミニストレーター養成研修などに参加し、職員間で情報共有しながら介護の質の向上に努めた。

4) 業務効率化

荏原では仮設から本設へ移行し大きく環境が変化した。マニュアルの見直しを進めることで支障なく運営を継続することができた。また、日々の業務で生じる課題については、多職種でミーティングを行いながら検討し、改善策を共有することで業務の効率化と質の向上に努めた。

5) 災害・感染症対策

基本的な感染症対策を継続して実施し、施設内での感染拡大防止に努めた。また、災害発生時の事業継続を確保するため、BCPの検討や見直しを行い、非常時における

る対応体制の強化を図った。

表④ 基本デイサービス・認知症デイサービス総計 (単位：人)

区 分	R 7 年度	R 6 年度	R 5 年度
成 幸	5,547	5,438	6,378
戸越台	7,637	7,664	6,977
荏 原	8,096	8,472	9,894
小 山	1,599	1,784	1,631

※詳細は80～95頁を参照

※成幸は基本事業のみ

(1) 基本デイサービス（予防事業・介護給付）

個々の利用者に対して、本人、家族の希望を尊重し、その人の必要に応じた通所介護計画を作成し同意を得て交付、それをもとにクラブ活動、機能訓練、入浴、食事等を提供した。高齢者は、体調が変化しやすいので家族との連絡を密にとり、利用中の小さな変化も見落とさず、迅速に的確な対応が行えるように努めた。また、年間を通して感染症対策を徹底しながら事業運営を行った。

表⑤

区 分		R 7 年度			R 6 年度			R 5 年度		
		延べ利用者数	稼働率		延べ利用者数	稼働率		延べ利用者数	稼働率	
成 幸 定員20人	予防	2,129	5,547	90.2%	1,982	5,438	88.4%	1,600	4,958	80.5%
	介護給付	3,418			3,456			3,358		
戸越台 定員30人	予防	1,940	6,748	73.3%	2,249	6,496	70.3%	2,236	6,577	71.1%
	介護給付	4,808			4,247			4,341		
荏 原 定員40人	予防	2,717	6,547	53.3%	2,372	6,877	55.8%	2,535	8,165	66.3%
	介護給付	3,830			4,505			5,630		

※詳細は80～95頁を参照

(2) 地域密着型認知症対応型デイサービス

戸越台・荏原・小山

利用者一人ひとりが自分らしく生きがいのある生活を送れることを目標に、家族、ケアマネジャーと連携をとり、また、担当者会議において情報交換とケアプランの検討・再検討を行った。さらに年間を通して感染症対策に留意しつつ事業運営を行った。

表⑥

区 分	R 7 年度		R 6 年度		R 5 年度	
	延べ利用者数	稼働率	延べ利用者数	稼働率	延べ利用者数	稼働率
成 幸 定員10人	—	—	—	—	1,421	46.1%
戸越台 定員10人	889	28.7%	1,168	37.9%	400	13.1%
荏 原 定員10人	1,549	50.4%	1,589	51.7%	1,764	56.1%
小 山 定員10人	1,599	52.1%	1,784	58.0%	1,631	52.9%

※成幸は6年度休止、7年度廃止した

※詳細は80～95頁を参照

(3) 介護予防事業（身近でトレーニング）

戸越台・荏原

在宅生活の継続を支援するサービスとして、自宅でも「体力づくり」「運動習慣づくり」に取り組めるよう、椅子など身近な道具を使った運動方法を指導した。

表⑦

(単位：人)

区 分		R 7 年度	R 6 年度	R 5 年度
戸越台	実人数	255	144	144
	延人数	836	419	490
荏 原	実人数	—	—	72
	延人数	—	—	250

※荏原 大規模改修工事の関係で休止

※詳細は86～87、90～91頁を参照

(4) その他

1) 入浴サービス

自宅での入浴が困難な方に、健康面と衛生面を保持するために利用者のADLに合わせて介助浴、機械浴の2タイプの入浴方法で対応した。また、家庭で入浴しているような雰囲気を作り、気分転換や情報交換の場としての活用も図った。

表⑧ (単位：人)

区 分	R 7 年度	R 6 年度	R 5 年度
成 幸	延3,886	延3,690	延4,024
戸越台	延3,991	延3,943	延3,887
荏 原	延4,535	延4,989	延5,649
小 山	延 858	延 730	延 530

※詳細は82～83、86～87、90～91、94～95頁を参照

2) 機能訓練

生活機能の維持向上を目的に、基本プログラムとグループ・選択別プログラムを設けて機能訓練を実施し、生活機能の改善や転倒予防、意欲の向上などを図るとともに、自宅での役割や地域活動への積極的参加を促した。

また、機能訓練加算については、通所介護個別機能訓練加算Ⅰ（成幸、戸越台、荏原）を算定し、義務付けられた3か月に一度の訪問を、訓練指導員・相談員・介護職員で分担して行い、「活動」と「参加」の向上を図った。

表⑨ (単位：人)

区 分	R 7 年度	R 6 年度	R 5 年度
成 幸	延3,523	延3,225	延3,015
戸越台	延7,303	延7,292	延6,563
荏 原	延3,776	延2,864	延3,189

※詳細は82～83、86～87、90～91頁を参照

3) 食事サービス（通所、訪問）

食事サービスについては、栄養相談を行い疾病や障害を考慮した食事を提供した。在宅の利用者および家族へは情報提供を行った。

表⑩ (単位：件)

区 分		R 7 年度	R 6 年度	R 5 年度
成 幸	通所サービス	5,706	6,379	5,377
	訪問給食	341	816	1,100
戸越台	通所サービス	6,558	6,821	5,969
	訪問給食	2,198	2,846	2,559
荏 原	通所サービス	8,020	9,738	10,247
	訪問給食	630	944	932

※詳細は82～91頁を参照

4) クラブ活動

感染症対策として講師やボランティアの受け入れを見合わせたなかでも、楽しく参加できるように工夫をして、音楽リハビリ・習字・生け花・手芸・切り紙クラブなどを行った。作品は施設内に展示することにより、創作意欲の向上や、活動への励みとなった。

5) 保険外サービス

障害者や介護保険非該当の方、また長時間利用が困難な方の食事、入浴等のサービスを行った。

6) 健康管理

年々、重介護を必要とする利用者や、さまざまな慢性疾患をもつ利用者が増えてきている。安心して利用していただくための事前訪問、来園時のバイタルチェック、全身状態の観察を利用時に実施した。

表⑪

(単位：件)

区 分	R 7 年度	R 6 年度	R 5 年度
成 幸	8,615	10,005	11,736
戸越台	11,574	12,513	11,427
荏 原	12,631	10,980	12,395

7) 四季の行事

花見、夏まつり（納涼祭）、ドライブ、クリスマス会、節分、ひな祭り、菖蒲湯、柚子湯等、四季折々の行事を感染症対策を実施しながら、各施設の状況に合わせて実施した。

8) 認知症対応型通所介護運営推進会議

認知症対応型通所介護のサービスの質をより向上し、利用者のニーズに合ったサービス内容とするため、利用者とその家族、行政（品川区高齢者福祉課）、地域の関係者などにお集まりいただき、事業所ごとに6か月に1回開催した。

3. 短期入所生活介護事業（ショートステイ）

（成幸・戸越台・荏原・平塚橋）

定員（人）

（1日あたり）

区 分	成 幸	戸越台	荏 原	平塚橋
定 員	8	8	24	12
特養空床利用	4	4	6	5

【令和7年度重点目標】

1) ケアプランに基づき、利用者・家族の意向を反映したサービスの提供

利用者一人ひとりのケアプランに沿ってサービス計画書を作成し、利用者および家族と内容を丁寧に共有した。意向を反映した支援が行えるよう、サービス開始前の説明や利用中の情報共有にも努め、安心して利用できる環境づくりを継続した。

2) 利用者のADL維持向上を目的としたリハビリやレクリエーションの実施

自宅での生活を継続できるよう、利用前と同等の状態で帰宅できることを目標に、集団リハビリやレクリエーションを計画的に実施した。また、個別の身体機能に応じた活動の機会も設け、ADL維持・向上に向けた取り組みを継続した。

3) 緊急ショートステイの受け入れや急な利用希望への対応

地域からの緊急的な受け入れ依頼に対し、可能な範囲で柔軟に対応した。急な利用希望にも迅速に日程調整を行い、介護負担軽減に寄与した。

4) 目標稼働率の維持・向上

本年度は稼働率が厳しい状況で推移したが、地域のニーズを分析し、適正な稼働率の確保に向けた取り組みを継続した。今後も関係機関との連携強化や情報発信の工夫を図り、利用促進につなげていく。

5) 感染対策の継続

平時から基本的な感染対策を徹底し、利用者・家族・職員の安全確保に努めた。手指衛生、環境整備、体調管理などの基本対策を継続し、安心して利用できる環境を維持した。

表⑫

区 分	R 7 年度		R 6 年度		R 5 年度	
	延べ 利用日数	稼働率	延べ 利用日数	稼働率	延べ 利用日数	稼働率
成 幸 定員 8 人	746	25.5%	488	8.6%	823	14.2%
戸越台 定員 8 人	1,460	50.0%	1,155	39.6%	977	33.4%
荏 原 定員30人	6,734	76.9%	6,924	79.0%	8,267	76.5%
平塚橋 定員12人	2,631	60.0%	2,192	50.8%	1,696	39.4%

※荏原は大規模改修工事により、令和 6 年 3 月から24床で運営している

※詳細は96～99頁を参照

4. 在宅介護支援センター

居宅介護支援事業、老人介護支援センター、地域包括支援センター
(成幸・戸越台・荏原・小山・小山台)

これまで6在宅介護支援センターで運営を行ってきたが、今年度は杜松在宅介護支援センターの受託を取りやめ、5在宅介護支援センターでの事業展開となった。これまで同様、総合相談の窓口機能とワンストップサービスによるサービスを提供し、地域住民の利便性を確保することができた。生産性向上を目指し、ケアプランデータ連携システムの導入による業務の効率化を図るための取り組みを始めた。

【令和7年度重点目標】

1) 標準件数の適正化と加算取得

品川区との協定における各在宅介護支援センターの「配置職員数およびケアマネジャーの取り扱い件数」について、概ね遵守することができた。特に戸越台在宅介護支援センター、荏原在宅介護支援センターにおいては特定事業所加算Ⅲから特定事業所加算Ⅱの上位加算を取得し、他の加算については、各在宅介護支援センターにおいて確実な加算取得に努めた。新規認定申請者、更新認定申請の結果が要支援認定となる割合が高く、給付管理件数は、介護給付は横ばい傾向が続き、予防給付については増加傾向が続いている。

2) 在宅介護支援センターあり方検討会

現在の品川区高齢者支援システムが構築され四半世紀以上が経過している。システムが構築された当時とは社会情勢も変わり、昨今の介護人材不足や家族介護者支援の充実等、地域包括支援センターに求められる役割・業務が増大していることから、地域包括支援センターを基軸とした、区の在宅介護支援システムの在り方を検討した。持続可能かつ求められる役割を果たすため、アンケートへの回答、ヒアリングへの参加、地域包括支援センター研修への参加を行った。

表⑬ 要介護認定調査

(単位：件)

区 分	R 7 年度	R 6 年度	R 5 年度
成 幸	167	417	116
戸 越 台	165	335	149
杜 松	—	411	191
荏 原	145	322	135
小 山	181	453	177
小 山 台	132	238	205

表⑭ 国保連への請求数

(単位：件)

区 分		R 7 年度		R 6 年度		R 5 年度	
成 幸	介護給付	1,017	4,359	1,060	4,505	1,331	4,697
	予防給付	3,342		3,445		3,366	
戸越台	介護給付	1,309	3,287	1,180	3,255	1,235	3,378
	予防給付	1,978		2,075		2,143	
杜 松	介護給付	—	—	1,124	4,103	1,132	3,870
	予防給付	—		2,979		2,738	
荏 原	介護給付	1,364	3,696	1,412	3,633	1,480	3,582
	予防給付	2,332		2,221		2,102	
小 山	介護給付	1,093	4,198	813	4,047	1,252	4,172
	予防給付	3,105		3,234		2,920	
小山台	介護給付	1,047	3,021	1,071	3,020	1,123	2,835
	予防給付	1,974		1,949		1,712	

※「予防」の件数は令和元年度より予防給付件数と総合事業原則型および簡略型ケアマネジメント件数の総計

表⑮ 相談件数

(単位：件)

区 分	R 7 年度	R 6 年度	R 5 年度
成 幸	12,283	12,478	14,040
戸 越 台	9,845	8,836	10,241
杜 松	—	14,807	14,556
荏 原	11,637	10,837	11,402
小 山	11,880	8,527	13,186
小 山 台	10,259	8,766	6,256

※表⑬⑭⑮の詳細は104～123頁を参照

5. 障害者計画相談支援（特定相談支援）

（荏原）

障害福祉サービス利用については、本人、家族の意向を十分に尊重しながら、行政機関（基幹相談支援センター）および拠点相談支援センターとの連携を図り、相談、計画作成を進めた。また介護保険サービスを併用する利用者については、介護支援専門員との連携、情報共有を図り包括的な課題解決と家庭環境等に応じた支援を実施した。

地域において必要と考える社会資源については、改善、開発に至らず課題が残る結果となった。

表⑩ 障害種別 (単位：人)

利 用 者 数	R 7 年度	R 6 年度	R 5 年度
身 体 障 害	359	288	233
重症心身障害	24	2	—
知 的 障 害	62	60	60
高次脳機能障害	37	8	—
そ の 他	37	13	20

※表⑩の詳細は124～125頁を参照

6 高齢者多世代交流支援施設(ゆうゆうプラザ)

(平塚橋)

年間登録している団体のほか、申込みによる部屋利用、個人登録の利用者が増加した。比較的空いている夜間の部屋利用率を高めるため、ポスターで周知し、部屋の申し込みが増えるなど、利用者の認知度が向上した。

ラウンジではゆうゆう作品展、コーラス、演奏会、ボッチャ大会、児童と高齢者とのeスポーツ交流、クリスマスイベントの他、利用者や近隣保育園の協力によりミニ作品展等を開催し、地域住民の活動発表や交流の場として、多世代交流ができた1年となった。地域交流スペースは設置している本を充実させ、高齢者と子どもが一緒に楽しめる交流の場づくりに努め、多世代の利用者が安心して利用できるようにポスターを見直した。

また、平塚橋ホームの入居者家族が地域住民としてゆうゆうプラザに登録し、活動に参加する方が増え、入居者家族と地域とのつながりが自然に生まれた。

その他、各種感染症の対策は引き続き行い、安心安全にゆうゆうプラザを利用できる対応をした。

区 分	R 7 年度	
	人数	平均
高 齢 者 利 用 者 数	24, 143	67. 3/日
区事業・高齢者団体以外	6, 469	539/月
総 利 用 者 人 数	40, 967	3, 414/月
入 浴 者 数	4, 093	41/日

7 各施設共通サービス

医務室

令和6年度の荏原ホームに続き、令和7年度は成幸、戸越台、平塚橋ホームが新たな嘱託医と契約した。嘱託医による定期回診は施設ごとに行われ、各施設の医療体制が整った。

利用者健康管理、看取り介護も多職種間で連携して支援した。健康診断は利用者、職員ともに外部委託に変更しており、実施・結果集計・書類の管理もスムーズに行うことができた。

1. 利用者満足度の向上

- ・安心した終末期を送れるよう介護職員と連携、本人家族への説明を行い、不安解消に努めた。
- ・健康診断の実施
インフルエンザ予防接種 11月
コロナワクチン接種 12月
肺炎球菌予防接種 随時

2. 健康管理の強化

- ・利用者の状態を把握し、各協力医療機関との連携を行った。
- ・生活相談員、介護支援専門員と連携し、速やかな入所調整を行った。

3. 人事管理

- ・職員健康診断の実施 インフルエンザ予防接種 11月
- ・ストレスチェックを実施した。

4. 業務効率化

- ・終末期や日々の体調変化時等は他職種間で連携し、継続的な支援を行った。
- ・業務効率化、省力化を図るために各施設の医務室間で連携や相談を行い、改善に努めた。

5. 災害・感染症対策

- ・感染症専門医の助言のもと予防に努め、ガウンテクニックや手洗いの指導を行った。
- ・災害時対応できるよう医療機器の確認と在庫を確保し、医療用蓄電池の保守と可動確認を定期的に実施した。

機能訓練室

令和7年度は経験を積んだ機能訓練指導員が増えて活躍する場が広がった。年度内4回行われた「介護技術勉強会」を通して、多職種と情報共有の強化ができた。荏原ホームにおいては訓練室の改修工事が終了し、新しい訓練機器の導入により利用者の満足度向上につながった。

1. 顧客満足度の向上

- ・利用者の状況に適合した個別訓練を提供した。また、楽しく参加できる体操・レクリエーションを集団訓練に取り入れた。
- ・嚥下障害に対しマッサージおよび嚥下体操を実施し機能の維持に努めた。
- ・食事時の姿勢改善・巧緻性訓練等を多職種と協働で実施した。
- ・自立支援、重度化防止を目指し多職種で情報を共有して機能訓練計画を立案した。

2. 福祉用具の適正化

- ・福祉用具の耐久年数などを総合的に判断して、選定・購入を計画した。
- ・福祉用具の適正なメンテナンスを定期的に行った。
- ・福祉用具の知識を多職種と共有してよりよい生活環境づくりに努めた。

3. 人材管理

- ・拘縮・褥瘡予防の為にポジショニング・シーティングの知識を共有した。
- ・介護技術や最新の福祉機器を把握し、情報を職員間で共有した。
- ・言語聴覚士（ST）相談など、誤嚥リスクへの対応を多職種と協働で検討した。

4. 業務効率化（業務改善）

- ・様々な場面での腰痛予防体操を推進・推奨した。
- ・介護時は福祉機器の使用を優先として、多職種と協働で検討した。

5. 災害・感染症対策

- ・災害対策として、BCP訓練の実施と継続的なサービス提供の為、現状に即した体制の構築に努めた。
- ・感染対応として、多職種と連携し感染症の予防対策を継続して行った。
- ・感染者が発生した場合は、状況に応じた訓練を実施した。

栄養室

多職種連携により栄養ケア・マネジメントを実施し、科学的介護推進に関する評価につなげた。そして、美味しく、楽しい食事提供に努めるとともに、委託業者と連携し、食品衛生法に基づき、摂食・嚥下機能に合わせた安全な食事作りを行った。委託会社栄養士の業務効率化による給食業務管理費削減のため、献立会議で意見を集約し、4施設統一献立を実施した。

1. 利用者満足度の向上

多職種との連携による栄養ケア・マネジメントの実施

- ・栄養状態の安定と低栄養利用者、摂食嚥下機能低下者への対応を行った。
- ・食事形態や療養食など利用者の疾病、症状、嗜好に合わせた対応をした。
- ・食事時間の変更や食器具など柔軟な対応を行った。

充実した食事提供

- ・あらゆる場面から利用者の声を反映し、行事食やイベント食を実施した。
- ・平塚橋ホームについては、ユニットの状態に合わせクックサーブからクックチル方式への変更を計画し、来年度に向けた準備を始めた。

2. 給食運営の適正化

給食委託業者とも連携し安全で充実した食事作りに取り組む

- ・4施設統一献立を活用し、人材、食材費の適正化につなげた。
- 介護保険に基づいて栄養ケア・マネジメントを実施
- ・看取り、療養食、褥瘡など、利用者個々の状況に応じた対応を行った。

3. 人事管理

キャリアアップを目指す

- ・栄養管理における調査や研修に参加し施設へフィードバックした。

4. 業務効率化

栄養室の業務や厨房の設備環境などを計画的に行い安定した運営

- ・4施設統一の栄養基準となる「約束食事箋」を仕上げた。
- ・厨房の修理・環境整備を計画的に行い、安定した運営につなげた。

5. 災害・感染症対策

安心で安全な食事提供

- ・食品衛生法に基づいた安全な食事提供を行った。
- ・災害（非常食：4施設統一化を実施）への対策を多職種と協働した。
- ・感染症の情報収集・共有を行い、予防・拡大防止対策を実施した。

6. 地域貢献活動

- ・多世代を対象とした料理教室「三徳会元気クッキング」（年3回）を行った。
- ・地域ニーズを把握し、介護予防や栄養相談を行い、必要なサービスへつなげた。
- ・配食については疾病や障害を考慮した食事を提供した。

8 各拠点の取組

成幸ホーム

医療機関との連携を深め利用者の健康状態をより注意深く確認することで、施設内での集団感染症が発生することなく過ごすことができた。会議や研修なども概ね計画通り進められ、適切な事業運営に努めることができた。

1. 利用者満足度の向上

- ・年間2回の家族懇談会、月1回の利用者懇談会を実施し個別ニーズや満足度の把握に努め、家族に対してはサービス実施状況について報告する機会を設けた。
- ・日常的なコミュニケーションを重視し、利用者の声を直接把握する機会を増やすことで、安心感のある雰囲気作りに努めた。
- ・職員の接遇マナー向上を目的とした研修に参加、研修報告にて広く各職員への情報共有を行った。

2. 財政適正化

- ・目標稼働率：94.0% 年間平均稼働率：88.3%
- ・面談から判定会議、契約など入所が速やかに行えるよう迅速に調整した。
- ・一時入所の受け入れについても問い合わせがあったものは全て対応した。

3. 人事管理

- ・全職員に対して「虐待の芽チェックリスト」を年間2回実施、振り返りや現場状況の把握に努めた。
- ・オンライン動画研修を活用し法定研修に沿った内容について実施した。
- ・内部、外部含め年間18件の研修に参加、報告書を作成し職員に対し周知した。

4. 業務効率化

- ・各セクションにも相談を行い利用者の心身の状態を把握し、適切な介助方法について適宜振り返りや変更を行った。
- ・ICT化を進め、次世代介護機器の導入の検討、特殊寝台の導入を行った。

5. 災害・感染症対策

- ・感染症対策研修や防災訓練を実施し基本的な知識や災害時のマニュアル、対応について実践した。

6. ショートステイの特養への転換

- ・ショートステイを16床から8床に減床し特養を80床から88床に増床。また待機者の多い男性利用者の受け入れができるよう男性定員を12床から16床に増やした。

成幸デイサービス

本年度は室長および主任の異動があったが、各職員が相互に協力し業務に取り組んだ結果、年間稼働率は目標を達成することができた。また、「利用者アンケート」を実施し、利用者のニーズを把握したうえでサービス向上に努めた。その結果、簡易的なリハビリマシンを購入。機能訓練の充実を図ることで、利用者満足度の向上につながった。

1. 利用者満足度の向上

- ・他者との交流、脳トレ、カラオケ等の余暇時間の充実を図り、継続利用につながった。
- ・入浴、リハビリ等、個人目標に合わせたサービス提供を行った。
- ・個人の能力、生活スタイルに合わせた自立支援を促し、自主的な行動につながる助言を行った。
- ・「介護職はサービス業」「チーム意識」を掲げたことで、利用しやすく、働きやすい環境を整えることができた。

2. 財政適正化

- ・目標稼働率：85.0% 年間平均稼働率：90.2%
- ・総合事業（要支援、事業対象者）、基本事業（要介護1～5）の人数割合を考慮した受入れを行った。
- ・要介護者利用者の送迎時間を調整し、可能な限り利用時間を延長し、上位の時間区分の算定を行った。

3. 人事管理

- ・内部、外部研修に参加。職員全体の質を高め、安心・安全に楽しく過ごしてもらうために、参加した研修内容は他職員と情報共有した。
- ・異動職員には定期的に振り返りを行い、一定水準の質が保てるように育成を行った。

4. 業務効率化

- ・勤務時間の変更に伴い送迎時間や入浴時間等の見直しを行った。
- ・人手が少ない時間帯に短時間の介護補助業務職を活用した。
- ・書類や物品整理を随時実施し、スペースの確保を行った。
- ・出勤状況に応じて短時間の非常勤職員や単発就労者（スポットワーカー）を活用、業務の効率化につながった。

5. 災害・感染症対策

- ・感染症対策は継続的に実施。毎月の感染症・防災対策委員会に出席し、新しい情報や対応方法を確認して、利用者が安心、安全に過ごせる環境作りを行った。
- ・現状にあったBCP訓練を実施し、必要に応じてマニュアルの見直しを行った。

6. 業務改善

- ・利用者定員に応じた、適正な職員配置の検討を行った。

成幸ショートステイ

緊急ショート of の受け入れなど引き続き地域のニーズに対応し、稼働率の向上を目指した。

1. 利用者満足度の向上

- ・職員の接遇力向上を目的とした研修に参加、研修報告にて広く各職員への情報共有を行った。

2. 財政適正化

- ・目標稼働率：16.0% 年間平均稼働率：25.5%

3. 人事管理

- ・全職員に対して「虐待の芽チェックリスト」を年間2回実施、振り返りや現場状況の把握に努めた。

4. 業務効率化

- ・各セクションと話し合い、利用者の心身の状態を把握し適切な介助方法について適宜振り返りや変更を行った。
- ・ICT化を進め、特殊寝台の導入を行った。

5. 災害・感染症対策

- ・感染症対策研修や防災訓練を実施し基本的な知識や災害時のマニュアル、対応について実践した。

6. ショートステイの特養への転換

- ・ショートステイを16床より8床に減床し、特養ベッドを増床し88床とした。

成幸在宅介護支援センター

介護担当が少なかったことにより、予防から介護へ移行する利用者や新規利用者を他の支援センターへ依頼することが多かった。

1. 利用者満足度の向上

- ・退院時、カンファレンス等に参加し医療機関と連携を取ることで利用者と家族が安心して在宅で生活できるよう支援した。

2. 財政適正化

月平均利用者数 介護 84.1人 職員配置 3.0人
 予防 264.2人 職員配置 5.0人

- ・特定事業所加算が適切に算定できるよう、書類作成等の管理を適切に行った。

3. 人事管理

- ・ワンストップサービスの相談支援が行えるよう、障害、生活困窮、難病等の研修に参加した。

4. 業務効率化

- ・品川区と連携を図り、重層的な支援が必要な方や不適切な介護を受けている方などの支援に取り組んだ。

5. 災害・感染症対策

- ・BCPの支援内での共有を行った。具体的な動きや対応方法については支援センター内だけでなく、施設全体で考えていくことが課題となった。

戸越台ホーム

今年度は地域センターの協力のもと、町会長会議に出席し、区民祭りのお手伝いや、戸越台中学校で実施された避難所訓練に参加させていただいたことで地域の方と顔馴染みの関係になることができ、戸越台ホームを知っていただく良い機会となった。その成果もあり、戸越台ホームへの入所希望者が増加した。

1. 利用者満足度の向上

- ・申し送りの時間を利用してサービスマナーの勉強会を実施、丁寧な介護や接遇が行えるように取り組んだ。
- ・利用者懇談会（月1回）や家族懇談会（年2回）、面会時などに伺った利用者・家族の要望を職員間で共有、サービスに反映させた。

2. 財政適正化

- ・目標稼働率：97.0% 年間平均稼働率：92.3%
- ・入所調整表を活用し入所管理を行ったことで、速やかな入所調整ができた。また、入所調整名簿の女性の希望者が半年で底をついてしまったため、男性入所枠を2名増やした。
- ・2月より加算要件が整ったため協力医療機関連携加算Ⅱを取得した。

3. 人事管理

- ・オンライン動画研修や外部講師を招いての介護技術勉強会にて介護知識や技術の標準化を図った。
- ・入職後に「介護職員スキルアップシート」を活用し、1年間マンツーマンで知識や技術の習得を図った。
- ・外国人介護職員を育成および定着させるため、外国人介護職員向けの研修を実施した。

4. 業務効率化

- ・ICTの活用において介護入力ソフト（ケアカルテ）が日常で使用している介護項目とうまく合致せず、インカムを使用した入力が十分に行えなかった。
- ・排泄サイクルやオムツの見直しにより、トイレ誘導の回数を減らすことができ、利用者の負担軽減につながった。その結果、職員が利用者に関わる時間も増えた。

5. 災害・感染症対策

- ・感染症対応を行っていたが、11月から12月にかけて5階・7階フロアで新型コロナウイルスが蔓延してしまった。
- ・町会を招いて合同防災訓練を実施し、災害時の対応について再確認できた。

6. 地域貢献

- ・オレンジプロジェクトを通して認知症啓発事業を実施した。

戸越台デイサービス

令和7年度においては、利用者ニーズにあわせたサービス提供を行うため、「利用満足度アンケート」を実施し、満足感のあるプログラムを検討することに努めた。

認知症事業では、活動内容の写真や細かな記録を家族に提供することによって信頼を高めることに努めたが、外部へのアピール不足もあり稼働率向上につながらなかった。

1. 利用者満足度の向上

- ・「花ひろばカフェ」を定期的実施、コーヒーや紅茶、ケーキを提供し大変好評であった。また、夏まつりやクリスマス会では、手話ダンスや子供たちによるフラダンス、シニアアンサンブルによる吹奏楽演奏のボランティアを招き、利用者から「楽しかった」「またぜひ見たい」などの声が多く上がり、非日常による気分転換にもなった。
- ・リハビリでは、各曜日の利用者ニーズを把握したうえで、楽しく参加できるレクリエーションリハビリの新規プログラムを導入し、実施した。

2. 財政適正化

目標稼働率 : 基本事業 : 80.0% 認知症事業 : 60.0%

年間平均稼働率 : 基本事業 : 73.3% 認知症事業 : 28.7%

- ・基本事業は目標値には届かなかったが、増回や積極的な臨時・振替利用など柔軟な対応を行い昨年度より稼働率を上げることができた。認知症事業は基本事業からの移行や増回を行ったが、週6日利用の方の終了やショートステイ利用などで目標値に届かなかった。

3. 人事管理

- ・高齢者虐待防止や認知症の支援方法の外部研修に参加し、職員間で情報共有をしながら介護の質の向上に努めた。また、アドミニストレーター養成研修に参加し修了した。

4. 業務効率化

- ・業務上の課題について、その都度多職種で検討し、より効率的な業務改善を行った。また、書類や物品整理を行い、働きやすい職場環境の向上に努めた。

5. 災害・感染症対策

- ・利用者や職員の体調管理に努め、基本的な感染症対策を実施し、感染症などの早期発見や拡大防止に努めた。また、BCPについては実際にあった水害を含めた災害について、職員間で話し合い、マニュアルの見直しを図った。

6. 地域に向けた取り組み

- ・介護予防事業の「身近でトレーニング」を週2回実施することによって、多くの利用者の自立支援・介護予防や交流場所としての役割を果たした。
- ・ボランティアでは、読み聞かせボランティアや再開始の傾聴ボランティアの受け入れを行った。また、戸越台中学校と宮前小学校の職場体験、大崎中学校・戸越台中学校の吹奏楽部演奏会の実施、東戸越保育園園児の来園などの世代間交流が図れた。

戸越台ショートステイ

利用者や家族の意向を確認しながら、在宅生活の継続に視点を置いた自立支援や、利用者の個別ニーズに応じたサービスの提供に努めた。

1. 利用者満足度の向上

- ・利用者、家族が安心してショートステイを利用できるよう、リスクマネジメントの徹底を図り、事故防止に努めた。
- ・特養利用者と共にレクリエーションを行う機会を提供し、楽しんでいただいた。
- ・新規や緊急ショートを柔軟に受け入れた。

2. 財政適正化

- ・目標稼働率：80% 年間平均稼働率：49.1%
- ・支援センターやデイサービスと定期的に情報を共有、新規のショートステイ利用希望者を26名獲得することができた。

3. 人事管理

- ・サービスマナーの勉強会にて、挨拶や言葉遣い、声のかけ方、共感する態度や姿勢など、対人援助技術の習得を図った。

4. 業務効率化

- ・入園前の事前確認で、できる限りの情報を集めたことで、入園当日の手続きの時間を短縮することができた。

5. 災害・感染症対策

- ・感染症対策を行っていたが、11月から12月にかけて利用者2名がショートステイ利用中に新型コロナウイルスに感染した。
- ・町会を招いて合同防災訓練を実施し、災害時の対応について再確認できた。

戸越台在宅介護支援センター

人員増になったので新規のサービス利用者は全て担当したが入院、入所などによって終了するケースも多く、目標件数に到達しなかった。

1. 利用者満足度の向上

- ・介護相談が入った時は支援の必要性を判断して、必要があれば当日や翌日には訪問して積極的に対応した。

2. 財政適正化

月平均利用者数	介護	109.1人	職員配置	4.0人
	予防	164.9人	職員配置	3.0人

- ・算定可能な入院時連携加算、退院時加算、ターミナル加算などを確実に算定した。

3. 人事管理

- ・法定研修だけではなく、適切なケアマネジメント手法、F-SOAIP、権利擁護、社会保障、医療、ケアラー支援など、幅広い研修に参加してスキルアップに努めた。

4. 業務効率化

- ・業務内容の見直しを行い、1階に面接コーナーを設置して業務効率を図った。

5. 災害・感染症対策

- ・行政、地域と連携を図りながら避難支援個別計画書の作成を進めた。

6. 誰もが安心して地域で暮らせる地域作り・孤立死ゼロ

- ・民生委員、地域の方、行政と連携し、地域において心配な方への見守りや訪問により、支援センターで関った方の孤立死（発見まで数日経過は）ゼロであった。

荏原ホーム

大規模改修工事も終盤へと差し掛かる中、利用者への影響をできるだけ軽減できるよう、前年度に引き続き工事関係者とのさらなる連携を図り、利用者、家族、職員への情報共有に努めての施設運営を行った。

1. 利用者満足度の向上

- ・限られた空間の中でできることは何かを考え、利用者の意向を伺いながら、気候の良い時には商店街、建物裏の戸越地蔵尊への外出、また、スイカ割り、秋のおやつ会、クリスマス会など、小規模ながらのイベントも行った。夏には利用者懇談会で要望のあった、うなぎの出前を取り夏の風物詩を楽しんだ。

2. 財政適正化

- ・目標稼働率：96.0% 年間平均稼働率：94.4%
- ・今年度の実入所者数は37名、実退所者数は33名であった。目標値に1.6ポイントおよばない結果となった。
- ・日用品に関しては購入品の見直しなど適正価格であるかの再検討を行った。

3. 人事管理

- ・職員育成においては、オンライン動画でのeラーニングを活用し、法定内研修を中心に受講を促し、毎月の確認テストの提出を課題とした。また、「食事介助」「介護技術」「排泄介助」に関しては専門の講師を招き、対面での勉強会を実施した。

4. 業務効率化

- ・インカムを使用し、記録ソフトの音声入力を開始した。その都度パソコンの前に座ることなく記録の入力が可能となり、記録時間短縮へとつながった。令和8年度に各居室に見守りカメラが設置される予定であり、本格稼働に向けての準備を進めた。

5. 災害・感染症対策

- ・感染症流行時に限らず、平時でも手指消毒が行えるように全職員に行き渡るよう携帯用ポシェットを購入。アルコールボトルを携帯し、1介助1消毒を実施できる環境を整えた。

6. 大規模改修工事

- ・大規模改修工事も終盤を迎え、建物設備の更新も広く行われた。一つひとつの機能をきちんと理解し、整えられた環境を適切に使用して、利用者の住環境がその季節に合わせた安定した状態となるように努めた。

荏原デイサービス

令和7年9月に、仮施設から本設へ戻っての運営となった。引っ越しによって再び大きく環境が変化した。万全の受け入れ態勢を整え、大きな混乱、事故なく運営を継続することができた。本設へ戻ってからは、個々に合わせたレクリエーション提供の場が広がり、利用者同士や職員との交流も活発に行いながら、自立し充実した日常生活を送れるように支援した。

1. 利用者満足度の向上

- ・クラブでは、身体を動かすレクリエーションの他、季節を感じられる作り物を多く実施し、好評を得た。リハビリでは、利用者個々の身体機能に合わせた訓練を実施し、またレクリエーションの要素を含めた体操によって、利用者同士の交流を深めた。

2. 財政適正化

- ・目標稼働率 : 基本事業 : 75.0% 認知症対応型 : 65.0%
年間平均稼働率 : 基本事業 : 53.3% 認知症対応型 : 50.4%
- ・稼働率を意識して、新規利用や増回利用の受入れを積極的に行った。臨時利用、振替利用についても、希望状況に合わせて柔軟に対応した。

3. 人事管理

- ・職員個々の経験年数やスキルに合わせた研修の参加を促した。参加した研修内容は、各職員へフィードバックし、職員間での意識共有を進めた。

4. 業務効率化

- ・引越しに伴い、業務マニュアルの見直しを行った。各職員の経験を活かし、それぞれが積極的に意見を出し合いながら調整し、現場環境の向上に努めた。

5. 災害・感染症対策

- ・職員間でBCPを把握し、緊急時にも安定したサービス提供を継続できるようにした。引き続き、基本的な感染症対策を実施し、感染症の早期予防、拡大防止を行った。

6. 荏原在宅サービスセンター改修工事終了に伴う戻り引っ越し

- ・本設の業務内容を把握している職員がリードし、戻り引っ越し後もマニュアルを再編して支障なく業務を続けることができた。
- ・職員が安定して業務を続けられたことにより、利用者も落ち着いて本設での生活を再開することができた。

小山の家

令和7年度について、感染症の影響を受けることなく過ごすことができたが、サービス終了となる方が続き、4月の稼働率が45%と低い状態でのスタートとなった。新規契約により稼働率も上がって来たものの、サービス終了となる方や長期休みとなる方の影響もあり目標稼働率には届かなかった。

1. 利用者満足度の向上

- ・認知症の方の不安やストレスを少しでも解消し、楽しく過ごしていただけるよう常に笑顔で接し、明るい雰囲気で笑い溢れるサービスを提供できた。毎日のミーティングで利用者個々の支援方法を検討し、一人ひとりの関わりを大切に支援できた。より満足いただけるサービスを提供するため、利用満足度アンケートを実施した。

2. 財政適正化

- ・目標稼働率：70.0% 年間平均稼働率：52.1%
- ・サービス終了者や長期休みの方の影響もあり、目標とした稼働率には届かなかった。新規契約を確保するため、送迎エリア外の利用希望者に対して積極的に受入れを行った。また、居宅介護支援事業所に対し、定期的に空き情報のお知らせを行った。

3. 人事管理

- ・法人内研修や認知症や支援方法に関する外部研修に積極的に参加した。研修内容については職員に共有し、より高い支援方法につなげた。B P S Dケアプログラムの実践については、積極的に活用することができなかった。

4. 業務効率化

- ・排泄表の置き場所や使用方法など、業務内容に関して毎日のミーティングにて検討を重ね、より効率的な動きを実践できた。

5. 災害・感染症対策

- ・テーブルや椅子、トイレなどの消毒、手洗いうがい等の感染症対策は継続実施し、感染症による大きな影響は受けなかった。R7年9月の大雨の影響により、排水口から水の逆流により浸水被害が発生した。その点も踏まえてBCP計画の見直し、災害時における備蓄品の整備を行った。

6. 若年性認知症の方の受け入れ

- ・今年度は若年性認知症の方の利用希望がなく受入れがなかった。

荏原ショートステイ

4月からは、新企画の「おやつクッキング」を毎月開催し好評を得た。9月には、仮施設から本設へ戻り引越しが無事に終了した。1月には、食堂もできあがり、一日3食を楽しい団らんの雰囲気です食事が取れるように、席の配置など配慮して支援した。退園時職員添乗送迎も、ほとんどの方が利用されるサービスへ定着した。

1. 利用者満足度の向上

- ・毎月一日に「おやつクッキング」開催
4月 いちご入りどら焼き 10名、5月 こいのぼりクレープ 12名。
6月 カップ蒸しケーキ 13名、7月 セタフルーツゼリー 11名。
8月 ずんだクリームサンド 12名、9月 豆腐白玉あんみつ 11名。
10月 ギョウザボール 12名、11月 カスタードパフェ 12名。
12月 クリスマspanケーキ 13名、2月 節分の豆風ボーロ 21名。
3月 いちごと白玉のホットスイーツ 24名参加。
「楽しかった」との感想を受けて、次回も参加できるように予定を変更した方がいた。ケアマネジャーからも勧めやすくなったと好評を得た。
- ・利用中の身体変化は、家族だけでなくケアマネジャーへもすみやかに報告した。退園後も生活に支障がないように各関係機関と情報共有に努めた。
- ・退園時に職員が送迎車に添乗して自宅まで送り届けるサービスを実施した。身寄りのない方にはケアマネジャーと連携を取り、入園時も職員が送迎車に添乗し迎えに行くサービスを実施した。合計822件。

2. 財政適正化

- ・目標稼働率：70.0% 年間平均稼働率：76.9%（定員24床での換算）
- ・年末年始も利用できるように調整し15名が滞在した。
- ・新規の利用者は99名、緊急で受け入れた人数は12名。

3. 人事管理

- ・自己の振り返りやコミュニケーションの向上、言い合える環境づくりを目的にオリジナルの「虐待の芽チェックリスト」を更新し、6月と3月の2回実施した。

4. 業務効率化

- ・9月に本設への戻り引越しが終了した。以降、入園と退園は本設1階ロビーで実施。変更による混乱がないように、その度アナウンスを行い安全に努めた。
- ・生産性向上のため記録業務の負担とケアの質が図れる音声記録「ハナスト」の勉強会を行った。「見守りカメラ」をフロアと各居室に導入した。

5. 災害・感染症対策

- ・5月に「介護現場における感染リスクについて」と題し、全員が理解しやすく記憶に残るように事例やクイズ形式で工夫を凝らした勉強会を実施した。
- ・12月から1月にかけて2人一組になり「嘔吐物処理方法の実践」と「手洗いチェックカードでの手指の洗い残しの確認」と題し、お互いにチェックし合いながら再確認した。

荏原在宅介護支援センター

人事異動による職員の入替わりがあったが、円滑かつ安定的な事業所運営を行うことができた。給付管理件数に関して介護給付は前年度より減少。予防給付は増加した。

1. 利用者満足度の向上

- ・計画通り外部研修を受講。内部研修においては、併設の障害者計画相談支援事業所の相談支援専門員による、障害者施策についての講義を行い、障害者施策を併用する高齢者のケアマネジメントの質向上に努めた。

2. 財政適正化

月平均利用者数 介護 113.7人 職員配置 4.0人

予防 194.6人 職員配置 3.0人

- ・退院退所加算については100%取得。入院時情報連携加算については、入院の連絡がなく取得できなかった事案以外は確実に取得した。

3. 人事管理

- ・職員同士によるピアスーパービジョンの実践により、職場内のコミュニケーションが活発となり、意見が出しやすい職場風土の形成が行えた。

4. 業務効率化

- ・業務の生産性向上を図るべくケアプランデータ連携システムを導入。保険者システムの変更により、業務の一部が煩雑化し効率的な業務の遂行が困難となった。

5. 災害・感染症対策

- ・他自治体における地域BCPの実践報告会へ参加。地域における連携を構築するためのヒントを得られる機会となった。

小山在宅介護支援センター

担当できる件数に限りはある中で、可能な限り新規を受け入れた事で概ね目標件数に近い状況になった。

1. 利用者満足度の向上

- ・朝礼で各担当ケースの情報共有を意識的にを行い、担当以外の緊急の対応などにも対応できた。

2. 財政適正化

月平均利用者数 介護 92.5人 職員配置 3.0人

予防 164.1人 職員配置 2.8人

- ・新規の相談に積極的に対応し、財政適正化に努めた。また、算定可能な加算についても確実に算定した。

3. 人事管理

- ・各職員が法定研修に限らず、介護保険外であっても業務上必要な知識として研修に積極的に参加し、資質向上に努めた。

4. 業務効率化

- ・新規ケースも増えて多忙ではあったが、一人ひとりの職員が業務の効率化を意識して職務に当たり、不必要な残業を行わない意識付けができた。また、毎週水曜日はノー残業デーとして、ワークライフバランスに努めた。

5. 災害・感染症対策

- ・近隣町会や施設との連携は個人情報保護もあり十分とは言えないが、支援センターで地域の要支援者情報を管理している状況に安心感を持てただけた。

小山台在宅介護支援センター

介護給付、予防給付共に新規相談は順調に増えたが、長期で定着する件数が少なく、結果介護給付の件数の伸びがよくなかった。

1. 利用者満足度の向上

- ・セクション内で事例の情報共有では、担当職員不在中でも随時適切に対応できた。結果、記録も他職員が内容把握できるよう作成する意識が向上した。

2. 財政適正化

月平均利用者数 介護 87.2人 職員配置 3.0人
 予防 164.1人 職員配置 2.8人

- ・入院および退院時等の加算を積極的に取得できるよう努めた。またセクション内の備品購入を検討する際は、他の物品で代替可能かの検討をし、無駄な出費を抑えるよう各職員が意識した。

3. 人事管理

- ・高齢者の権利擁護や障害福祉、重層的支援等、各自で研修や実践を通して理解を深めた。実践を通して新たに生じた課題も、その後の事例検討やセクション内研修を通し、課題解決能力の向上を図った。

4. 業務効率化

- ・記録や業務の連絡ツール等の合理化を進めるため、試験的にA Iを活用した。スケジュール管理は1日を細かく区切ることで役割分担を進めた。

5. 災害・感染症対策

- ・災害・感染症のBCP内容の修正、検討を定期的に行ってきた。また、品川防災学校に参加し、最新の防災知識をセクション内で共有した。

障害者計画相談支援

昨年度より介護保険サービス利用者で障害福祉サービスを併用する事例が増加したため、日頃より荏原西地区のケアマネジャーと密に連携を図って対応した。

1. 利用者満足度の向上

- ・区と連携して必要な方にはモニタリングを増回して、利用者の状況把握と利用者の意向を汲むことで満足度の向上に努めた。

2. 財政適正化

月平均利用者数 介護 43.1人 職員配置 1.0人

- ・モニタリングの回数を増やした結果、月々の継続支援費を増益させることができた。

3. 人事管理

- ・障害者支援課主催のスキルアッププロジェクトへ積極的に参加し、障害者に対する相談スキルを向上させた。

4. 業務効率化

- ・提携先の管理ソフト会社に積極的に問い合わせをして資料作成や給付管理作業の時間短縮に努めた。

5. 災害・感染症対策

- ・区が実施する、しながわ防災学校に参加した。区の指定以外の利用者の個別避難計画書を作成し災害対策の啓発活動を行った。

平塚橋ホーム

平塚橋ホームとしてのビジョン、コンセプト、ケア方針を打ち出し、施設として目指すべき方向を示すことができた。稼働率については関係セクション協力の元、受け入れができ、昨年度より稼働率を上げることができた。

1. 利用者満足度の向上

- ・利用者とは普段のコミュニケーション、家族からは面会時や家族懇談会を通して要望を聞き、必要なところは改善を行った。要望の一つとして面会制限の緩和があり、検討し8月より予約不要、毎日面会できるようにし、多くの家族が面会に来られた。
- ・面会者が多くなることにより、利用者の心身の健康向上・生活意欲・リハビリ意欲の向上・家族の安心感・信頼関係の向上・問題の早期発見・ケアの質向上へとつながった。
- ・虐待の芽チェックリストを実施し、現状確認や、虐待・不適切介助の予防、意識づけを行うことができた。

2. 財政適正化

- ・目標稼働率：95.0% 年間平均稼働率：93.6%
- ・相談員同士の連携を強化、関係セクションとの連携を意識することにより協力を得て、入所調整をスムーズに行えた。年間平均稼働率目標には届かなかったが、前年度を上まわることができた。
- ・物品類の価格高騰に伴い、数量、より安価な購入先を調べ購入した。しかし、エアコン、機械浴槽等の故障があり、高額な修理費がかかることがあった。

3. 人事管理

- ・「施設から住まいへ」をビジョンとし、更にコンセプトとケア方針を明確に打ち出し、各職員に伝えることにより、共通した認識の下で利用者対応ができた。
- ・年度当初に各職員の目標確認を兼ねてチェックリストを作成し、意欲を持って業務を行い、動画研修は全員が視聴し、ケアの質の向上へとつなげることができた。

4. 業務効率化

- ・赤外線センサー・センサーマット等のICT化により、職員の介護負担軽減、業務の効率化・省力化はできた。音声入力のカムについて試行を行った。

5. 災害・感染症対策

- ・感染症対策として、毎月の感染症対策委員会、東京都の登録講師派遣事業の感染症対策研修を実施し、職員の意識づけ、対応方法の確認を行った。

6. ワークシェアリングサービスの活用

- ・ワークシェアリングサービスを効率的に活用した。

平塚橋ショートステイ

下記6つの重点項目を掲げ取り組んできたが、中でも2つ目の財政適正化について稼働率目標を大幅に上回る結果が残せた。業務の効率化を継続しながら、稼働率向上と利用者満足度の向上に努めた。

1. 利用者満足度の向上

- ・個室で少人数であるユニットの特性を活かし、個々にでも快適に過ごせるように環境整備やケア方法について検討し遂行した。

2. 財政適正化

- ・目標稼働率：48.0% 年間平均稼働率：60.0%
- ・稼働率目標を大幅に上回る結果が残せたことから職員の自信やモチベーション向上につながった。また物品に関して一旦は修理を行い、できなければ購入という意識付けができた。

3. 人事管理

- ・年度当初に各職員の目標確認を行い、業務に対する考え等も確認できたため、助言や指導をする機会も増え、意欲を持って業務を行うことができたと感じられた。

4. 業務効率化

- ・令和6年度に導入したインカムの使用状況についてはリーダー的存在が積極的な使用に向けて率先して取り組んでいる。また、入園2日前に家族に連絡し聞き取りを行うことで入園日当日の事務作業や申し送りなどが円滑に進むよう効率化にも努めた。

5. 災害・感染症対策

- ・手洗い、消毒、換気等基本的な感染症予防対策に関して、年間を通じて行い予防を含め蔓延防止に努めた。また、動画研修や施設内研修も積極的に活用した。

6. 自宅での過ごし方になるべく沿ったケアの提供

- ・自宅でのベッドの向きをはじめ、服薬の方法や趣味活動物品の持ち込み等、自宅の生活の延長として過ごしていただけるよう積極的に働きかけた。

9 平塚橋ゆうゆうプラザ

平塚橋ゆうゆうプラザ

年間を通してラウンジではコーラスや演奏会、作品展等のイベントを開催。ラウンジでのミニ作品展は利用者や近隣保育園の園児の作品を展示し、利用者や品川区民の活動発表や交流の場として、多世代で交流できた。ホームページ、Instagramの更新を頻繁に行い、積極的な情報発信も行った。

1. 利用者満足度の向上

- ・団体、個人の利用者にアンケートを実施するとともに、日頃から積極的なコミュニケーションを心掛け、意見や要望等の収集を行った。区役所と連携を取り、多世代の利用者が安心安全、リラックスして過ごせる環境づくりに努めた。
- ・利用者の活動発表の場として、作品展やコンサートを開催。部屋利用している団体や近隣の小学校の演奏会を開催し、多世代の利用者の交流につながった。
- ・利用団体、個人、近隣の保育園の作品をミニ作品展で展示したことにより、作品を通じた交流が行え、出展した利用者も作品制作の意欲につながった。
- ・イベントや作品展をホームページやInstagramに掲載することで、出演、出展した人の普段の成果や活動が発表でき、励みになった。

2. 財政適正化

- ・電力のデマンド方式で電気量把握に努め、電気料金は前年度より8.5%削減になった・比較的空いている夜間の部屋利用率を高めるため、楽器演奏等ができる場としてポスターで周知し、部屋利用の稼働を上げた。
- ・四半期毎に精算状況を確認し、計画的に物品を購入した。

3. 人事管理（人材育成）

- ・マニュアルの確認を行い、事務職員も平塚橋ゆうゆうプラザの利用者対応ができるようにした。

4. 業務効率化（業務改善）

- ・マニュアルの見直しの他、アプリの活用により、業務量の削減と効率化を図り、利用者対応に活かした。

5. 災害・感染症対策

- ・各部屋にはアルコール消毒セットを継続して設置し、利用者自身に感染症対策を行ってもらった。
- ・定期的に防災備蓄品の確認を行い、近隣町会、地域住民と合同防災避難訓練を実施することにより、防災意識を高め、災害に備えることができた。

6. 子どもの利用者数増加

- ・地域交流スペースに設置している本を充実させ、高齢者と子どもが一緒に本を楽しむ交流の場づくりに努めた。
- ・定期的な見回りや声掛けを行い、施設利用のルールของポスターを見直し、小学生が安心して利用できるように環境整備に努めた。
- ・品川区認知症啓発キャラクターの「くるみちゃん」をモチーフにしたアイシングクッキー教室やお金の使い方を学ぶ「子どもセミナー」を実施し、子どもや保護者が施設に親しむきっかけづくりとなった。

10 安全への取組

令和3年度の介護保険法改正において新たに介護事故予防に向けた取り組みが運営基準の中で義務づけられ、介護事故予防に向けた取り組みを推進する担当者を配置した。指針に基づき、毎月、リスクマネジメント委員会、身体拘束廃止推進委員会、感染症対策委員会、虐待防止検討委員会を設置し、安全な施設運営へ取り組みを続けている。

事故報告件数（品川区報告）

（単位：人）

	成幸ホーム	成幸デイサービス	戸越台ホーム	戸越台デイサービス	荏原ホーム	荏原ショートステイ	荏原デイサービス	小山デイサービス	平塚橋ホーム	支援センター	合計
身体的不自由に起因											
転倒・転落	3	10	4	2	3	—	12	—	1	—	35
誤嚥性肺炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
骨折	4	—	4	2	1	—	—	—	7	—	18
設備に起因	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
感染症・食中毒・疥癬等（※）	—	—	26	—	1	—	—	—	—	—	27
交通事故	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
震災・風水害・火災	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
利用者間トラブル	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
職員の行為（不注意等）											
誤薬等	11	—	—	1	17	2	—	—	13	—	44
離設・徘徊	—	—	—	—	1	—	2	—	—	—	3
個人情報取扱不備	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—
不注意	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他 救急搬送等	2	—	2	2	40	6	—	—	3	—	55
事故報告合計	20	18	36	5	63	16	16	—	26	—	200

ヒヤリ・ハット合計	30	1	172	10	313	9	47	3	293	—	878
-----------	----	---	-----	----	-----	---	----	---	-----	---	-----

※支援センターは5か所の合計（※）の数は報告件数

※その他 救急搬送等は 病状の悪化、意識障害など

11 主な施設整備

(1) 成 幸

【工 事】		(単位：千円)
1	LED設備への更新工事	18,469
2	屋上給湯設備更新（機器リース）	3,730
3	屋上厨房排気ファン更新工事	3,300
4	汚水ポンプ交換工事	1,342
5	デイサービス給湯設備更新	690
計		<u>27,531</u>

【備品購入】		(単位：千円)
1	介護ベッド 12台	6,248
2	カーテン一式交換	4,070
3	介護ベッド 4台	1,907
計		<u>12,225</u>

(2) 戸越台

【工 事】		(単位：千円)
1	オゾン脱臭装置メンテナンス	799
2	食器洗浄機移設(荏原)	591
3	中央監視装置機器交換	526
4	エレベーター部品交換	190
5	厨房オーブン修繕	133
計		<u>2,239</u>

【備品購入】		(単位：千円)
1	車椅子 7台	569
2	ポータブル蓄電池 3台	510
3	電動ベッド 1台	357
4	介護用椅子 5台	101
計		<u>1,537</u>

(3) 荏 原

【備品購入】		(単位：千円)
1	特殊浴槽（ロベリアプラス） 2台	15,845
2	非常用ポータブル蓄電池 2台	924
3	昇降テーブル 3台	436

4	冷蔵庫	2 台	3 7 2
5	清拭車		2 3 1
6	ソファ（小山の家）		6 0 5
計			<u>1 8, 4 1 3</u>

（４）平塚橋

【工 事】 (単位：千円)

1	エアコン洗浄		2, 6 7 7
2	3階空調圧縮機等取替工事		9 3 5
計			<u>3, 6 1 2</u>

【備品購入】 (単位：千円)

1	ポータブル電源	3 台	5 0 9
2	洗濯機	4 台	4 4 1
計			<u>9 5 0</u>

（５）荏原複合施設大規模改修工事

令和7年度は、仮設→移転→本設→移転を繰り返しながら全行程の9割が終了した。運営エリアにおいては、立入り工事、断水や停電などたびたび影響を受けることに加え、異常気象の影響で空調設備機器の交換時期には石油ファンヒータを使用するなど対応を余儀なくされた。また、工事エリアと運営エリアが同フロアで隣接することによる騒音や粉塵の影響、動線の変更など、安全上の配慮が非常に重要となり、調整対応にあたった。

主な工事内容は以下の通りである。

本設工事 ロビー・在宅サービスセンター・浴室・食堂・ワーカー室・休憩室
 地下共用部・居室32床・エレベーター2基・階段・ICT機器設置

そのほか、特筆すべき事項

- ・特養フロア定員数の変更 3階62床→50床→48床 4階58床→70床→72床
- ・ショートステイ定員数変更 30床→24床
- ・デイサービス定員数の変更はないが、入浴サービスの提供に関しては仮設設備使用時は構造上、実質受入れ数を減少せざるをえなかった。
- ・9月上旬にショートステイおよびデイサービスは、戻り引越を行い、事業運営エリアを変更した。

12 研修報告

(1) 施設外研修

対面集合型およびリモートによる研修に参加した。

国際福祉機器展見学や専門職交流会などに参加することで、新しい情報の収集にあたった。

また、区内の他法人との交流機会を積極的に持ち、ICT環境の情報交換研修や、認知症ケアの取組み実践についての意見交換等を行った。

高齢者虐待防止研修においては、それぞれの事業所から研修受講し、虐待防止委員会等で伝達研修を行った。

(2) 施設内研修

年間を通してサービス研究会を開催し、それぞれの専門職が講師となり、研修の機会をもった。

数年前から導入しているオンライン研修（eラーニング）は、同じ教材で学習することができるため、変則勤務の介護職員において有効に活用した。

法人内合同研修は、昨年に続き、介護技術の向上を目的として座学と実践を組み合わせ年4回開催した。

資格取得の支援として、外部講師を招いて介護支援専門員受験講座、介護福祉士試験対策研修を実施した。また、認知症介護基礎研修、介護福祉士実務者研修支援研修などを積極的に受講勧奨した。

介護職員のOJT研修においては、介護職スキルアップシートを活用し、育成担当者を置き、定期的に振り返り面談を行った。さらには外国人職員向けに日本語支援研修（JLPT N3対策）も実施した。

(3) 新人職員内部研修

新人職員の合同研修（中途採用者を含む）を実施した。

日時：令和7年5月17日・5月24日

対象：令和6年中途採用、令和7年4月採用

介護職17名（うち、海外人材12名）

看護職3名、機能訓練指導員1名、事務職5名、介護支援専門員1名

内容：各法定研修（倫理・法令遵守、虐待防止・身体拘束適正化、個人情報保護、リスクマネジメント、感染症関連、災害時の対応、BCP、接遇）

品川区の在宅福祉について、認知症ポーター養成講座

専門職講座（医務室、栄養室、訓練室）

※研修報告の詳細は142～151頁を参照

13 地域活動

(1) 生と死を見つめる懇談会（地域貢献活動）

第32回生と死を見つめる懇談会は、品川区社会福祉協議会 品川成年後見センターの藤藪明知講師による「成年後見制度で未来も安心！気軽に聞いてみませんか」というテーマで開催した。

認知症などにより判断能力が低下した場合でも、本人の権利や財産を守ることができる成年後見制度について、基本的な仕組みや利用方法を分かりやすく解説していただいた。また、自分や家族が安心して生活を続けていくための備えについて学ぶ機会となった。

参加者からは、「制度について理解が深まった」「将来に備え、家族と話し合いたい」などの声が寄せられた。

令和8年3月7日（土） 平塚橋ゆうゆうプラザ コミュニティ室 参加者16名

(2) 広報紙「三徳だより」の発行

法人の各種事業内容や福祉情報を地域の方々や関係機関に広報することを目的に、広報紙「三徳だより」を発行し、地域関係者などへ幅広く送付した。

(3) ホームページ・Instagramでの情報発信

リニューアルした法人ホームページや昨年度より開設した法人Instagramを活用し、幅広い年代へ情報発信を実施した。

(4) 地域交流会（地域貢献活動）

今年度は開催を見合わせた。

(5) 三徳会元気クッキング（地域貢献活動）

年3回、4施設の管理栄養士が協働し、平塚橋ゆうゆうプラザと荏原文化センターにおいて、多世代に向けて食育および健康増進と介護予防を目的に実施した。料理を通じてのコミュニケーションの場にもなった。

延べ参加者数：32名

※詳細は102頁を参照

(6) ボランティア懇談会

今年度は開催を見合わせた。ボランティア受け入れに関して、ゆうゆうプラザではゆうゆうもりあげ隊によるイベント企画へのアドバイスや会場設営などに協力いただいた。

(7) 地域行事への参加

社会福祉協議会主催のふくしまつりでの模擬店、近隣町会の盆踊りやお祭りなど、参加した。

14 その他

(1) 実習生・研修生

人材育成と社会貢献などを目的として計画的に受け入れた。

(2) 防災対策

火災や震災などを想定した防災訓練を継続的に実施した。併せて消防設備の機能、活用方法の確認や、緊急時の職員の連絡訓練も実施した。町会、荏原消防署の協力による合同防災訓練は、感染対策を講じながら実施した。

(3) 感染症対策

新型コロナウイルス感染症が5類感染症へ移行した以降も、インフルエンザや感染性胃腸炎等の予防のため、各施設において手指消毒や換気、体調管理、情報共有などの基本的な感染対策を継続して行った。面会についても段階的に緩和を進めつつ、感染状況に応じて必要な対応を行った。なお、こうした取組みにもかかわらず感染症が発生した施設も一部見られた。

15 業 績

(1) 表彰など

◇東京都社会福祉協議会 東京都社会福祉協議会会長感謝状（永年勤続功績者）

受賞：岩田ルミ・落合美香・望月貴奈・頼 直美

(2) 口頭発表

令和7年度品川福祉保健従事者実践・研究発表会

（主催：社会福祉法人品川区社会福祉協議会、品川介護福祉専門学校）

口演発表 2026.2.9（品川区役所）

◇大久保暢倫・富岡 豊 外国人介護職員のキャリア構築～人材確保から人材育成を目的にした定着支援へ～

資 料 編

1. 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）

（1）令和7年度の利用者動向（令和8年3月31日現在）

端数処理は小数点第二位を四捨五入した。

平均年齢

（単位：歳）

区分	成 幸 定員80名	戸越台 定員72名	荏 原 定員120名	平塚橋 定員100名
平均	88.1	88.9	89.0	90.3
男性	87.7	88.1	89.0	86.5
女性	88.2	89.7	89.0	90.1
男性 最高年齢	98	101	99	93
女性 最高年齢	102	109	100	103

年齢別男女構成比

		64～69歳		70～74歳		75～79歳		80～84歳		85～89歳		90～94歳		95歳以上		100歳以上		男女比	
成 幸	合 計	—		3人		6人		13人		23人		20人		10人		4人			
		—		3.8%		7.6%		16.5%		29.1%		25.3%		12.7%		5.1%			
	区 分	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
	人 数	—	—	—	3	1	5	3	10	5	18	2	18	2	8	—	4	13	66
	%	—	—	—	3.8	1.3	6.3	3.8	12.7	6.3	22.8	2.5	22.8	2.5	10.1	—	5.1	16.5	83.5

		64～69歳		70～74歳		75～79歳		80～84歳		85～89歳		90～94歳		95歳以上		100歳以上			
戸越台	合計	—		1人		5人		16人		12人		15人		13人		5人		男女比	
		—		1.4%		7.5%		23.9%		17.9%		22.4%		19.4%		7.5%			
	区分	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
	人数	—	—	1	—	3	2	2	14	1	11	5	10	2	11	2	3	16	51
	%	—	—	1.4	—	4.5	3	3	20.9	1.4	16.4	7.5	14.9	3.0	16.5	3	4.5	23.9	76.1
荏原	合計	1人		1人		3人		15人		33人		50人		16人		1人		男女比	
		1.0%		1.0%		2.5%		12.5%		27.5%		41.7%		13.3%		1.0%			
	区分	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
	人数	—	1	—	—	—	3	3	12	2	31	6	44	2	14	—	1	13	107
	%	—	1.0	—	—	—	2.5	2.5	10	1.7	25.8	5	36.7	1.7	11.7	—	1.0	10.8	89.2
平塚橋	合計	1人		—		6人		11人		31人		36人		11人		4人		男女比	
		1%		—		6%		11%		31%		36%		11%		4%			
	区分	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
	人数	1	—	—	—	1	5	1	10	10	21	4	32	—	11	—	4	17	83
	%	1	—	—	—	1	5	1	10	10	21	4	32	—	11	—	4	17	83

(2) 利用者の入退所状況

(成 幸)

			月末入所者数						
			4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10月
末日 利用者数	男性		10	11	11	11	11	12	12
	女性		65	64	66	68	69	69	69
	合計		75	75	77	79	80	81	81
入所者数	在宅	男性	—	—	1	1	—	1	—
		女性	—	1	2	1	—	3	—
	病院	男性	—	—	—	—	—	—	—
		女性	1	—	1	1	—	—	—
	再入所	男性	—	—	—	—	—	—	—
		女性	—	—	—	—	—	—	—
	その他	男性	—	1	—	—	1	—	—
		女性	—	—	—	—	2	—	1
	合計	男性	—	1	1	1	1	1	—
女性		1	1	3	2	2	3	1	
実入所者合計			—	2	3	2	3	4	1
退所者数	短期入院	男性	—	—	—	—	—	—	—
		女性	1	1	1	—	—	—	—
	施設内死亡	男性	—	—	1	—	1	—	—
		女性	2	1	—	—	1	3	1
	在宅復帰	男性	—	—	—	—	—	—	—
		女性	—	—	—	—	—	—	—
	その他	男性	—	—	—	1	—	—	—
		女性	—	—	—	—	—	—	—
	合計	男性	—	—	1	1	1	—	—
		女性	3	2	1	—	1	3	1
実退所者合計			3	2	2	1	2	3	1
要介護度別内訳	要介護 1		1	1	1	1	2	2	2
	要介護 2		8	8	7	8	9	10	10
	要介護 3		31	29	32	32	33	35	33
	要介護 4		23	24	25	24	22	20	20
	要介護 5		12	13	12	14	14	14	16
平均介護度			3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.4	3.5
延人数			2,257	2,340	2,295	2,452	2,418	2,376	2,450
月稼働率（％）			85.5	85.8	86.9	89.9	88.6	90.0	89.8

注) 1. 平均介護度、本月稼働率の端数処理は、小数点第二位を四捨五入する。

2. 本月稼働率は、調査月の延べ人数を定員×月日数で割り%明記する。

3. 短期入院は3カ月以内の入院、長期入院は3カ月以上の入院

(単位：人)

						年度合計	平均
	11月	12月	1月	2月	3月		
	12	12	11	11	13		11.4
	68	69	69	66	66		67.3
	80	81	80	77	79		78.8
	—	—	1	—	—	4	0.3
	2	3	1	1	1	15	1.3
	—	—	—	—	1	1	0.1
	—	1	—	—	—	4	0.3
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	1	3	0.3
	—	—	1	1	1	6	0.5
	—	—	1	—	2	8	0.7
	2	4	2	2	2	22	2.1
	2	4	3	2	4	30	2.8
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	3	0.3
	—	—	2	—	—	4	0.3
	3	3	2	5	2	23	1.9
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	1	0.1
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	2	—	—	5	0.4
	3	3	2	5	2	26	2.2
	3	3	4	5	2	31	2.6
	2	2	2	2	3		1.8
	10	11	12	12	12		9.8
	33	33	34	33	34		32.7
	20	21	19	18	20		21.3
	15	14	13	12	10		13.3
	3.5	3.4	3.4	3.3	3.3		3.3
	2,412	2,452	2,420	2,099	2,383	28,354	2,363
	91.4	89.9	88.7	85.2	87.4		88.3

(戸越台)

			月末入所者数							
			4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10月	
末日 利用者数	男性		13	13	15	16	16	14	14	
	女性		51	52	54	54	53	51	53	
	合計		64	65	69	70	69	65	67	
入所者数	在宅	男性	—	—	1	—	—	—	1	
		女性	—	1	—	1	—	—	1	
	病院	男性	1	1	—	—	—	—	—	
		女性	—	1	1	—	—	1	—	
	再入所	男性	—	—	—	—	—	—	—	
		女性	—	—	—	—	—	—	—	
	その他	男性	—	—	—	1	—	—	—	
		女性	1	1	1	—	1	—	—	
	合計	男性	1	1	1	1	—	—	1	
女性		1	3	2	1	1	1	1		
実入所者合計			2	4	3	2	1	1	2	
退所者数	短期入院	男性	—	—	—	—	—	—	—	
		女性	—	1	—	—	—	—	—	
	施設内死亡	男性	—	—	—	—	—	2	1	
		女性	2	2	—	1	1	1	—	
	在宅復帰	男性	—	—	—	—	—	—	—	
		女性	—	—	—	—	—	—	—	
	その他	男性	—	—	—	—	—	—	—	
		女性	—	—	—	—	—	1	—	
	合計	男性	—	—	—	—	—	2	1	
		女性	—	3	—	1	1	2	—	
実退所者合計			2	3	—	1	1	4	1	
要介護度別内訳	要介護 1		1	1	1	1	1	1	1	
	要介護 2		6	6	6	6	5	4	4	
	要介護 3		18	18	19	19	18	17	19	
	要介護 4		25	26	28	28	29	27	28	
	要介護 5		14	14	15	15	16	16	15	
平均介護度			3.7	3.7	3.7	3.7	3.8	3.8	3.8	
延人数			1,959	1,984	1,994	2,152	2,165	2,021	2,040	
月稼働率（％）			90.7	88.9	92.3	96.4	97.0	93.6	91.4	

注) 1. 平均介護度、本月稼働率の端数処理は、小数点第二位を四捨五入する。

2. 本月稼働率は、調査月の延べ人数を定員×月日数で割り%明記する。

3. 短期入院は3カ月以内の入院、長期入院は3カ月以上の入院

(単位：人)

						年度合計	平均
	11月	12月	1月	2月	3月		
	13	14	15	16	16		14.6
	53	50	49	51	51		51.8
	66	64	64	67	67		66.4
	—	1	1	—	—	4	0.3
	2	—	—	1	—	6	0.5
	—	—	—	—	—	2	0.2
	—	—	—	—	—	3	0.3
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	2	2	9	0.8
	—	1	1	—	—	7	0.5
	2	—	—	3	2	17	1.5
	2	1	1	3	—	24	2.0
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	1	0.1
	—	—	—	—	—	3	0.3
	2	2	—	2	1	14	1.2
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	1	0.1
	—	—	—	—	—	3	0.3
	2	2	—	2	1	16	1.3
	2	2	—	2	1	19	1.6
	1	1	1	1	1		1.0
	3	4	4	5	5		4.8
	19	20	22	22	24		19.6
	29	24	23	24	23		26.2
	14	15	14	15	14		14.8
	3.8	3.8	3.7	3.7	3.7		3.7
	2,019	2,009	1,981	1,812	2,122	24,258	2,022
	93.5	90.0	88.8	89.9	95.1		92.3

(荏 原)

			月末入所者数							
			4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10月	
末日 利用 者数	男性		13	13	13	13	13	13	13	
	女性		107	107	104	107	106	105	105	
	合計		120	120	117	120	119	118	118	
入 所 者 数	在 宅	男性	—	—	—	—	—	—	—	
		女性	2	1	—	2	1	—	1	
	病 院	男性	—	—	—	—	—	—	1	
		女性	—	1	1	—	—	—	—	
	再 入 所	男性	—	—	—	—	—	—	—	
		女性	—	—	—	—	—	—	—	
	そ の 他	男性	2	—	—	—	—	1	—	
		女性	1	2	1	2	—	1	1	
	合 計	男性	2	—	—	—	—	1	1	
女性		3	4	2	4	1	1	2		
実入所者合計			5	4	2	4	1	2	3	
退 所 者 数	短期 入院	男性	—	—	—	—	—	—	—	
		女性	—	3	2	—	1	2	—	
	施設内 死亡	男性	—	—	—	—	—	1	1	
		女性	1	—	2	1	1	—	2	
	在宅 復帰	男性	—	—	—	—	—	—	—	
		女性	—	—	—	—	—	—	—	
	そ の 他	男性	—	—	—	—	—	—	—	
		女性	—	1	1	—	—	—	—	
	合 計	男性	—	—	—	—	—	1	1	
		女性	1	4	5	1	2	2	2	
実退所者合計			1	4	5	1	2	3	3	
要 介 護 度 別 内 訳	要介護 1		2	2	2	2	2	2	2	
	要介護 2		7	7	6	6	6	6	6	
	要介護 3		52	54	53	52	53	52	52	
	要介護 4		37	37	37	39	38	39	41	
	要介護 5		22	20	19	21	20	19	17	
平均介護度			3.6	3.6	3.6	3.6	3.6	3.6	3.6	
延人数			3,289	3,431	3,429	3,619	3,607	3,441	3,554	
月稼働率（%）			91.4	92.2	95.3	97.3	97.0	95.6	95.5	

注) 1. 平均介護度、本月稼働率の端数処理は、小数点第二位を四捨五入する。

2. 本月稼働率は、調査月の延べ人数を定員×月日数で割り%明記する。

3. 短期入院は3カ月以内の入院、長期入院は3カ月以上の入院

(単位：人)

						年度合計	平均
	11月	12月	1月	2月	3月		
	13	11	12	13	13		12.8
	102	102	105	105	107		105.2
	115	113	117	118	120		117.9
	—	—	1	—	—	1	0.1
	1	1	2	—	—	11	0.9
	—	—	—	—	—	1	0.1
	—	—	—	—	1	3	0.3
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	1	—	4	0.3
	2	2	2	2	1	17	1.4
	—	—	1	1	—	6	0.5
	3	3	4	2	2	31	2.6
	3	3	5	3	2	37	3.1
	—	1	—	—	—	1	0.1
	2	2	1	1	—	14	1.2
	—	1	—	—	—	3	0.3
	3	—	—	—	—	10	0.8
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—
	1	1	—	1	—	5	0.4
	—	2	—	—	—	4	0.3
	6	3	1	2	—	29	2.4
	6	5	1	2	—	33	2.8
	2	2	3	3	2		2.2
	6	6	6	6	6		6.2
	53	52	54	54	55		53.0
	39	39	39	40	42		38.9
	15	14	15	15	15		17.7
	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5		3.5
	3,367	3,322	3,413	3,236	3,626	41,334	3,445
	93.5	89.3	91.7	96.3	97.5		94.4

(平塚橋)

			月末入所者数							
			4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10月	
末日 利用者数	男性		13	14	13	13	12	12	11	
	女性		76	78	80	81	84	82	83	
	合計		89	92	93	94	96	94	94	
入所者数	在宅	男性	—	1	—	—	—	—	—	
		女性	—	1	1	—	1	—	1	
	病院	男性	—	—	—	—	—	—	—	
		女性	—	—	—	—	—	—	—	
	再入所	男性	—	—	—	—	—	—	—	
		女性	—	—	—	—	—	—	—	
	その他	男性	—	—	—	—	—	1	—	
		女性	2	2	1	4	2	1	1	
	合計	男性	—	1	—	—	—	1	—	
女性		2	3	2	4	3	1	2		
実入所者合計			2	4	2	4	3	2	2	
退所者数	短期入院	男性	—	—	1	—	—	—	—	
		女性	2	—	—	2	1	1	1	
	施設内死亡	男性	—	1	—	—	—	3	1	
		女性	1	—	—	1	—	—	—	
	在宅復帰	男性	—	—	—	—	—	—	—	
		女性	—	—	—	—	—	—	—	
	その他	男性	—	—	—	—	—	—	—	
		女性	—	—	—	—	—	—	—	
	合計	男性	—	1	1	—	—	3	1	
		女性	3	—	—	3	1	1	1	
実退所者合計			3	1	1	3	1	4	2	
要介護度別内訳	要介護 1		1	1	1	1	1	—	—	
	要介護 2		16	16	15	15	15	15	15	
	要介護 3		29	31	32	32	33	34	35	
	要介護 4		29	29	30	30	32	31	30	
	要介護 5		14	15	15	16	15	14	14	
平均介護度			3.4	3.4	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	
延人数			2,582	2,723	2,783	2,887	2,919	2,853	2,855	
月稼働率（％）			86.1	87.8	92.8	93.1	94.2	95.1	92.1	

注) 1. 平均介護度、本月稼働率の端数処理は、小数点第二位を四捨五入する。

2. 本月稼働率は、調査月の延べ人数を定員×月日数で割り%明記する。

3. 短期入院は3カ月以内の入院、長期入院は3カ月以上の入院

(単位：人)

						年度合計	平均
	11月	12月	1月	2月	3月		
	14	15	16	16	17		13.8
	84	81	83	83	83		81.5
	98	96	99	99	100		95.3
	—	—	—	—	—	1	0.1
	1	—	—	1	—	6	0.5
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—
	3	1	1	—	2	8	0.7
	2	—	2	—	1	18	1.5
	3	1	1	—	2	9	0.8
	3	—	2	1	1	24	2.0
	6	1	3	1	3	33	2.8
	—	—	—	—	—	1	0.1
	1	1	1	—	—	10	0.8
	—	—	—	—	1	6	0.5
	1	2	—	—	1	6	0.5
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	1	7	0.6
	2	3	1	—	1	16	1.3
	2	3	1	—	2	23	1.9
	—	—	—	—	—		0.4
	14	14	14	14	14		14.8
	37	36	36	36	37		34.0
	32	33	35	35	35		31.8
	15	13	14	14	14		14.4
	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5		3.5
	2,822	2,988	2,940	2,750	3,070	34,172	2,848
	94.1	96.4	94.8	98.2	99.0		93.6

平 均 入 所 期 間

	成 幸		戸越台		荏 原		平塚橋	
	人数	割合 (%)	人数	割合 (%)	人数	割合 (%)	人数	割合 (%)
1 年未満	26	32.9	20	29.9	33	27.5	31	31
1 年以上～2 年未満	16	20.2	14	20.9	25	20.8	20	20
2 年以上～3 年未満	13	16.5	6	9	23	19.2	13	13
3 年以上～4 年未満	11	13.9	8	11.9	14	11.7	12	12
4 年以上～5 年未満	3	3.8	7	10.5	10	8.3	10	10
5 年以上～6 年未満	3	3.8	8	11.9	6	5	1	1
6 年以上～7 年未満	3	3.9	3	4.5	2	1.7	3	3
7 年以上～8 年未満	1	1.3	—	—	3	2.5	1	1
8 年以上～9 年未満	2	2.5	—	—	—	—	—	—
9 年以上～10 年未満	—	—	—	—	2	1.7	9	9
10 年以上	2	2.5	1	1.4	2	1.7	—	—

年 間 総 入 院 回 数

		成 幸		戸越台		荏 原		平塚橋	
		人数	割合 (%)	人数	割合 (%)	人数	割合 (%)	人数	割合 (%)
入院回数	1 回	17	70.8	11	84.6	42	71.2	29	82.9
	2 回	7	29.1	1	7.7	14	23.7	4	11.4
	3 回	—	—	—	—	2	3.4	2	5.7
	4 回	—	—	1	7.7	1	1.7	—	—
	5 回以上	—	—	—	—	—	—	—	—
	合計	24	100	13	100	59	100	35	100
延べ年間総入院者数		31	—	17	—	80	—	41	—
総 入 院 日 数		685	—	369	—	2,104	—	805	—
1 人あたりの入院日数		22.1 日		21.7 日		26.3 日		19.6 日	

(3) 利用者の日常生活能力（ADL）

区 分		成 幸		戸越台		荏 原		平塚橋	
		人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
食事	自立	36	45.6	20	29.9	34	28.3	17	17.0
	見守り	12	15.2	17	25.4	29	24.2	42	42.0
	一部介助	16	20.3	19	28.4	33	27.5	15	15.0
	全部介助	15	19.0	11	16.4	24	20.0	26	26.0
着替え	自立	8	10.1	5	7.5	4	3.3	2	2.0
	見守り	12	15.2	1	1.5	17	14.2	7	7.0
	一部介助	27	34.2	24	35.8	53	44.2	48	48.0
	全部介助	32	40.5	37	55.2	46	38.3	43	43.0
整容 (つめ切り、歯磨き、ひげそり等)	自立	4	5.1	1	1.5	3	2.5	3	3.0
	見守り	14	17.7	7	10.4	9	7.5	7	7.0
	一部介助	24	30.4	15	22.4	58	48.3	47	47.0
	全部介助	37	46.8	44	65.7	50	41.7	43	43.0
移動	自立	11	13.9	6	9.0	15	12.5	6	6.0
	見守り	15	19.0	7	10.4	14	11.7	19	19.0
	一部介助	17	21.5	13	19.4	28	23.3	17	17.0
	全部介助	36	45.6	41	61.2	63	52.5	58	58.0
移乗	自立	9	11.4	9	13.4	15	12.5	11	11.0
	見守り	14	17.7	4	6.0	16	13.3	12	12.0
	一部介助	26	32.9	25	37.3	32	26.7	22	22.0
	全部介助	30	38.0	29	43.3	57	47.5	55	55.0
入浴	介助浴	11	13.9	9	13.4	8	6.7	51	51.0
	リフト浴	18	22.8	—	—	—	—	—	—
	車いす型浴	26	32.9	37	55.2	60	50.0	3	3.0
	ストレッチャー型入浴	24	30.4	21	31.3	52	43.3	46	46.0
排泄	トイレ自立	16	20.3	3	4.5	16	13.3	5	5.0
	トイレ介助	26	32.9	22	32.8	58	48.3	41	41.0
	ポータブルトイレ	4	5.1	4	6.0	2	1.7	1	1.0
	おむつ交換	33	41.8	38	56.7	44	36.7	53	53.0
歯の状態	自歯	45	57.0	25	37.3	71	59.2	55	55.0
	上下義歯	21	26.6	12	17.9	15	12.5	24	24.0
	一部義歯	4	5.1	10	14.9	19	15.8	9	9.0
	自歯・義歯なし	9	11.4	20	29.9	15	12.5	12	12.0

(4) 利用者の日常生活自立度

認知症高齢者の日常生活自立度

	区分	正常	I	Ⅱ a	Ⅱ b	Ⅲ a	Ⅲ b	Ⅳ	M
成 幸	人数	—	5	5	15	23	20	10	1
	%	—	6.3	6.3	19.0	29.1	25.3	12.7	1.2
戸越台	人数	—	5	2	5	27	12	16	—
	%	—	7.5	3	7.5	40.2	17.9	3.9	—
荏 原	人数	2	5	6	25	48	13	18	3
	%	1.7	4.2	5	20.8	40	10.8	15	2.5
平塚橋	人数	1	8	6	16	30	18	19	2
	%	1	8	6	16	30	18	19	2

障害高齢者の日常生活自立度

	区分	自立	J 1	J 2	A 1	A 2	B 1	B 2	C 1	C 2
成 幸	人数	—	3	2	5	14	13	31	5	6
	%	—	3.8	5.2	6.3	17.7	32.4	39.2	6.3	7.6
戸越台	人数	—	—	—	4	12	13	34	1	3
	%	—	—	—	6.0	17.9	19.4	50.7	1.5	4.5
荏 原	人数	1	—	2	9	35	33	29	4	7
	%	0.8	—	1.7	7.5	29.2	27.5	24.2	3.3	5.8
平塚橋	人数	—	—	—	8	20	20	34	7	11
	%	—	—	—	8	20	20	34	7	11

(5) 家族などの訪問(面会)者数・外泊状況

新型コロナウイルス感染対応のため、制限の解除を進めながら各施設の状況に則した対応を行った。

①訪問(面会)者数

(単位：人)

	年度合計	月平均
成 幸	972	81.0
戸 越 台	947	78.9
荏 原	2,950	245.8
平 塚 橋	5,928	494

②外泊状況

外泊は控えていただき実績はない。

(6) 三徳懇談会

利用者懇談会

(成 幸)

(単位：人)

開催日	実施階	主な懇談内容	参加人数
7. 4. 20	2. 3. 4	施設での生活や意見、食事について	24
7. 5. 11	2. 3. 4	困りごとや食事について	18
7. 6. 15	2. 3. 4	お楽しみ食や要望について	15
7. 7. 27	2. 3. 4	施設での生活や意見、食事について	10
7. 8. 17	2. 3. 4	定期清掃、当月の予定について	12
7. 9. 14	2. 3. 4	施設での生活や意見、食事について	11
7.10.26	2. 3. 4	全館停電・当月の予定について	11
7.11.23	2. 3. 4	施設での生活や意見、食事について	8
7.12.27	2. 3. 4	コロナワクチン接種、クリスマス会について	6
8. 1. 18	2. 3. 4	理美容サービス、当月の予定について	9
8. 2. 23	2. 3. 4	節分、施設での生活や意見、食事について	8
8. 3. 8	2. 3. 4	家族懇談会・食事について	7

※参加人数は2・3・4階利用者の合計人数

(戸越台)

(単位：人)

開催日	実施階	主な懇談内容	参加人数
7. 4. 17	7	人事異動について	5
7. 5. 15	5	生活での困りごとや食べたい物について	12
7. 6. 19	6	誕生日の方の報告、七夕について	18
7. 7. 17	7	ホーム喫茶について、食べたい物について	9
7. 9. 18	5	敬老式典について、お彼岸について	9
7.10.23	6	秋の味覚について、お楽しみ食について	10
7.12.18	7	正月について、コロナ報告	6
8. 1. 29	5	生活での困りごとについて、食べたい物について	7
8. 2. 19	6	誕生日の方の報告、お彼岸について	8
8. 3. 19	7	故郷の料理について、お花見について	7

※11月は新型コロナウイルス感染症により中止

(荏 原)

(単位：人)

年	実施階	主な懇談内容	参加人数
7. 4. 20	4	旅行で行ったところの思い出	7
7. 5. 18	3	夏の思い出、食べたいものについて	9
7. 6. 22	4	雨の思い出、食べたいものについて	11
7. 8. 3	3	フードデリバリーの感想と今後について	10
7. 8. 24	4	夏の思い出について	11
7. 9. 28	3	秋の思い出について	17
7.10. 26	4	秋に食べたいもの	11
7.11. 30	3	冬、お正月の思い出について	12
7.12. 21	4	冬の思い出について	10
8. 1. 31	3	工事引っ越し後の施設について	13
8. 2. 22	4	寒い時に食べたもの	11
8. 3. 7	3	来年度のレクリエーションの希望	13

(平塚橋)

(単位：人)

年	実施階	主な懇談内容	参加人数
7. 4. 24	2	新年度の挨拶・食べたい物について	5
7. 5. 22	2	端午の節句の思い出、好きな歌	3
7. 6. 26	2	七夕の思い出	6
7. 7. 24	2	夏について	4
7. 8. 28	3	敬老のお祝いについて	5
7. 9. 25	3	体調について	4
7.10. 22	3	秋の思い出	5
7.11. 27	3	お正月について	3
7.12. 25	4	今年を振り返って	4
8. 1. 29	4	去年の振り返り、今年の抱負	6
8. 2. 26	2	ひなまつりについて	7
8. 3. 26	2	最近の食事について	4

(7) セルフチェックシート（自己評価表）

平成15年から区内施設の自主的な取り組みとして、「品川区施設サービス研究会」が立ち上げられ、セルフチェックシートの開発、運用を行ってきた。セルフチェック（自己評価）を実施し、22年を経過し定着してきている。

今回のセルフチェックは過去の「A」「B」「C」3段階の評価を踏襲しつつ、さらに分析できるように「S」（「A」が50%以上）、「D」（「C」が50%以上）を加えた5段階で集計を行い、向上、改善への活用を図ることとした。

成 幸

セルフチェックの総括

令和7年度は介護、看護、訓練の職務3年以上の職員17名を対象とした。

「S」77%、「A」6.7%、「B」10.4%、「C」1.5%、「D」4.4%となった。

「食事」項目について、全体としては非常に高いレベルで実施されており、利用者の安全や楽しみを大切にした取り組みが実施できた。一方で、食前の手指衛生に課題を残し、感染対策の基盤であるため、早急な対応が必要であった。

「外出への援助」項目について、感染予防と職員不足という要因が大きく影響し、外出機会が減少している。一方で、敷地内での外気浴など、可能な範囲での取り組みは継続されており、家族と共に外出、地域の盆踊りや近隣保育園での行事に利用者が参加するなど、着実に外出や地域交流の機会は増えた。

「生活づくり」項目について、3項目すべてがDとなった。感染予防に重点を置いているため、音楽クラブやその他元々行っていたクラブ活動やレクリエーションが実施できていない。一方でここ数年、施設内での感染症は発生していないこともあり、世間の感染症の動向を常に把握しながら、再開を検討していく必要がある。

「働きやすい環境」項目について、前回Aから今回Sとなった。労働力不足への配慮が改善されており、今年度も5名の特定技能による外国人従事者が増えている。健康状態や家庭事情により勤務調整を行うこともある。

戸越台

セルフチェックの総括

令和7年度も3年以上の介護、看護、栄養の各セクションの常勤職員を対象とし、15名が評価を行った。A評価が90.3%、B評価が8.9%、C評価が0.8%の結果であり、昨年と比較しA評価は12.5ポイント増加した。

「食事の衛生管理」項目について、食事前に手指の衛生管理が不十分という結果が出た。感染症予防のためにも食事前は手洗いおよびアルコール消毒をすべての利用者に必ず実施する。

「メリハリのある生活への取り組み」項目について、看取り介護の方はご本人の体調を考慮すると臥床中心のケアになってしまうが、他の利用者と同様に見回りの

際には必ず声をかけるなど、ご本人と関わる機会を多くしている。

「動作介助技術の訓練」項目について、次年度も引き続き外部講師（理学療法士）による介護技術勉強会の開催を予定しており、施設の実情に合わせた介助方法を学んでもらう。

「職員相互の注意」項目について、申し送り前の15分を利用してサービスマナーの勉強会を実施しており、不適切な言葉遣いやケアをしていないか確認している。今年度は言葉遣いで気になることがあっても、職員同士で注意しあうことができなかったためB評価となった。

「プログラムの充実」項目について、習字やいきいきクラブは実施できているが、利用者自らが希望するようなプログラムは実施できていない。来年度は介護職員だけではなく、他セクションにも協力を仰ぎながらプログラムを充実させていく。

「外出機会の確保」項目について、年間行事にある初詣やお花見を兼ねた外出が実施できずC評価となった。ただし、今年度は機能訓練指導員の協力のもと、リハビリの一貫として商店街まで外出し、ご自身で買いたい物を選び購入するなど社会参加の機会を設けることができた。また令和7年5月には併設されている中学校の運動会には参加することができ、観戦された利用者はとても喜ばれていた。

荏 原

セルフチェックの総括

今年度は特養（介護・看護・訓練）、ショートステイ、相談員の計36名の職員を対象としてセルフチェックを実施した。

今回のセルフチェック総括として、荏原特別養護老人ホームでの大規模改修工事であることでの対応という側面があると考ええる。

C評価がついたものは、食事の項目では「食事の衛生管理」の項目があげられた。大規模改修工事の影響で、食事の場所が限られ、今までのように食堂に一堂に会して食事をするということが難しい状況であった。工事による洗面台の使用の制限、非効率な動線により利用者手指の衛生管理が行き届かないことが、その要因であると考えている。衛生面の強化について取り組んでいく必要がある。

また6．外出への援助、8．個別性の対応、18．地域との交流もC評価ないしD評価であった。コロナ禍の影響がまだ根強く残っていること、改修工事での生活の制限があることが影響していると考ええる。

5の自立支援（リハビリテーション）に関して、訓練のあり方の全般的な見直しを行い、訓練指導員との情報の共有が少しずつ前に進んでいることが、職員の自由記述欄からもうかがえる。特養の機能訓練は機能訓練指導員一人では到底なしえない。アセスメントを取り、多職種がそれぞれ専門の視点から分析し、統合したケアの実践に努めたい。

ショートステイにおいてはすべてS評価となっている。今期はショートステイの環境も個室から大部屋へと大きく変わった中で、職員もその時々に対応しようと努

力した。また、職員の送迎の添乗に関しても、体制を丁寧に整え、実施した。大変好評をいただいている。

平塚橋

セルフチェックの総括

令和7年度は介護・看護・訓練・栄養の各セクションで在籍3年以上の職員を対象とし、25名で実施した。

D評価 6. 外出への援助①外出機会の確保：年間の行事計画で職員による機会の確保は難しいが、面会制限の緩和を令和7年8月に行い、家族と外出がしやすい環境になり、中には近隣ではあるが毎日の様に外出する入居者もいる。また、冠婚葬祭や、楽しみの一環で長時間外出する機会が少しずつ増えている。

D評価 8. 生活づくり①プログラムの充実②個別性の対応：歌の好きな人には、聞きたい曲を教えてもらい、iPad等で流し、地域の人とのピアノ演奏などのイベントに参加した際には、家族から喜ばれた。しかし、十分というまでではない。

C評価 22. 職員への教育・研修③キャリアパスの取組：人材育成の大切さは意識しているが、職員不足・外国人職員増加・様々な雇用形態の職員がいる中で十分とまでにはいかなかった。

C評価 3. 外部研修情報の職員間の共有化：評価実施月以降に研修や会議録を全職員に回覧するようにしている。

S評価 1. 食事、2. 入浴、3. 排泄、5. 日常生活における自立支援、12. 看護的対応、24. 記録・調査：個人の状況に合わせ、多職種と連携を図り、継続性を持たせ対応できていた結果と思われる。

S評価 16. ショートステイ：事故なく、充実して過ごしていただくために、その都度、家族への説明や聞き取りを行っている。更に在宅生活との繋がりを意識して対応をし、利用時の報告を家族やケアマネジャーにしている。

S評価 25. 人権：人権については、定期的な研修や、勉強会を行っているため、複数の内容でS評価となった。職員に周知はB評価となっているが、評価実施月以降に研修等の記録を全職員に周知をするようにした。

栄養・調理

(8) 個別の栄養状態に着目した栄養ケアマネジメントに基づいた特別な対応

<療養食の対応>

(単位：件)

項 目	成 幸	戸越台	荏 原	平塚橋
糖 尿 病 食	2	—	—	—
腎 臓 食	—	1	2	1
心 臓 病 食	—	3	3	—
肝 臓 食	—	—	—	—
胃 潰 瘍 食	—	—	—	—
貧 血 食	—	1	—	—
膵 臓 食	—	—	—	—
脂 質 異 常 症	—	—	1	—
痛 風 食	—	—	—	—

<個人対応>

(単位：件)

項 目	成 幸	戸越台	荏 原	平塚橋
摂 食 障 害	32	15	26	42
摂 食 嚥 下	43	51	53	40
低 体 重	32	20	49	32
栄 養 障 害	30	30	34	29
過 体 重	4	2	10	9
機 能 障 害	23	16	32	32
そ の 他	76	68	69	61

<食事形態>

(単位：件)

項 目	成 幸	戸越台	荏 原	平塚橋
常 食 ・ 刻 み	37	27	49	45
極刻み(ソフト禁)	—	—	25	—
ソ フ ト 食	38	25	19	34
ペ ー ス ト 食	1	8	18	112
ゼ リ ー 食	—	—	—	—
そ の 他	1	9	39	8

(9) 残菜・嗜好調査

今年度は、特別養護老人ホーム、在宅の利用者において、肉・魚の主菜について常食と介護食の残菜率を比較した。

【残菜調査】

実施期間：第1回調査 令和7年10月（それぞれ1週間を調査期間とする）

第2回調査 令和8年2月、3月

方 法：下記の料理について残菜調査を行った。

- ・揚げる：鶏肉のから揚げ・サーモンフライ
- ・焼く：豚肉生姜焼き・赤魚粕漬け焼き
- ・煮る：鶏肉トマト煮・鯖味噌煮

4 施設の残菜率

（単位：％、在宅：デイサービス・ショートステイ）

		4 施設平均				成 幸				戸越台				荏 原				平塚橋			
		特養		在宅		特養		在宅		特養		在宅		特養		在宅		特養		在宅	
		常食	介護食	常食	介護食	常食	介護食	常食	介護食	常食	介護食	常食	介護食	常食	介護食	常食	介護食	常食	介護食	常食	介護食
肉	鶏肉唐揚げ	5.3	3.7	4.3	0.9	3.1	6.0	1.2	0.0	1.4	1.2	6.1	0.0	7.5	5.4	9.8	3.7	9.4	2.4	0.0	0.0
	豚肉生姜焼き	6.6	3.1	6.7	2.6	5.0	2.0	4.0	0.0	8.7	2.8	15.4	0.0	5.3	6.2	7.4	0.0	7.3	1.5	0.0	10.5
	鶏肉トマト煮	5.6	2.7	6.3	6.8	4.8	2.5	2.9	24.0	4.6	3.2	9.0	0.0	4.7	1.8	5.8	0.0	8.2	3.3	7.5	3.0
魚	サーモンフライ	4.2	2.9	2.0	0.0	2.0	0.7	0.1	0.0	7.8	7.1	1.8	0.0	1.9	2.0	4.6	0.0	5.3	2.0	1.6	0.0
	赤魚粕漬け焼き	5.0	4.0	2.5	0.7	2.6	2.3	1.8	2.0	6.4	7.5	2.7	0.0	4.7	2.6	2.1	0.8	6.5	3.5	3.5	0.0
	鯖味噌煮	7.7	3.7	3.9	1.8	4.4	1.5	3.2	0.0	12.1	10.7	4.3	0.0	6.7	1.7	8.2	7.4	7.7	1.1	0.0	0.0
平 均		5.7	3.4	4.3	2.1	3.6	2.5	2.2	4.3	6.8	5.4	6.6	0.0	5.1	3.3	6.3	2.0	7.4	2.3	2.1	2.3

【結果及び考察】

特養では、介護食は常食に比べ、食事介助での摂取の割合が高く残菜率が少ない傾向にあった。肉と魚の比較では、在宅ほど差が生じなかった。理由としては、肉・魚をまんべんなく提供していることや、適切な食事形態で提供していることが考えられる。

在宅では、肉より魚の方が残菜率は低かった。理由としては昨今、魚・魚料理は価格が高い傾向にあり、肉・肉料理の方が選択肢も多く購入しやすいことが考えられる。

残菜率の多いものは、固さ・味付けなど調理技術による影響が考えられる。しかし、調理方法（揚げ物・焼き物・煮物）により差は生じなかった。味付けや嗜好などは個人差が大きいためと考えられる。

(10) 選択食、団らん食、お楽しみ食、その他

[行事食]

利用者が楽しみにしているものであり、生活に変化や潤いを持たせるために導入している。

a) 選択食

利用者が自由に食事を選択できる機会を広げた。

事前に2つのメニューから選択してもらい実施した。

成 幸ホーム：年36回 主菜選択(24回)、主食選択(12回)

戸越台ホーム：年36回 主菜選択(24回)、主食選択(12回)

荏 原ホーム：年36回 主菜選択(24回)、主食選択(12回)

平塚橋ホーム：年36回 主菜選択(24回)、主食選択(12回)

b) 団らん食・おやつ作り

楽しみと機能低下予防、回想法も取り入れ、皆で楽しみながら作って食べ、コミュニケーションを図る。実施に際しては、利用者からの希望や季節感を取り入れる。

おやつ作り

荏 原ホーム：年11回

c) お楽しみ食

選択制とし、日常とは異なった食材を取り入れ、より利用者が楽しめる料理を提供した。

実 施 日	内 容
7. 4. 14	桜ご飯、天ぷら、刺身、蒟の炊合せ、春菜の酢味噌掛け、和菓子など
7. 5. 29	しぐれご飯・天ぷら、蒟山吹和え、湯葉浸し、真薯汁、メロンなど
7. 6. 25	枝豆ご飯、天ぷら、茗荷酢味噌和え、夏野菜炊合せ、冷し空也蒸しなど
7. 7. 7	茗荷ご飯、水晶煮、つるむらさきお浸し、枝豆じゅんさい豆腐など
7. 8. 5	押し寿司、天ぷら、冷やし茶碗蒸し、じゅんさい清汁、西瓜など
7. 9. 12	松茸ご飯、天ぷら、菊花和え、蟹寒天、炊合せ、梨、和菓子など
7. 10. 30	栗ご飯、松茸茶碗蒸し、柿なます、サーモンロール、洋梨など
7. 11. 22	はらこ飯、飛竜頭煮物、マグロ刺身、長芋すり流し、柿など
7. 12. 10	冬ちらし、茶碗蒸し、海老芋含め煮、せり胡麻和え、和菓子など
8. 1. 1	祝い雑煮、寿三点盛、数の子山葵和え、栗きんとん、屠蘇など
8. 1. 1	鰻ちらし、岩石玉子、梅花田楽、昆布巻き、清汁など
8. 2. 6	赤飯、天ぷら、カルパッチョ、吉野汁、せり胡麻和え、いちごなど
8. 3. 3	弥生ちらし、蒟の薑天ぷら、蕪帆立あんかけ、蛤出汁のお吸い物など

※四施設統一献立を実施した。

施設の状況に合わせて実施日などの調整を行った。

d) 歳時食（四施設共通）

実 施 月	行 事 名	内 容
4 月	花まつり	桜ご飯
5 月	みどりの日	グリンピースご飯
	端午の節句	筍ご飯、木の芽焼き
7 月	七 夕	七夕素麺
	土用の丑	「う」のつく料理、鰻料理
8 月	終戦記念日	すいとん、さつま芋甘煮
	夏のイベント	焼そば、枝豆、西瓜、かき氷など
9 月	防災の日	非常食品
	敬老の日	赤飯、黄金焼き、真砂和え、紅白りんご煮など
	秋の彼岸(秋分の日)	おはぎ風おやつ
10月	十五夜	月見にちなんだ料理
11月	文化の日	ちらし寿司、フルーツなど
12月	冬 至	小豆ご飯、南瓜料理、生姜寒
	クリスマス	オムライス、チキン料理、いちごババロアなど
	大晦日	年越し蕎麦
1 月	正 月	おせち料理
	七 草	七草粥
	鏡開き	お汁粉
	小正月	小豆粥
2 月	節 分	鰯料理、節分豆ご飯
	バレンタイン	チョコレート菓子
3 月	桃の節句	弥生ちらし、ハマグリ出汁の清汁、いちごなど
	春の彼岸(春分の日)	ぼた餅風おやつ

e) ホーム喫茶・花広場カフェ・お茶会

戸越台ホーム：年 5 回

戸越台在宅サービスセンター：年 5 回

(11) 栄養出納表（年間平均）

区 分	成 幸		戸越台		荏 原		平塚橋	
	食事摂取基準	栄 養 出納量	食事摂取基準	栄 養 出納量	食事摂取基準	栄 養 出納量	食事摂取基準	栄 養 出納量
エネルギー(kcal)	1,377	1,290	1,317	1,345	13,422	1,363	1,389	1,373
タンパク質(g)	58.1	55.0	56.8	56.9	55.0	57.3	56.0	58.1
カルシウム(mg)	600	565	600	592	600	594	600	568
鉄(mg)	5.6	5.5	6.0	6.7	5.6	66.8	6.0	66.9
レチノール当量(μ g)	668	526	683	679	665	680	613	693
ビタミンB ₁ (mg)	0.70	0.70	0.76	0.77	10.0	0.77	0.73	0.78
ビタミンB ₂ (mg)	1.10	0.85	1.20	0.94	1.10	0.95	1.13	0.96
ビタミンC(mg)	90	67	90	67	100	67	100	69
食物繊維(g)	15.0	10.6	18.5	12.0	13.0	12.0	13.0	12.2

食事摂取基準については、日本人の食事摂取基準の策定方針に基づいて算出した。
基準量よりも低い値については、個別により強化（栄養補助食品等）をしている。

健康管理

(12) 受診状況

1) 各科受診状況

区 分	成 幸		戸越台		荏 原		平塚橋	
	人 数 (人)	延回数 (件)	人 数 (人)	延回数 (件)	人 数 (人)	延回数 (件)	人 数 (人)	延回数 (件)
内 科	107	1,575	91	1,192	142	2,112	109	1,070
眼 科	14	31	23	58	30	69	32	88
歯 科	22	150	21	47	36	237	93	322
皮 膚 科	12	36	21	58	15	42	29	102
泌尿器科	2	9	3	28	3	5	8	38
耳 鼻 科	—	—	—	—	—	—	8	25
脳 外 科	1	1	5	7	3	3	4	7
整形外科	12	19	15	34	17	27	22	71
神 経 科	—	—	1	12	2	2	2	2
そ の 他	—	—	6	10	—	—	8	8
合 計	170	1,821	186	1,446	248	2,497	315	1,733

2) 認知症相談（各施設月2回実施）

（単位：人）

区 分	R 7 年度	R 6 年度	R 5 年度
成 幸	24	29	62
戸越台	25	25	25
荏 原	1	2	6
平塚橋	32	107	107

(13) 利用者の診断病名

疾 病 名	成 幸	戸越台	荏 原	平塚橋
心疾患	25	21	29	29
高血圧症	61	25	42	54
ペースメーカー	3	—	2	6
閉塞性動脈硬化症	2	—	3	2
呼吸器疾患	2	19	5	22
脳卒中	24	14	31	45
てんかん	2	5	12	11
アルツハイマー型認知症	56	32	44	47
レビー小体型認知症	1	2	4	3
脳血管性認知症	1	4	21	13
老年精神病	33	3	7	7
パーキンソン病	—	1	1	3
腎疾患	5	7	2	14
肝胆系疾患	8	6	5	10
B型肝炎	12	—	9	1
C型肝炎	1	1	5	—
ストーマ	—	—	1	—
慢性関節リウマチ	—	2	1	4
骨粗鬆症	14	5	13	16
骨折	57	33	41	22
蜂窩織炎	4	1	1	7
類天疱瘡	1	—	—	3
貧血	7	4	1	11
糖尿病	17	4	10	20

※診断病名が重複している利用者あり

(14) 入院・退所状況

(単位：人)

施 設	入院数	救急車要請数	病院内死亡	施設内死亡	看取り	他施設内死亡	長期入院による退園	入院中
成 幸	29	15	9	18	14	—	1	—
戸越台	15	5	2	6	11	—	1	1
荏 原	80	33	12	2	10	—	4	5
平塚橋	40	18	7	—	14	—	3	1

(15) 入院者病名および件数

(単位：人)

疾 病 名	成 幸	戸越台	荏 原	平塚橋
肺 炎	9	3	26	9
心 疾 患	4	1	8	2
脳 卒 中	1	1	3	2
癌	1	—	2	1
肝 胆 系 疾 患	1	1	2	2
イ レ ウ ス	—	1	3	—
尿 路 感 染 症	2	2	15	6
脱 水	—	—	2	—
骨 折	3	2	3	6
皮 膚 疾 患	2	—	—	1
精 神 神 経 疾 患	—	—	—	—
精 査	1	1	—	3
そ の 他	4	1	15	6
新型コロナウイルス感染症	—	2	1	2
合 計	28	15	80	40

(16) その他

1) 健康診断

秋健康診断実施対象者全員

2) ワクチン予防接種実施

(単位：人)

区 分	成 幸	戸越台	荏 原	平塚橋
インフルエンザ	67	57	97	75
コロナウイルス	53	44	56	60
肺炎ワクチン	—	—	—	1

3) 感染症

(単位：件)

区 分	成 幸	戸越台	荏 原	平塚橋
新型コロナウイルス	—	23	15	13
結 核	—	—	—	—
疥 癬	—	—	2	—
M R S A	—	—	4	—
肝炎（B型）	—	—	10	1
肝炎（C型）	—	1	5	—
インフルエンザ	—	—	9	—
急性胃腸炎	—	1	20	1

4) 褥瘡

(単位：件)

成 幸	戸越台	荏 原	平塚橋
22	4	7	2

5) 処置内容

ガーゼ交換（褥瘡、切創、皮膚剥離）、湿布貼布、軟膏塗布、酸素吸入（在宅酸素含む）、浣腸、排便、坐薬挿入、フランドルテープ（ホクナリン含む）交換、耳鼻咽喉科処置、眼科処置、酸素飽和度チェック、注射（点滴、筋肉、皮下）、経管栄養、ストマパウチ交換、吸引、その他

(17) 機能訓練

訓練内容

(単位：件)

区 分	成 幸	戸越台	荏 原	平塚橋
関節可動域訓練	2,073	3,520	5,492	1,012
上下肢筋力強化	50	1,066	5,486	908
起居動作訓練	3,177	63	720	35
トランスファー訓練	62	103	47	34
立位・歩行訓練	3,251	636	1,653	378
歩行器・車椅子操作指導	828	137	1,074	215
マッサージ	2,042	623	312	84
集団体操	—	463	484	—
レクリエーション	12	464	140	108

２．在宅サービス

（１）年間利用者状況

①通所介護事業（デイサービス）

成 幸

事業名・区分		月	４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月	
		実施日数	26日間	27日間	25日間	27日間	26日間	26日間	27日間	
基本 定員20名	総合事業	要支援１	５	６	５	５	５	５	４	
		要支援２	20	21	21	19	20	21	21	
		認定なし	１	—	３	１	１	—	２	
		実人員	26	27	26	25	26	26	27	
		利用者延べ人数	191	200	194	211	172	174	189	
		１日当たり利用人員	7.3	7.4	7.8	7.8	6.6	6.7	7.0	
	基本	要介護１	７	７	８	10	９	10	11	
		要介護２	10	10	10	11	11	10	11	
		要介護３	９	９	10	10	10	９	10	
		要介護４	４	１	１	１	１	１	１	
		要介護５	１	—	—	—	—	—	—	
		申請中	１	１	—	—	１	１	—	
		実人員	31	27	29	32	31	31	33	
		利用者延べ人員	277	269	267	284	300	309	317	
		１日当たり利用人員	10.7	10.0	10.7	10.5	11.5	11.9	11.7	
		平均要介護度(申請中除)	2.5	2.2	2.1	2.1	2.2	2.0	2.0	
	総計	利用者延べ人員	468	469	461	495	472	483	506	
		１日当たり利用人員	18.0	17.4	18.4	18.2	18.2	18.6	18.7	
		予防割合（％）	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	
		稼働率（％）	90.0	86.9	92.2	90.9	90.8	92.9	93.7	

	11月	12月	1月	2月	3月	年間合計	平均
	25日間	24日間	24日間	24日間	26日間	307日間	25.6日間
	6	5	5	6	5	62	5.2
	21	20	21	20	22	247	20.6
	—	1	1	—	1	11	0.9
	27	26	26	26	28	316	26.3
	169	171	143	149	166	2,129	177.4
	6.8	7.1	6.0	6.2	6.4		6.9
	11	12	12	15	13	125	10.4
	10	12	11	12	13	131	10.9
	10	10	7	6	6	106	8.8
	1	1	1	2	3	18	1.5
	—	—	—	—	—	1	0.1
	2	—	1	2	1	10	0.8
	34	35	32	37	36	388	32.3
	272	258	280	284	301	3,418	284.8
	10.9	10.8	11.7	11.8	11.6		11.1
	2.0	2.0	1.9	1.9	2.0		2.1
	441	429	423	433	467	5,547	461.7
	17.6	17.9	17.6	17.9	18.0		18.0
	0.4	0.4	0.3	0.3	0.4		0.4
	88.2	89.4	88.1	89.6	89.8		90.2

成 幸

事業名・区分		月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10月	
		実施日数	26日間	27日間	25日間	27日間	26日間	26日間	27日間	
短時間・障害者延べ人員			13	9	8	28	25	25	26	
その他利用			—	—	—	—	—	—	—	
身近でトレーニング	日数		—	—	—	—	—	—	—	
	実人員		—	—	—	—	—	—	—	
	延べ人数		—	—	—	—	—	—	—	
	1日当たり利用人員		—	—	—	—	—	—	—	
送迎	基本デイサービス		554	542	528	568	598	618	628	
	認知症デイサービス		—	—	—	—	—	—	—	
	総合事業		343	371	363	386	301	305	345	
	乗車延べ人数合計		897	913	891	954	899	923	973	
	1日当たり利用人員		34.5	33.8	35.6	35.3	34.6	35.5	36.0	
入浴	日数		26日間	27日間	25日間	27日間	26日間	26日間	27日間	
	総合	実利用者	17	18	19	17	16	17	17	
		延べ人数	122	138	143	147	126	123	129	
	基本	実利用者	29	25	29	30	30	30	31	
		延べ人数	207	198	186	202	216	224	215	
	認知	実利用者	—	—	—	—	—	—	—	
		延べ人数	—	—	—	—	—	—	—	
	1日当たり利用人員		12.7	12.4	13.2	12.9	13.2	13.3	12.7	
訓練	機能訓練延べ人数		283	287	283	298	300	301	328	
	1日当たり利用人員		10.9	11.0	10.9	11.0	12.0	11.1	12.6	
配食	配食延べ人数		29	30	46	33	36	31	26	
	1日当たり利用人員		1.1	1.2	1.8	1.2	1.4	1.1	1.0	

	11月	12月	1 月	2 月	3 月	年間合計	平均
	25日間	24日間	24日間	24日間	26日間	307日間	25.6日間
	25	23	21	25	24	252	21.0
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—
	532	510	555	555	592	6,780	565.0
	—	—	—	—	—	—	—
	337	325	273	279	310	3,938	328.2
	869	835	828	834	902	10,718	893.2
	34.8	34.8	34.5	34.8	34.7		34.9
	25日間	24日間	24日間	24日間	26日間	307日間	25.6日間
	19	19	17	15	15	206	17.2
	125	121	91	98	112	1,475	122.9
	28	29	29	33	33	356	29.7
	184	180	196	192	211	2,411	200.9
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—
	12.4	12.5	12.0	12.1	12.4		12.6
	310	301	270	278	284	3,523	293.6
	11.9	11.1	10.8	11.6	11.8		11.4
	24	15	28	28	15	341	28.4
	0.9	0.6	1.1	1.2	0.6		1.1

戸越台

事業名・区分		月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
		実施日数	26日間	27日間	25日間	27日間	26日間	26日間	27日間	
基本 定員30名	総合事業	要支援1	4	4	5	5	6	6	7	
		要支援2	21	20	18	20	15	16	16	
		認定なし	2	3	4	3	5	3	2	
		実人員	27	27	27	28	26	25	25	
		利用者延べ人数	183	180	173	185	158	152	161	
		1日当たり利用人員	7.0	6.7	6.9	6.9	6.1	5.8	6.0	
	基本	要介護1	16	17	17	16	18	19	19	
		要介護2	14	15	16	16	16	17	17	
		要介護3	6	8	8	9	7	5	6	
		要介護4	3	3	3	3	3	3	3	
		要介護5	1	1	1	1	1	1	1	
		申請中	1	1	—	—	—	—	1	
		実人員	40	45	45	45	45	46	47	
		利用者延べ人員	385	423	407	408	401	430	430	
		1日当たり利用人員	14.8	15.7	16.3	15.1	15.4	16.5	15.9	
		平均要介護度(申請中除)	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.8	1.9	
	総計	利用者延べ人員	568	603	580	593	559	582	591	
		1日当たり利用人員	21.8	22.3	23.2	22.0	21.5	22.4	21.9	
		予防割合(%)	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	
		稼働率(%)	72.8	74.4	77.3	73.2	71.7	74.6	73.0	
認知症 定員10名	予防	要支援1	—	—	—	—	—	—	—	
		要支援2	—	—	—	—	—	—	—	
		実人員	—	—	—	—	—	—	—	
		利用者延べ人数	—	—	—	—	—	—	—	
		1日当たり利用人員	—	—	—	—	—	—	—	
	介護	要介護1	—	—	—	1	1	1	—	
		要介護2	3	3	3	3	3	3	4	
		要介護3	3	3	2	2	1	1	1	
		要介護4	1	2	2	1	1	1	1	
		要介護5	—	—	—	—	—	—	—	
		申請中	1	—	—	—	—	—	1	
		実人員	8.0	8.0	7.0	7.0	6.0	6.0	7.0	
		利用者延べ人員	94	97	82	100	86	79	90	
		1日当たり利用人員	3.6	3.6	3.3	3.7	3.3	3.0	3.3	
		平均要介護度	2.7	2.9	2.9	2.4	2.3	2.3	2.5	
	総計	利用者延べ人員	94	97	82	100	86	79	90	
		1日当たり利用人員	3.6	3.6	3.3	3.7	3.3	3.0	3.3	
		予防割合(%)	—	—	—	—	—	—	—	
		稼働率(%)	36.2	35.9	32.8	37.0	33.1	30.4	33.3	
総計	平均要介護度		2.1	2.1	2.1	2.1	2.0	1.9	2.0	
	総計(延べ人員)		662	700	662	693	645	661	681	
	1日当たり利用人員総計		25	26	26	26	25	25	25	
	予防割合(%)		27.6	25.7	26.1	26.7	24.5	23.0	23.6	

	11月	12月	1月	2月	3月	年間合計	平均
	25日間	24日間	24日間	24日間	26日間	307日間	25.6日間
	7	8	8	8	7	75	6.3
	17	15	15	14	15	202	16.8
	2	1	3	4	2	34	2.8
	26	24	26	26	24	311	25.9
	142	144	156	150	156	1,940	161.7
	5.7	6.0	6.5	6.3	6.0		6.3
	19	17	16	19	16	209	17.4
	16	17	18	19	20	201	16.8
	6	6	5	5	5	76	6.3
	3	2	2	2	3	33	2.8
	1	1	—	—	—	9	0.8
	1	1	1	—	1	7	0.6
	46	44	42	45	44	534	44.5
	403	371	361	380	409	4,808	400.7
	16.1	15.5	15.0	15.8	15.7		15.7
	1.9	1.9	1.8	1.8	1.9		1.9
	545	515	517	530	565	6,748	562.3
	21.8	21.5	21.5	22.1	21.7		22.0
	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3		0.3
	72.7	71.5	71.8	73.6	72.4		73.3
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—
	1	—	—	—	—	4	0.3
	3	4	4	3	3	39	3.3
	1	—	—	—	1	15	1.3
	1	1	1	1	1	14	1.2
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	2	0.2
	6.0	5.0	5.0	4.0	5.0	74	6.2
	77	55	45	31	53	889	74.1
	3.1	2.3	1.9	1.3	2.0		2.9
	2.3	2.4	2.4	2.5	2.6		2.5
	77	55	45	31	53	889	74.1
	3.1	2.3	1.9	1.3	2.0		2.9
	—	—	—	—	—		—
	30.8	22.9	18.8	12.9	20.4		28.7
	2.0	2.0	1.9	1.8	2.0		2.0
	622	570	562	561	618	7,637	636.4
	25	24	23	23	24		25
	22.8	25.3	27.8	26.7	25.2		25.4

戸越台

事業名・区分		月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
		実施日数	26日間	27日間	25日間	27日間	26日間	26日間	27日間	
短時間・障害者延べ人員			26	23	12	14	10	9	14	
その他利用			—	—	—	—	—	—	—	
身近でトレーニング	日数		8	8	8	10	6	8	9	
	実人員		18	18	18	19	19	19	24	
	延べ人数		59	60	58	79	55	62	100	
	1日当たり利用人員		7.4	7.5	7.3	7.9	9.2	7.8	11.1	
送迎	基本デイサービス		662	717	688	721	711	777	770	
	認知症デイサービス		143	147	108	118	116	99	124	
	総合事業		324	316	303	316	273	267	265	
	乗車延べ人数合計		1129	1180	1099	1155	1100	1143	1159	
	1日当たり利用人員		43.4	43.7	44.0	42.8	42.3	44.0	42.9	
入浴	日数		18日間	18日間	17日間	18日間	17日間	18日間	18日間	
	総合	実利用者	16	16	15	16	16	16	14	
		延べ人数	106	111	107	105	103	106	95	
	基本	実利用者	33	36	36	36	34	36	37	
		延べ人数	196	223	214	219	186	224	228	
	認知	実利用者	6	5	4	5	5	5	6	
		延べ人数	33	28	27	37	32	32	37	
	1日当たり利用人員		18.6	20.1	20.5	20.1	18.9	20.1	20.0	
訓練	機能訓練延べ人数		606	637	640	665	626	640	660	
	1日当たり利用人員		23.3	24.5	24.6	24.6	25.0	23.7	25.4	
配食	配食延べ人数		256	230	185	200	183	178	182	
	1日当たり利用人員		9.8	8.8	7.1	7.4	7.3	6.6	7.0	

	11月	12月	1 月	2 月	3 月	年間合計	平均
	25日間	24日間	24日間	24日間	26日間	307日間	25.6日間
	16	13	12	13	17	179	14.9
	—	—	—	—	—	—	—
	8	8	8	8	8	97	8.1
	24	24	24	24	24	255	21.3
	75	74	74	72	68	836	69.7
	9.4	9.3	9.3	9.0	8.5		0.0
	705	665	611	672	753	8,452	704.3
	103	62	73	61	106	1,260	105.0
	226	227	239	214	234	3,204	267.0
	1034	954	923	947	1093	12,916	1076.3
	41.4	39.8	38.5	39.5	42.0		42.0
	17日間	16日間	16日間	16日間	17日間	206日間	17.2日間
	13	13	12	14	14	175	14.6
	83	83	86	82	90	1,157	96.4
	36	36	35	36	36	427	35.6
	210	194	195	197	222	2,508	209.0
	5	4	4	3	4	56	4.7
	29	24	17	10	20	326	27.2
	18.9	18.8	18.6	18.1	19.5		19.4
	608	552	529	541	599	7,303	608.6
	23.4	20.4	21.2	22.5	25.0		23.6
	169	172	173	144	126	2,198	183.2
	6.5	6.4	6.9	6.0	5.3		7.1

荏 原

事業名・区分		月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
		実施日数	26日間	27日間	25日間	27日間	26日間	26日間	27日間	
基本 定員40名	総合事業	要支援1	12	15	17	13	12	12	15	
		要支援2	22	22	22	20	21	23	22	
		認定なし	—	—	—	—	—	—	—	
		実人員	36	39	39	33	33	35	37	
		利用者延べ人数	241	235	239	213	219	233	257	
		1日当たり利用人員	9.3	8.7	9.6	7.9	8.4	9.0	9.5	
	基本	要介護1	11	11	13	9	9	10	10	
		要介護2	20	19	18	18	18	18	19	
		要介護3	7	7	7	9	8	7	8	
		要介護4	5	5	6	6	5	4	4	
		要介護5	2	2	2	2	2	2	2	
		申請中	—	—	—	—	—	—	—	
		実人員	45	44	46	44	42	41	43	
		利用者延べ人員	342	338	323	350	342	318	343	
		1日当たり利用人員	13.2	12.5	12.9	13.0	13.2	12.2	12.7	
		平均要介護度(申請中除)	2.3	2.3	2.3	2.4	2.4	2.3	2.3	
	総計	利用者延べ人員	583	573	562	563	561	551	600	
		1日当たり利用人員	22.4	21.2	22.5	20.9	21.6	21.2	22.2	
		予防割合(%)	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	
		稼働率(%)	56.1	53.1	56.2	52.1	53.9	53.0	55.6	
認知症 定員10名	予防	要支援1	1	2	—	—	—	—	—	
		要支援2	1	1	1	1	—	—	—	
		実人員	2	3	1	1	—	—	—	
		利用者延べ人数	12	19	9	8	—	—	—	
		1日当たり利用人員	0.5	0.7	0.4	0.3	—	—	—	
	介護	要介護1	8	9	9	8	8	8	7	
		要介護2	3	3	4	4	4	4	5	
		要介護3	2	2	2	2	2	3	2	
		要介護4	—	—	—	—	—	1	—	
		要介護5	—	—	—	—	—	—	—	
		申請中	—	—	—	—	1	—	—	
		実人員	14.0	16.0	16.0	17.0	15.0	16.0	14.0	
		利用者延べ人員	112	122	137	145	130	134	136	
		1日当たり利用人員	4.3	4.5	5.5	5.4	5.0	5.2	5.0	
		平均要介護度	1.4	1.3	1.4	1.3	1.6	1.8	1.6	
	総計	利用者延べ人員	124	141	146	153	130	134	136	
		1日当たり利用人員	4.8	5.2	5.8	5.7	5.0	5.2	5.0	
		予防割合(%)	10	13	6	5	—	—	—	
		稼働率(%)	47.7	52.2	58.4	56.7	50.0	51.5	50.4	
総計	平均要介護度		2.1	2.0	2.0	2.1	2.2	2.1	2.1	
	総計(延べ人員)		707	714	708	716	691	685	736	
	1日当たり利用人員総計		27	26	28	27	27	26	27	
	予防割合(%)		35.8	35.6	35.0	30.9	31.7	34.0	34.9	

	11月	12月	1月	2月	3月	年間合計	平均
	25日間	24日間	24日間	24日間	26日間	307日間	25.6日間
	15	13	15	15	14	168	14.0
	23	22	25	25	24	271	22.6
	—	—	—	—	—	—	—
	38	35	40	40	38	443	36.9
	210	194	237	215	224	2,717	226.4
	8.4	8.1	9.9	9.0	8.6		8.9
	12	11	12	15	13	136	11.3
	18	15	16	15	14	208	17.3
	8	8	8	8	7	92	7.7
	5	6	6	6	5	63	5.3
	2	2	2	1	2	23	1.9
	—	—	—	—	—	—	—
	45	45	44	45	41	525	43.8
	314	280	303	292	285	3,830	319.2
	12.6	11.7	12.6	12.2	11.0		12.5
	2.3	2.2	2.3	2.2	2.2		2.3
	524	474	540	507	509	6,547	545.6
	21.0	19.8	22.5	21.1	19.6		21.3
	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4		0.4
	52.4	49.4	56.3	52.8	48.9		53.3
	—	—	—	—	—	3	0.3
	—	—	—	—	—	4	0.3
	—	—	—	—	—	7	0.6
	—	—	—	—	—	48	4.0
	—	—	—	—	—		—
	7	7	7	7	7	92	7.7
	5	5	5	5	4	51	4.3
	1	1	1	1	1	20	1.7
	—	—	—	—	—	1	0.1
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	1	0.1
	13.0	13.0	13.0	13.0	12.0	172	14.3
	118	113	119	115	120	1,501	125.1
	4.7	4.7	5.0	4.8	4.6		4.9
	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5		1.5
	118	113	119	115	120	1,549	129.1
	4.7	4.7	5.0	4.8	4.6		5.0
	—	—	—	—	—		3
	47.2	47.1	49.6	47.9	46.2		50.4
	2.1	2.1	2.1	2.0	2.1		2.1
	642	587	659	622	629	8,096	674.7
	26	24	27	26	24		26
	32.7	33.0	36.0	34.6	35.6		34.1

荏 原

事業名・区分		月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10月	
		実施日数	26日間	27日間	25日間	27日間	26日間	26日間	27日間	
短時間・障害者延べ人員			—	—	—	—	—	—	—	
その他利用			—	—	—	—	—	—	—	
身近でトレーニング	日数		—	—	—	—	—	—	—	
	実人員		—	—	—	—	—	—	—	
	延べ人数		—	—	—	—	—	—	—	
	1 日当たり利用人員		—	—	—	—	—	—	—	
送迎	基本デイサービス		571	743	563	591	592	539	581	
	認知症デイサービス		224	336	278	281	249	253	243	
	総合事業		445	354	412	386	331	418	439	
	乗車延べ人数合計		1240	1433	1253	1258	1172	1210	1263	
	1 日当たり利用人員		47.7	53.1	50.1	46.6	45.1	46.5	46.8	
入浴	日数		26日間	27日間	25日間	27日間	26日間	26日間	27日間	
	総合	実利用者	24	22	25	21	23	25	23	
		延べ人数	142	113	124	112	121	129	133	
	基本	実利用者	36	44	40	37	35	33	36	
		延べ人数	206	252	220	219	212	187	224	
	認知	実利用者	10	12	10	9	8	9	9	
		延べ人数	58	84	65	62	41	56	60	
	1 日当たり利用人員		15.6	16.6	16.4	14.6	14.4	14.3	15.4	
訓練	機能訓練延べ人数		339	341	341	349	325	339	359	
	1 日当たり利用人員		13.0	13.1	13.1	12.9	13.0	12.6	13.8	
配食	配食延べ人数		105	90	44	51	42	43	48	
	1 日当たり利用人員		4.0	3.5	1.7	1.9	1.7	1.6	1.8	

※10月～3月 身近でトレーニング休止
(大規模改修工事のため)

	11月	12月	1 月	2 月	3 月	年間合計	平均
	25日間	24日間	24日間	24日間	26日間	307日間	25.6日間
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—		—
	519	479	518	501	495	6,692	557.7
	206	202	213	208	216	2,909	242.4
	372	339	409	373	293	4,571	380.9
	1,097	1,020	1,140	1,082	1,004	14,172	1,181.0
	43.9	42.5	47.5	45.1	38.6		46.1
	25日間	24日間	24日間	24日間	26日間	307日間	25.6日間
	24	23	24	22	19	275	22.9
	110	103	123	104	89	1,403	116.9
	37	34	36	36	32	436	36.3
	204	182	200	189	179	2,474	206.2
	8	8	8	8	7	106	8.8
	46	46	49	48	43	658	54.8
	14.4	13.8	15.5	14.2	12.0		14.8
	314	270	291	258	250	3,776	314.7
	12.1	10.0	11.6	10.8	10.4		12.2
	44	44	39	40	40	630	52.5
	1.7	1.6	1.6	1.7	1.7		2.0

小山の家

事業名・区分		月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
		実施日数	26日間	27日間	25日間	27日間	26日間	26日間	27日間	
認知症 定員10名	予防	要支援1	—	—	—	—	—	—	—	—
		要支援2	1	—	—	—	—	—	—	
		実人員	1	—	—	—	—	—	—	
		利用者延べ人数	8	—	—	—	—	—	—	
		1日当たり利用人員	0.3	—	—	—	—	—	—	
	介護	要介護1	7	7	6	5	5	6	4	
		要介護2	4	4	5	7	6	6	5	
		要介護3	3	5	5	5	4	3	5	
		要介護4	—	—	—	—	—	1	2	
		要介護5	—	—	—	—	—	—	—	
		申請中	—	—	—	—	—	—	—	
		実人員	14	16	16	17	15	16	16	
		利用者延べ人員	107	139	137	142	140	141	137	
		1日当たり利用人員	4.1	5.1	5.5	5.3	5.4	5.4	5.1	
		平均要介護度(申請中除)	1.7	1.9	1.9	2	2.6	1.9	2.3	
	総計	利用者延べ人員	115	139	137	142	140	141	137	
		1日当たり利用人員	4.4	5.1	5.5	5.3	5.4	5.4	5.1	
		予防割合(%)	7	—	—	—	—	—	—	
		稼働率(%)	44.2	51.5	54.8	52.6	53.8	54.2	50.7	
総計	平均要介護度		115	139	137	142	140	141	137	
	総計(延べ人員)		4.4	5.1	5.5	5.3	5.4	5.4	5.1	
	1日当たり利用人員総計		7	—	—	—	—	—	—	
	予防割合(%)		44.2	51.5	54.8	52.6	53.8	54.2	50.7	

	11月	12月	1月	2月	3月	年間合計	平均
	25日間	24日間	24日間	24日間	26日間	307日間	25.6日間
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	1	0.1
	—	—	—	—	—	8	0.7
	—	—	—	—	—		—
	4	1	2	2	2	51	4.3
	5	6	5	5	5	63	5.3
	5	5	5	5	5	55	4.6
	1	1	1	2	3	11	0.9
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—
	15	13	13	14	15	180	15.0
	128	115	132	124	149	1,591	132.6
	5.1	4.8	5.5	5.2	5.7		5.2
	2.2	2.5	2.4	2.5	2.6		2.2
	128	115	132	124	149	1,599	133.3
	5.1	4.8	5.5	5.2	5.7		5.2
	—	—	—	—	—		0.6
	51.2	47.9	55.0	51.7	57.3		52.1
	128	115	132	124	149	1,599	133.3
	5.1	4.8	5.5	5.2	5.7		5.2
	—	—	—	—	—		0.6
	51.2	47.9	55.0	51.7	57.3		52.1

小山の家

事業名・区分		月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
		実施日数	26日間	27日間	25日間	27日間	26日間	26日間	27日間	
短時間・障害者延べ人員			—	—	—	—	—	—	—	
その他利用			—	—	—	—	—	—	—	
身近でトレーニング	日数		—	—	—	—	—	—	—	
	実人員		—	—	—	—	—	—	—	
	延べ人数		—	—	—	—	—	—	—	
	1日当たり利用人員		—	—	—	—	—	—	—	
送迎	基本デイサービス		230	278	274	284	279	279	273	
	認知症デイサービス		—	—	—	—	—	—	—	
	総合事業		230	278	274	284	279	279	273	
	乗車延べ人数合計		8.8	10.3	11	10.5	10.7	10.7	10.1	
	1日当たり利用人員		26日間	27日間	25日間	27日間	26日間	26日間	27日間	
入浴	日数		230	278	274	284	279	279	273	
	総合	実利用者	—	—	—	—	—	—	—	
		延べ人数	—	—	—	—	—	—	—	
	基本	実利用者	—	—	—	—	—	—	—	
		延べ人数	—	—	—	—	—	—	—	
	認知	実利用者	10	12	12	11	10	10	11	
		延べ人数	66	80	79	83	71	75	73	
	1日当たり利用人員		2.5	3	3.2	3.2	2.7	2.9	2.8	
訓練	機能訓練延べ人数		—	—	—	—	—	—	—	
	1日当たり利用人員		—	—	—	—	—	—	—	
配食	配食延べ人数		—	—	—	—	—	—	—	
	1日当たり利用人員		—	—	—	—	—	—	—	

	11月	12月	1月	2月	3月	年間合計	平均
	25日間	24日間	24日間	24日間	26日間	307日間	25.6日間
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—		—
	—	—	—	—	—	—	—
	253	230	264	248	298	3,190	265.8
	—	—	—	—	—	—	—
	253	230	264	248	298	3,190	265.8
	10.1	9.6	11	10.3	11.5		10.4
	25日間	24日間	24日間	24日間	26日間	307日間	25日間
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—
	11	10	11	10	10	128	10.7
	70	67	66	59	69	858	71.5
	2.8	2.8	2.9	2.8	2.8		2.9
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—		—
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—		—

②短期入所生活介護事業（ショートステイ）

成幸ショートステイ月別利用状況（定員 8 名）

区 分	合計人数	延利用日数	1 日平均人数	送迎利用者	稼働率%
4 月	7	56	1.9	14	23.3
5 月	7	46	1.5	10	18.6
6 月	6	55	1.8	8	23.0
7 月	6	57	1.8	12	23.0
8 月	6	92	3.0	8	37.1
9 月	7	82	2.7	10	34.2
10月	8	90	2.9	8	36.3
11月	6	65	2.2	6	27.1
12月	6	53	1.7	6	21.4
1 月	4	39	1.3	6	15.7
2 月	5	40	1.4	8	17.9
3 月	6	71	2.3	8	28.6
R 7 年度 合 計	74	746	2.0	104	25.5
R 6 年度 合 計	68	488	1.4	116	8.6
R 5 年度 合 計	87	823	2.4	165	14.2

年間要介護度別利用状況				平均要介護度 2.8
区 分	人 数	%	延べ日数	
要 支 援 1	—	—	—	平均稼働率 25.5%
要 支 援 2	6	8.1	64	
要 介 護 1	15	20.3	115	
要 介 護 2	15	20.3	232	
要 介 護 3	6	8.1	55	
要 介 護 4	25	33.8	228	
要 介 護 5	7	9.5	52	
申 請 中	—	—	—	
合 計	74	100.0	746	

戸越台ショートステイ月別利用状況（定員 8 名）

区 分	合計人数	延利用日数	1 日平均人数	送迎利用者	稼働率%
4 月	15	119	4.0	27	49.6
5 月	11	125	4.0	19	50.4
6 月	12	146	4.9	19	60.8
7 月	12	149	4.8	17	60.1
8 月	15	124	4.0	26	50.0
9 月	15	121	4.0	26	50.4
10月	15	166	5.4	18	66.9
11月	14	128	4.3	26	53.3
12月	11	71	2.3	17	28.6
1 月	11	96	3.1	19	38.7
2 月	14	100	3.6	29	44.6
3 月	15	115	3.7	35	46.3
R 7 年 度 合 計	160	1,460	48.1	278	50.0
R 6 年 度 合 計	143	1,155	2.8	251	39.6
R 5 年 度 合 計	127	977	7.8	184	33.4

年間要介護度別利用状況			
区 分	人 数	%	延べ日数
要 支 援 1	2	1.3	16
要 支 援 2	12	7.5	108
要 介 護 1	48	30.0	426
要 介 護 2	35	21.9	319
要 介 護 3	45	28.1	468
要 介 護 4	12	7.5	63
要 介 護 5	—	—	—
申 請 中	6	3.7	60
合 計	160	100.0	1,460

平均要介護度
2.1

平均稼働率
50.0%

荏原ショートステイ月別利用状況（定員30名）

区 分	合計人数	延利用日数	1日平均人数	送迎利用者	稼働率%
4月	65	492	16.4	108	68.3
5月	64	539	17.4	120	72.4
6月	70	525	17.5	129	72.9
7月	67	523	16.9	117	70.3
8月	72	613	19.8	125	82.4
9月	62	408	13.6	109	56.7
10月	73	577	18.6	132	77.6
11月	72	563	18.8	124	78.2
12月	74	656	21.2	126	88.2
1月	63	571	18.4	107	76.7
2月	74	639	22.8	140	95.1
3月	75	628	20.3	143	84.4
R7年度 合 計	831	6,734	18.5	1,480	76.9
R6年度 合 計	841	6,924	19.0	1,661	79.0
R5年度 合 計	962	8,267	22.6	1,618	76.5

年間要介護度別利用状況				平均要介護度 2.4
区 分	人 数	%	延べ日数	
要 支 援 1	8	1.0	41	平均稼働率 76.9%
要 支 援 2	86	10.3	478	
要 介 護 1	181	21.8	1,470	
要 介 護 2	221	26.6	1,897	
要 介 護 3	172	20.7	1,484	
要 介 護 4	106	12.8	834	
要 介 護 5	27	3.2	253	
申 請 中	30	3.6	277	
合 計	831	100.0	6,734	

*令和6年3月～ 大規模改修工事に伴い、定員変更30名→24名

平塚橋ショートステイ月別利用状況（定員12名）

区 分	合計人数	延利用日数	1日平均人数	送迎利用者	稼働率%
4月	30	208	5.9	59	57.8
5月	29	223	6.3	63	60.0
6月	28	221	6.4	67	61.4
7月	31	224	6.2	64	60.2
8月	33	220	6.0	61	59.1
9月	28	197	5.6	48	54.7
10月	29	212	5.9	58	57.0
11月	31	221	6.3	59	61.4
12月	26	193	5.4	54	51.9
1月	25	222	6.4	53	59.7
2月	29	239	7.5	61	71.2
3月	31	251	7.0	65	67.5
R7年度 合 計	350	2,631	74.9	712	60.0
R6年度 合 計	306	2,192	5.8	739	50.8
R5年度 合 計	264	1,696	4.7	620	39.4

年間要介護度別利用状況			
区 分	人 数	%	延べ日数
要 支 援 1	10	2.9	76
要 支 援 2	61	17.4	381
要 介 護 1	50	14.3	364
要 介 護 2	97	27.7	740
要 介 護 3	68	19.4	556
要 介 護 4	21	6.0	112
要 介 護 5	43	12.3	402
申 請 中	—	—	—
合 計	350	100.0	2,631

平均要介護度
2.7

平均稼働率
60.0%

(2) 機能訓練

①訓練内容

(単位：件)

	成 幸	戸越台	荏 原
関 節 可 動 域 訓 練	3,530	3,861	2,193
上 下 肢 筋 力 強 化	3,529	6,851	2,148
起 居 動 作 訓 練	—	—	4
トランスファー訓練	—	—	—
立 位 ・ 歩 行 訓 練	3,075	6,854	2,153
歩行器・車椅子操作指導	585	—	—
マ ッ サ ー ジ	203	85	
集 団 体 操	3,337	7,339	3,747
レ ク リ エ ー シ ョ ン	3,305	7,339	3,749

(3) 食事サービス（ショートステイ・デイサービス・配食）

①喫食者の個別対応

(単位：人)

	成 幸			戸越台			荏 原			平塚橋
項 目	シ ョ ー ト	デ イ	配 食	シ ョ ー ト	デ イ	配 食	シ ョ ー ト	デ イ	配 食	シ ョ ー ト
定 員	8	20	—	8	40	—	24	50	—	12
療 養 食	2	6	1	13	12	1	—	8	1	—
摂 食 障 害	17	1	—	40	1	1	10	1	—	3
摂 食 嚥 下	3	8	—	78	24	2	200	27	1	—
機 能 障 害	1	8	—	41	14	—	304	17	—	9

(4) 健康管理

※D. S. はデイサービス、S. S. はショートステイ

①受診及び入院状況

(単位：人)

区 分	成 幸		戸越台		荏 原		平塚橋
	D. S.	S. S.	D. S.	S. S.	D. S.	S. S.	S. S.
受 診	—	2	1	9	—	24	1
入 院	—	—	1	2	—	4	4

②入院時病名

(単位：人)

区 分	成 幸		戸越台		荏 原		平塚橋
	D. S.	S. S.	D. S.	S. S.	D. S.	S. S.	S. S.
肺 炎	—	—	—	—		2	2
心 疾 患	—	—	1	—		—	—
脳 卒 中	—	—	—	—		—	—
骨 折	—	—	—	—			—
脱 水 ・ 発 熱	—	—	—	—		2	1
そ の 他	—	—	—	2			1
救急車依頼回数	—	—	2	2		5	4

③医器処置者数

(単位：人)

区 分	成 幸		戸越台		荏 原		平塚橋
	D. S.	S. S.	D. S.	S. S.	D. S.	S. S.	S. S.
バルーンカテーテル	—	—	1	1	1	5	3
ス ト マ ー	—	—	1	1	—	—	1
貼 付 薬	6	2	8	3	2	14	7
ペースメーカー	—	—	1	1	1	3	4
酸素吸入	—	—	1	—	1	2	3
人工透析	—	—	3	—	3	—	—
胃 ろ う	1	—	—	—	1	—	1
インシュリン注射	—	1	4	—	1	2	4
血糖値チェック	—	—	—	—	1	1	2
皮 下 注 射	—	—	—	1	—	1	—

(5) 栄養調理

①三徳会元気クッキング（地域貢献活動）

平塚橋ゆうゆうプラザ、荏原文化センターにおいて料理教室を開催した。多世代の地域住民同士の交流を通して健康や食生活の関心を引き出し、栄養相談や情報提供を行った。

通算回数 参加人数 開催場所	日 時	テーマ及び実習内容
第166回 13人 平塚橋ゆうゆうプラザ	令和7年 6月14日 土曜日	「誰かの為に作ってみよう」 ・カラフルおにぎらず ・お任せケーキオムレツ ・フルーツ茶巾絞り ・さっぱりドリンク
第167回 10人 荏原文化センター	令和7年 11月26日 水曜日	「ローリングストック ～健康寿命も考えましょう～」 ・サバカレー ・スイートサラダ ・コンビーフ炒め ・簡単プリン風
第168回 9名 平塚橋ゆうゆうプラザ	令和8年 2月24日 火曜日	「睡眠&腸活」 ・グラノーラご飯 ・豆腐ハンバーグ ・ふわたまスープ ・ヨーグルトゼリー

3. 在宅介護支援センター

(1) 年間利用者状況

(成 幸)

		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	
介護保険制度の説明・相談		41	30	30	36	30	31	
要介護認定		23	24	38	22	24	25	
基本チェックリスト		—	—	—	—	1	—	
訪問 サービス	訪問介護	—	1	—	—	2	3	
	訪問看護	2	4	3	—	2	1	
	その他	2	—	—	1	—	—	
通所 サービス	通所介護	1	10	6	12	6	14	
	通所リハビリテーション	—	—	—	—	1	—	
短期入所		—	3	3	—	1	—	
福祉用具	貸与	3	5	6	6	8	8	
	購入	3	1	—	—	—	5	
住宅改修		—	1	—	—	3	5	
(看護) 小規模多機能型居宅介護		—	1	—	—	—	—	
総合事業サービス		—	—	3	—	—	1	
一般介護予防事業		—	—	—	—	—	—	
区独自サービス		1	1	—	2	4	2	
施設 サービス	特別養護老人ホーム	—	2	—	2	2	1	
	老人保健施設	—	—	—	—	—	2	
	認知症対応型共同生活介護 (グループホーム)	—	—	—	—	—	—	
	特定施設入居者生活介護	2	5	—	1	—	2	
	その他	—	—	3	1	—	—	
医療・保健・健康相談		21	13	12	23	22	12	
認知症		—	2	—	3	1	—	
成年後見		—	—	—	—	—	—	
虐待		—	—	—	—	—	—	
安否確認		1	—	3	2	2	1	
苦情		—	1	—	—	—	—	
経済的問題		—	—	—	1	1	—	
家族問題		—	—	3	—	—	1	
その他		4	3	3	6	7	5	
訪問相談		847	945	749	876	887	963	
月計		951	1,052	862	994	1,004	1,082	

	10月	11月	12月	1 月	2 月	3 月	年度合計	平均
	25	19	2	23	37	30	334	27. 8
	21	22	1	32	32	34	298	24. 8
	—	—	—	—	—	1	2	0. 2
	—	1	1	2	—	—	10	0. 8
	2	4	1	1	—	—	20	1. 7
	2	—	—	1	—	—	6	0. 5
	3	1	1	1	8	3	66	5. 5
	—	4	—	—	—	—	5	0. 4
	—	1	—	—	—	—	8	0. 7
	1	4	2	1	8	1	53	4. 4
	—	—	—	1	—	4	14	1. 2
	5	7	6	3	3	5	38	3. 2
	—	—	—	—	—	—	1	0. 1
	—	—	—	—	—	1	5	0. 4
	—	—	—	—	—	1	1	0. 1
	—	1	1	2	5	7	26	2. 2
	—	2	—	1	2	—	12	1. 0
	—	—	—	—	—	1	3	0. 3
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	1	—	—	—	11	0. 9
	—	—	—	—	—	—	4	0. 3
	12	13	10	10	5	15	168	14. 0
	—	—	1	1	—	—	8	0. 7
	—	—	—	1	—	1	2	0. 2
	—	—	—	—	—	3	3	0. 3
	3	—	—	—	—	—	12	1. 0
	—	—	—	—	—	—	1	0. 1
	—	—	—	—	—	—	2	0. 2
	—	—	1	—	—	—	5	0. 4
	9	6	6	6	—	5	60	5. 0
	1, 032	940	959	955	946	1, 006	11, 105	925
	1, 115	1, 025	993	1, 041	1, 046	1, 118	12, 283	1, 024

(戸越台)

		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	
介護保険制度の説明・相談		16	7	7	13	14	15	
要介護認定		31	18	22	26	18	20	
基本チェックリスト		—	1	—	1	—	1	
訪問 サービス	訪問介護	1	4	1	2	2	1	
	訪問看護	—	—	1	—	1	1	
	その他	—	—	1	—	1	—	
通所 サービス	通所介護	5	1	3	3	6	3	
	通所リハビリテーション	—	—	—	—	1	—	
短期入所		—	—	1	—	—	3	
福祉用具	貸与	3	2	3	6	2	1	
	購入	—	—	—	—	—	1	
住宅改修		—	1	1	3	2	1	
(看護) 小規模多機能型居宅介護		—	—	—	—	—	1	
総合事業サービス		—	—	—	—	—	1	
一般介護予防事業		—	—	—	—	—	—	
区独自サービス		3	1	2	5	3	2	
施設 サービス	特別養護老人ホーム	—	—	—	—	1	—	
	老人保健施設	—	—	—	—	1	1	
	認知症対応型共同生活介護 (グループホーム)	—	—	—	—	—	—	
	特定施設入居者生活介護	—	—	—	—	—	—	
	その他	—	—	—	—	2	1	
医療・保健・健康相談		10	8	9	15	14	13	
認知症		—	—	3	2	—	3	
成年後見		—	—	—	1	—	1	
虐待		—	—	—	—	—	—	
安否確認		—	1	4	4	—	—	
苦情		—	—	—	—	—	—	
経済的問題		—	2	3	—	1	—	
家族問題		—	—	—	—	1	—	
その他		—	—	—	—	—	—	
訪問相談		783	720	809	749	709	737	
月計		852	766	870	830	779	807	

	10月	11月	12月	1 月	2 月	3 月	年度合計	平均
	11	7	8	5	9	7	119	9.9
	23	18	19	28	15	18	256	21.3
	1	1	1	—	—	1	7	0.6
	1	4	2	—	—	4	22	1.8
	—	—	—	—	—	—	3	0.3
	—	—	—	—	—	—	2	0.2
	3	1	1	—	—	1	27	2.3
	—	—	—	—	—	—	1	0.1
	—	—	—	—	—	—	4	0.3
	3	2	2	3	1	2	30	2.5
	—	—	—	—	—	—	1	0.1
	—	1	1	—	—	1	11	0.9
	—	—	—	—	—	—	1	0.1
	—	—	—	—	—	—	1	0.1
	—	—	—	—	—	—	—	—
	4	1	1	—	3	1	26	2.2
	1	—	—	1	1	—	4	0.3
	—	—	—	—	—	—	2	0.2
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	1	—	—	4	0.3
	23	8	8	12	16	8	144	12.0
	1	—	—	—	3	—	12	1.0
	—	—	—	—	—	—	2	0.2
	—	—	—	3	2	—	5	0.4
	—	1	1	5	6	1	23	1.9
	—	—	—	—	2	—	2	0.2
	1	2	2	1	1	2	15	1.3
	—	—	—	6	—	—	7	0.6
	—	—	—	—	—	—	—	—
	876	720	726	780	795	710	9,114	759.5
	948	766	772	845	854	756	9,845	820.4

(荏 原)

		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	
介護保険制度の説明・相談		11	5	6	8	8	9	
要介護認定		27	24	28	26	18	12	
基本チェックリスト		—	—	1	—	—	—	
訪問 サービス	訪問介護	1	1	3	4	—	—	
	訪問看護	—	2	2	2	—	2	
	その他	2	1	—	—	—	—	
通所 サービス	通所介護	4	2	2	13	1	5	
	通所リハビリテーション	—	—	—	1	—	—	
短期入所		—	—	—	—	—	—	
福祉用具	貸与	1	5	—	5	4	8	
	購入	—	—	—	—	2	—	
住宅改修		3	1	5	—	—	—	
(看護) 小規模多機能型居宅介護		—	1	—	1	1	—	
総合事業サービス		—	—	—	—	—	—	
一般介護予防事業		—	—	—	—	—	—	
区独自サービス			4	—	—	2	1	
施設 サービス	特別養護老人ホーム	—	—	2	—	—	—	
	老人保健施設	—	1	2	1	—	—	
	認知症対応型共同生活介護 (グループホーム)	—	—	—	—	—	—	
	特定施設入居者生活介護	—	—	—	—	—	—	
	その他	—	1	—	—	—	2	
医療・保健・健康相談		5	10	12	20	10	8	
認知症		—	—	—	—	1	1	
成年後見		—	—	—	—	—	—	
虐待		1	4	—	—	—	1	
安否確認		—	1	1	—	4	—	
苦情		—	—	—	—	—	—	
経済的問題		—	—	—	—	1	—	
家族問題		—	—	—	1	1	—	
その他		1	—	—	—	1	—	
訪問相談		1, 118	860	1, 017	979	911	868	
月計		1, 174	923	1, 081	1, 061	965	917	

	10月	11月	12月	1 月	2 月	3 月	年度合計	平均
	5	5	5	7	6	5	80	6.7
	18	24	21	27	12	24	261	21.8
	1	—	—	—	—	—	2	0.2
	2	1	1	2	—	1	16	1.3
	4	2	2	—	—	2	18	1.5
	—	1	1	—	2	1	8	0.7
	1	2	2	2	3	2	39	3.3
	—	—	—	—	—	—	1	0.1
	—	—	—	—	—	—	—	—
	8	5	4	5	3	5	53	4.4
	—	—	—	—	—	—	2	0.2
	2	1	1	5	6	1	25	2.1
	—	1	1	—	—	1	6	0.5
	—	—	—	—	—	—	—	—
	2	—	—	—	—	—	2	0.2
	2	4	4	1	—	4	22	2.0
	—	—	—	—	1	—	3	0.3
	—	1	1	1	—	1	8	0.7
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	2	—	2	0.2
	—	1	1	1	1	—	7	0.6
	14	10	9	15	14	10	137	11.4
	2	—	—	2	2	—	8	0.7
	—	—	—	—	—	—	—	—
	2	4	4	—	—	4	20	1.7
	3	1	1	—	—	1	12	1.0
	—	—	—	1	—	—	1	0.1
	—	—	—	—	—	—	1	0.1
	—	—	—	—	—	—	2	0.2
	3	—	—	1	1	—	7	0.6
	880	860	838	906	811	846	10,894	907.8
	949	923	896	976	864	908	11,637	969.8

(小 山)

		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	
介護保険制度の説明・相談		30	29	29	22	13	22	
要介護認定		26	36	37	30	29	21	
基本チェックリスト		—	—	—	1	2	—	
訪問 サービス	訪問介護	4	1	3	2	2	5	
	訪問看護	—	2	4	3	1	4	
	その他	1	3	—	1	—	1	
通所 サービス	通所介護	4	9	10	8	10	4	
	通所リハビリテーション	1	—	2	—	—	—	
短期入所		—	1	—	—	—	—	
福祉用具	貸与	8	8	6	14	7	1	
	購入	—	—	—	2	1	—	
住宅改修		2	1	2	7	4	6	
(看護) 小規模多機能型居宅介護		—	—	—	—	1	—	
総合事業サービス		—	—	—	—	—	—	
一般介護予防事業		—	—	—	—	1	—	
区独自サービス		2	—	1	—	—	—	
施設 サービス	特別養護老人ホーム	—	—	—	—	4	1	
	老人保健施設	—	—	—	—	—	1	
	認知症対応型共同生活介護 (グループホーム)	1	—	—	—	—	—	
	特定施設入居者生活介護	5	—	—	—	2	2	
	その他	4	1	1	—	2	—	
医療・保健・健康相談		25	18	17	18	19	16	
認知症		—	6	3	1	1	4	
成年後見		—	—	1	—	—	1	
虐待		1	—	—	—	—	—	
安否確認		3	1	4	2	7	2	
苦情		—	—	—	—	—	—	
経済的問題		—	1	1	—	—	2	
家族問題		—	3	—	3	2	4	
その他		—	1	—	3	2	—	
訪問相談		1,057	725	986	935	927	969	
月計		1,174	846	1,107	1,052	1,037	1,066	

	10月	11月	12月	1 月	2 月	3 月	年度合計	平均
	25	29	29	45	21	27	321	26.8
	26	36	36	35	20	34	366	30.5
	1	—	—	—	—	—	4	0.3
	—	1	1	1	—	1	21	1.8
	1	2	2	4	1	2	26	2.2
	—	3	3	—	—	3	15	1.3
	4	9	9	8	1	9	85	7.1
	—	—	—	—	—	—	3	0.3
	—	1	1	—	—	1	4	0.3
	6	8	8	9	3	8	86	7.2
	—	—	—	1	1	—	5	0.4
	1	1	1	2	—	1	28	2.3
	1	—	—	—	—	—	2	0.2
	—	—	—	—	—	—	—	—
	1	—	—	—	—	—	2	0.2
	—	—	—	—	—	—	3	0.3
	3	—	—	1	9	—	18	1.5
	—	—	—	—	—	1	2	0.2
	—	—	—	—	—	—	1	0.1
	1	—	—	—	1	—	11	0.9
	1	1	1	—	1	1	13	1.1
	9	19	19	15	12	18	205	17.1
	4	6	7	5	8	6	51	4.3
	—	—	—	—	1	—	3	0.3
	—	—	—	—	—	—	1	0.1
	1	1	1	6	4	1	33	2.8
	—	—	—	1	—	—	1	0.1
	—	1	1	—	—	1	7	0.6
	3	3	3	—	4	3	28	2.3
	2	1	1	2	—	1	13	1.1
	867	725	719	1,006	899	707	10,522	876.8
	957	847	842	1,141	986	825	11,880	990.0

(小山台)

		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	
介護保険制度の説明・相談		8	13	3	7	9	16	
要介護認定		23	33	30	15	21	20	
基本チェックリスト		—	—	—	1	—	—	
訪問 サービス	訪問介護	—	—	—	2	5	—	
	訪問看護	3	4	—	—	—	2	
	その他	7	9	—	3	6	4	
通所 サービス	通所介護	7	4	—	3	4	4	
	通所リハビリテーション	—	—	3	1	—	—	
短期入所		—	—	3	—	1	—	
福祉用具	貸与	2	6	—	3	7	1	
	購入	—	—	—	—	—	—	
住宅改修		—	1	—	—	—	1	
(看護) 小規模多機能型居宅介護		—	—	—	—	—	—	
総合事業サービス		—	—	—	—	—	3	
一般介護予防事業		1	—	—	—	—	—	
区独自サービス		1	2	3	1	—	—	
施設 サービス	特別養護老人ホーム	—	—	—	1	5	1	
	老人保健施設	—	—	—	—	—	2	
	認知症対応型共同生活介護 (グループホーム)	—	—	—	—	—	—	
	特定施設入居者生活介護	1	—	—	2	—	1	
	その他	1	2	—	4	1	—	
医療・保健・健康相談		15	13	15	14	20	17	
認知症		1	2	—	2	—	2	
成年後見		—	—	—	—	1	—	
虐待		—	2	—	3	3	3	
安否確認		—	—	—	1	2	—	
苦情		—	—	—	1	—	—	
経済的問題		—	—	—	—	1	—	
家族問題		—	—	—	1	1	—	
その他		—	1	—	—	2	1	
訪問相談		840	830	743	785	806	812	
月計		910	922	800	850	895	890	

	10月	11月	12月	1 月	2 月	3 月	年度合計	平均
	8	4	8	10	11	5	102	8.5
	21	11	13	15	18	21	241	20.1
	—	—	—	—	—	—	1	0.1
	—	1	—	—	1	—	9	0.8
	1	—	—	—	2	—	12	1.0
	3	1	—	—	—	1	34	2.8
	3	11	4	3	3	7	53	4.4
	1	—	—	—	—	—	5	0.4
	1	—	—	—	—	—	5	0.4
	3	9	5	2	5	1	44	4.0
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	1	—	3	—	6	0.5
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	3	0.3
	—	2	—	—	—	—	3	0.3
	3	2	1	1	—	—	14	1.2
	—	2	3	2	2	1	17	1.4
	—	—	—	—	—	—	2	0.2
	—	—	1	—	—	—	1	0.1
	—	—	—	1	1	—	6	0.5
	—	1	1	—	1	—	11	0.9
	19	22	31	13	22	17	218	18.2
	2	—	—	1	—	—	10	0.8
	1	—	—	3	1	1	7	0.6
	1	9	2	2	2	1	28	2.3
	—	—	—	—	—	—	3	0.3
	—	—	1	—	—	—	2	0.2
	—	—	—	—	1	2	4	0.3
	3	—	—	1	—	1	7	0.6
	1	—	1	1	3	1	11	0.9
	830	578	777	777	806	816	9,400	783.3
	901	653	849	832	882	875	10,259	854.9

(2) 介護保険利用者状況

(成 幸)

		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	
相談	時間外相談対応	4	10	3	7	3	3	
介護報酬請求件数	居宅介護支援	居宅支援Ⅰ 1	42	48	49	63	52	61
		居宅支援Ⅰ 2	19	26	21	27	28	27
		居宅介護支援合計	61	74	70	90	80	88
		初回加算	7	7	7	12	5	11
		特定事業所加算Ⅱ	—	—	—	—	—	—
		特定事業所加算Ⅲ	61	74	70	90	80	88
		特定事業所医療介護連携加算	—	—	—	—	—	—
		入院時情報連携加算Ⅰ	2	4	3	3	2	4
		入院時情報連携加算Ⅱ	—	1	—	2	1	—
		退院退所加算Ⅰイ	—	2	1	1	2	2
		退院退所加算Ⅰロ	—	—	—	—	—	—
		退院退所加算Ⅱイ	—	—	—	1	—	—
		退院退所加算Ⅱロ	—	—	—	—	—	—
		退院退所加算Ⅲ	—	—	—	—	—	—
		通院時情報連携加算	—	—	—	—	—	—
		緊急時等居宅カンファレンス加算	—	—	—	—	—	—
		ターミナルケアマネジメント加算	—	—	—	—	—	—
		看取り期相談調整支援Ⅰ 1	—	—	—	—	—	—
		看取り期相談調整支援Ⅰ 2	—	—	—	—	—	—
	介護予防支援	a 介護予防支援・基本	183	195	185	184	191	193
		介護予防支援・初回	9	9	5	1	6	7
	総合事業	b 原則型マネジメント	81	76	71	72	68	73
		c 簡略型マネジメント	18	16	16	17	17	17
		d 初回型マネジメント	3	2	—	—	—	—
		初回加算	1	—	2	3	3	4
		介護予防ケアマネジメント(b+c+d)	102	94	87	89	85	90
		介護予防支援・原則型合計(a+b)	264	271	256	256	259	266
		介護予防支援+原則型+簡略型(a+b+c)	282	287	272	273	276	283
調査	認定調査	21	25	16	13	14	7	
実態把握	介護給付	8	16	7	9	18	11	
	予防給付・介護予防	25	18	14	11	13	20	

	10月	11月	12月	1 月	2 月	3 月	年度合計	平均
	6	9	3	12	3	8	71	5.9
	62	61	65	70	69	66	708	59.0
	26	29	26	25	28	27	309	25.8
	88	90	91	95	97	93	1,017	84.8
	8	3	6	10	7	4	87	7.3
	—	—	—	—	—	—	—	—
	88	90	91	95	97	93	1,017	84.8
	—	—	—	—	—	—	—	—
	4	4	3	4	1	6	40	3.3
	1	1	1	—	4	1	12	1.0
	—	1	1	—	2	1	13	1.1
	—	—	1	—	—	—	1	0.1
	—	—	—	—	—	—	1	0.1
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—
	190	186	191	185	186	195	2,264	188.7
	8	4	7	5	5	9	75	6.3
	74	75	78	73	73	73	887	73.9
	17	14	16	15	15	13	191	15.9
	—	—	—	1	—	1	7	0.6
	2	2	3	—	7	3	30	2.5
	91	89	94	89	88	87	1,085	90.4
	264	261	269	258	259	268	3,151	262.6
	281	275	285	273	274	281	3,342	278.5
	10	7	17	14	15	8	167	13.9
	8	11	9	12	9	6	124	10.3
	10	11	12	17	16	17	184	15.3

(戸越台)

		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	
相談	時間外相談対応	7	22	10	13	7	12	
介護報酬請求件数	居宅介護支援	居宅支援Ⅰ 1	66	70	67	72	78	75
		居宅支援Ⅰ 2	36	37	39	38	35	29
		居宅介護支援合計	102	107	106	110	113	104
		初回加算	10	7	2	5	7	5
		特定事業所加算Ⅱ	97	106	106	110	113	104
		特定事業所加算Ⅲ	5	1	—	—	—	—
		特定事業所医療介護連携加算	—	—	—	—	—	—
		入院時情報連携加算Ⅰ	1	4	1	2	4	6
		入院時情報連携加算Ⅱ	1	1	—	2	2	—
		退院退所加算Ⅰイ	3	2	1	—	2	—
		退院退所加算Ⅰロ	—	1	—	1	—	—
		退院退所加算Ⅱイ	—	—	—	—	—	—
		退院退所加算Ⅱロ	—	—	—	—	—	—
		退院退所加算Ⅲ	—	—	—	—	—	—
		通院時情報連携加算	—	—	—	1	—	—
		緊急時等居宅カンファレンス加算	—	—	—	—	—	—
		ターミナルケアマネジメント加算	—	—	—	—	1	—
		看取り期相談調整支援Ⅰ 1	—	—	—	—	—	—
		看取り期相談調整支援Ⅰ 2	—	—	—	—	—	—
	介護予防支援	a 介護予防支援・基本	100	106	107	105	102	102
		介護予防支援・初回	4	4	3	4	1	2
	総合事業	b 原則型マネジメント	61	49	51	51	51	48
		c 簡略型マネジメント	14	14	15	13	15	14
		d 初回型マネジメント	—	—	—	2	—	1
		初回加算	3	4	3	2	3	1
		介護予防ケアマネジメント(b+c+d)	75	63	66	66	66	63
		介護予防支援・原則型合計(a+b)	161	155	158	156	153	150
		介護予防支援+原則型+簡略型(a+b+c)	175	169	173	169	168	164
調査	認定調査	21	18	9	11	9	13	
実態把握	介護給付	13	14	8	5	10	10	
	予防給付・介護予防	13	14	9	4	9	9	

	10月	11月	12月	1 月	2 月	3 月	年度合計	平均
	6	7	11	6	9	3	113	9.4
	85	79	81	81	80	75	909	75.8
	34	32	26	28	32	34	400	33.3
	119	111	107	109	112	109	1,309	109.1
	9	3	4	3	8	5	68	5.7
	119	111	107	109	112	109	1,303	108.6
	—	—	—	—	—	—	6	0.5
	—	—	—	—	—	—	—	—
	1	9	5	4	3	3	43	3.6
	—	1	—	—	3	1	11	0.9
	1	1	2	2	1	1	16	1.3
	—	—	—	—	1	—	3	0.3
	1	1	—	—	—	—	2	0.2
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—
	1	—	—	2	—	—	4	0.3
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	1	0.1
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—
	101	103	112	103	100	103	1,244	103.7
	3	—	4	2	1	—	28	2.3
	45	42	44	47	49	45	583	48.6
	12	11	10	11	11	11	151	12.6
	—	—	—	—	—	—	3	0.3
	—	5	1	3	2	—	27	2.3
	57	53	54	58	60	56	737	61.4
	146	145	156	150	149	148	1,827	152.3
	158	156	166	161	160	159	1,978	164.8
	18	13	13	13	15	12	165	13.8
	4	7	1	15	4	9	100	8.3
	19	12	6	10	1	5	111	9.3

(荏 原)

		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	
相談	時間外相談対応	4	11	6	5	8	9	
介護報酬請求件数	居宅介護支援	居宅支援Ⅰ 1	76	84	89	80	88	86
		居宅支援Ⅰ 2	35	31	31	35	35	28
		居宅介護支援合計	111	115	120	115	123	114
		初回加算	10	7	8	11	11	4
		特定事業所加算Ⅱ	102	114	120	115	123	114
		特定事業所加算Ⅲ	9	1	—	—	—	—
		特定事業所医療介護連携加算	—	—	—	—	—	—
		入院時情報連携加算Ⅰ	4	1	2	1	4	4
		入院時情報連携加算Ⅱ	1	2	4	1	1	2
		退院退所加算Ⅰイ	1	2	1	1	1	2
		退院退所加算Ⅰロ	—	—	—	—	—	1
		退院退所加算Ⅱイ	1	—	—	—	—	—
		退院退所加算Ⅱロ	—	—	—	—	—	—
		退院退所加算Ⅲ	—	—	—	—	—	—
		通院時情報連携加算	—	—	1	—	—	—
		緊急時等居宅カンファレンス加算	—	—	—	—	—	—
		ターミナルケアマネジメント加算	—	—	—	—	—	—
		看取り期相談調整支援Ⅰ 1	—	—	—	—	—	—
		看取り期相談調整支援Ⅰ 2	—	—	—	—	—	—
	介護予防支援	a 介護予防支援・基本	142	139	141	145	144	147
		介護予防支援・初回	7	2	5	7	5	4
	総合事業	b 原則型マネジメント	40	43	44	41	44	40
		c 簡略型マネジメント	9	9	11	6	8	11
		d 初回型マネジメント	1	—	—	—	—	—
		初回加算	—	4	4	1	1	1
		介護予防ケアマネジメント(b+c+d)	50	52	55	47	52	51
		介護予防支援・原則型合計(a+b)	182	182	185	186	188	187
		介護予防支援+原則型+簡略型(a+b+c)	191	191	196	192	196	198
調査	認定調査	8	19	21	11	16	10	
実態把握	介護給付	20	6	17	13	15	13	
	予防給付・介護予防	15	22	6	20	11	9	

	10月	11月	12月	1 月	2 月	3 月	年度合計	平均
	4	5	10	20	7	6	95	7.9
	86	83	83	82	81	85	1,003	83.6
	29	29	25	28	26	29	361	30.1
	115	112	108	110	107	114	1,364	113.7
	4	3	5	4	6	9	82	6.8
	115	112	108	110	107	114	1354	112.8
	—	—	—	—	—	—	10	0.8
	—	—	—	—	—	—	—	—
	3	1	4	6	1	3	34	2.8
	2	3	3	1	4	1	25	2.1
	2	—	1	4	2	—	17	1.4
	1	—	—	—	—	—	2	0.2
	1	—	—	—	—	—	2	0.2
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	1	0.1
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—
	146	148	145	145	142	136	1,720	143.3
	4	3	4	2	—	3	46	3.8
	44	41	44	43	46	42	512	42.7
	10	8	8	8	6	6	100	8.3
	—	1	—	—	—	—	2	0.2
	4	2	3	2	4	—	26	2.2
	54	50	52	51	52	48	614	51.2
	190	189	189	188	188	178	2,232	186.0
	200	197	197	196	194	184	2,332	194.3
	12	12	9	8	10	9	145	12.1
	9	12	6	14	7	10	142	11.8
	18	8	9	9	2	5	134	11.2

(小 山)

		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	
相談	時間外相談対応	10	10	12	10	13	10	
介護報酬請求件数	居宅介護支援	居宅支援Ⅰ 1	57	58	57	57	67	65
		居宅支援Ⅰ 2	19	25	19	19	29	20
		居宅介護支援合計	76	83	76	76	96	85
		初回加算	11	8	7	16	11	10
		特定事業所加算Ⅱ	—	—	—	—	—	—
		特定事業所加算Ⅲ	76	83	76	76	96	85
		特定事業所医療介護連携加算	—	—	—	—	—	—
		入院時情報連携加算Ⅰ	1	2	1	2	1	1
		入院時情報連携加算Ⅱ	—	—	1	4	1	3
		退院退所加算Ⅰイ	—	6	—	—	1	—
		退院退所加算Ⅰロ	—	1	—	—	—	—
		退院退所加算Ⅱイ	1	—	—	—	—	—
		退院退所加算Ⅱロ	1	—	—	—	—	—
		退院退所加算Ⅲ	—	—	—	—	—	—
		通院時情報連携加算	—	—	—	—	—	—
		緊急時等居宅カンファレンス加算	—	—	—	—	—	—
		ターミナルケアマネジメント加算	—	—	—	2	—	—
		看取り期相談調整支援Ⅰ 1	—	—	—	—	—	—
		看取り期相談調整支援Ⅰ 2	—	—	—	—	—	—
	介護予防支援	a 介護予防支援・基本	182	180	183	187	173	176
		介護予防支援・初回	6	4	3	6	3	2
	総合事業	b 原則型マネジメント	64	60	61	63	63	67
		c 簡略型マネジメント	18	17	17	17	16	15
		d 初回型マネジメント	—	—	—	—	—	—
		初回加算	4	2	3	6	2	5
		介護予防ケアマネジメント(b+c+d)	82	77	78	80	79	82
		介護予防支援・原則型合計(a+b)	246	240	244	250	236	243
		介護予防支援+原則型+簡略型(a+b+c)	264	257	261	267	252	258
調査	認定調査	16	20	25	19	13	12	
実態把握	介護給付	—	5	15	12	5	7	
	予防給付・介護予防	—	14	14	16	9	8	

	10月	11月	12月	1 月	2 月	3 月	年度合計	平均
	12	15	16	9	6	7	130	10.8
	66	69	71	84	82	83	816	68.0
	20	25	25	26	24	26	277	23.1
	86	94	96	110	106	109	1,093	91.1
	7	9	4	8	6	8	105	8.8
	—	—	—	—	—	—	—	—
	86	94	96	110	106	118	1,102	91.8
	—	—	—	—	—	—	—	—
	3	—	—	2	5	4	22	1.8
	1	—	2	1	1	3	17	1.4
	—	2	—	1	—	3	13	1.1
	1	—	—	—	—	—	2	0.2
	—	—	—	—	—	—	1	0.1
	—	—	—	—	—	—	1	0.1
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	2	—	—	2	0.2
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	2	0.2
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—
	174	168	167	163	161	155	2,069	172.4
	6	3	4	2	6	4	49	4.1
	69	72	75	69	71	72	806	67.2
	20	19	21	22	24	24	230	19.2
	—	—	—	—	—	—	—	—
	7	5	8	2	5	7	56	4.7
	89	91	96	91	95	96	1,036	86.3
	243	240	242	232	232	227	2,875	239.6
	263	259	263	254	256	251	3,105	258.8
	8	16	12	13	19	8	181	15.1
	4	1	19	1	11	3	83	6.9
	6	9	13	9	2	11	111	9.3

(小山台)

		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	
相談	時間外相談対応	2	—	5	3	1	3	
介護報酬請求件数	居宅介護支援	居宅支援Ⅰ 1	48	50	55	53	49	52
		居宅支援Ⅰ 2	31	31	34	38	38	31
		居宅介護支援合計	79	81	89	91	87	83
		初回加算	3	3	9	6	6	3
		特定事業所加算Ⅱ	—	—	—	—	—	—
		特定事業所加算Ⅲ	79	81	89	91	87	83
		特定事業所医療介護連携加算	—	—	—	—	—	—
		入院時情報連携加算Ⅰ	2	1	1	1	5	3
		入院時情報連携加算Ⅱ	2	—	2	1	2	1
		退院退所加算Ⅰイ	2	3	—	2	1	1
		退院退所加算Ⅰロ	—	—	1	—	—	—
		退院退所加算Ⅱイ	—	—	—	—	—	—
		退院退所加算Ⅱロ	—	—	—	—	—	—
		退院退所加算Ⅲ	—	—	—	—	—	—
		通院時情報連携加算	—	—	—	—	—	—
		緊急時等居宅カンファレンス加算	—	—	—	—	—	—
		ターミナルケアマネジメント加算	—	—	—	—	—	—
		看取り期相談調整支援Ⅰ 1	—	—	—	—	—	—
		看取り期相談調整支援Ⅰ 2	—	—	—	—	—	—
	介護予防支援	a 介護予防支援・基本	124	119	119	120	119	117
		介護予防支援・初回	2	1	2	2	2	3
	総合事業	b 原則型マネジメント	43	46	46	49	43	44
		c 簡略型マネジメント	5	5	6	6	7	6
		d 初回型マネジメント	—	—	—	—	—	—
		初回加算	6	5	3	5	1	2
		介護予防ケアマネジメント(b+c+d)	48	51	52	55	50	50
		介護予防支援・原則型合計(a+b)	167	165	165	169	162	161
		介護予防支援+原則型+簡略型(a+b+c)	172	170	171	175	169	167
調査	認定調査	6	12	9	14	12	9	
実態把握	介護給付	—	4	6	13	12	4	
	予防給付・介護予防	7	3	3	8	6	7	

	10月	11月	12月	1 月	2 月	3 月	年度合計	平均
	3	4	3	26	4	9	63	5.3
	59	56	55	54	52	53	636	53.0
	31	35	36	33	36	37	411	34.3
	90	91	91	87	88	90	1,047	87.3
	8	6	5	2	4	5	60	5.0
	—	—	—	—	—	—	—	—
	90	91	91	87	88	90	1,047	87.3
	—	—	—	—	—	—	—	—
	1	5	2	1	5	1	28	2.3
	1	—	2	1	2	—	14	1.2
	3	2	1	1	—	4	20	1.7
	—	—	—	1	—	—	2	0.2
	1	—	—	1	—	—	2	0.2
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—
	114	112	111	114	113	113	1,395	116.3
	2	1	1	2	2	3	23	1.9
	43	41	43	42	38	36	514	42.8
	6	5	5	5	4	5	65	5.4
	1	1	—	—	—	—	2	0.2
	2	1	1	1	1	—	28	2.3
	50	47	48	47	42	41	581	48.4
	157	153	154	156	151	149	1,909	159.1
	163	158	159	161	155	154	1,974	164.5
	14	10	5	13	15	13	132	11.0
	8	8	8	6	6	3	78	6.5
	9	8	3	3	8	8	73	6.1

(3) 障害者計画相談支援

		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	
利用者数	身体障害	28	26	26	30	32	34	
	重症心身障害	2	2	2	2	2	2	
	知的障害	4	5	5	6	5	5	
	精神障害	4	4	4	4	3	2	
	発達障害	—	—	—	—	—	—	
	高次脳機能障害	2	2	2	2	3	3	
	その他	3	—	—	—	—	—	
	実人数	43	39	39	44	45	46	
支援方法	訪問	19	19	21	18	19	27	
	来所相談	1	—	—	—	1	—	
	同行	2	3	3	5	6	5	
	電話相談	5	13	20	24	24	27	
	電子メール	—	1	—	—	—	—	
	個別支援会議	1	—	3	3	2	2	
	関係機関	2	1	3	3	1	4	
	その他	—	—	—	—	—	—	
	月計	30	37	50	53	53	65	
支援内容	福祉サービスの利用等	24	30	43	44	45	52	
	障害や病状の理解	2	2	—	—	1	2	
	健康・医療	1	3	3	3	4	7	
	不安の解消・情緒安定	2	4	3	2	3	4	
	保育・教育	—	—	—	—	—	—	
	家族関係・人間関係	1	—	—	—	—	1	
	家計・経済	—	—	2	2	—	—	
	生活技術	—	—	—	2	—	1	
	就労	—	—	1	—	—	2	
	社会参加・余暇活動	—	—	2	—	1	5	
	権利擁護	—	—	—	—	1	—	
	その他	—	—	—	—	—	—	
	月計	30	39	54	53	55	74	

	10月	11月	12月	1 月	2 月	3 月	年度合計	平均
	32	30	29	29	31	32	359	29.9
	2	2	2	2	2	2	24	2.0
	5	6	6	5	5	5	62	5.2
	3	2	2	2	2	2	34	2.8
	—	—	—	—	—	—	—	—
	3	3	4	5	4	4	37	3.1
	—	—	—	—	—	—	3	0.3
	45	43	43	43	44	45	519	43.3
	22	22	25	23	23	25	263	21.9
	—	—	—	—	1	—	3	0.3
	7	3	5	8	7	6	60	5.0
	28	18	21	19	14	17	230	19.2
	—	—	—	—	—	—	1	0.1
	2	2	2	3	2	1	23	1.9
	3	2	1	—	3	5	28	2.3
	—	—	—	—	—	—	—	—
	62	47	54	53	50	54	608	50.7
	50	32	42	43	47	38	490	40.8
	2	3	4	1	2	1	20	1.7
	3	4	5	1	3	3	40	3.3
	—	3	1	1	2	6	31	2.6
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	1	—	1	—	4	0.3
	2	1	1	4	—	3	15	1.3
	3	2	—	1	3	2	14	1.2
	2	2	—	—	—	—	7	0.6
	4	2	3	4	—	3	24	2.0
	—	—	—	—	—	—	1	0.1
	—	—	—	—	—	—	—	—
	66	49	57	55	58	56	646	53.8

(4) 認知症サポーター養成事業・認知症サポーターステップアップ事業

開催日	担 当	対 象	場 所	人数
7.7.7	成幸・戸越台	荏原第三地区民生委員＊	荏原第三地域センター	27
7.7.9	戸越台	戸越台中学校7年生	戸越台中学校ランチルーム	82
7.10.1	荏原・小山台	荏原第一地区民生委員＊	荏原第一地域センター	20
7.11.4	小山	荏原第二地区民生委員＊	荏原第二地域センター	13
7.12.16	荏原	品川区民、在勤、在住者	荏原第五地域センター	23
8.3.10	戸越台	戸越台中学校9年生＊	戸越台中学校ランチルーム	85
8.3.16	戸越台	荏原第五地区民生委員＊	荏原第五地域センター	16

＊はレベルアップ事業

4. 高齢者多世代交流支援施設（ゆうゆうプラザ）

（1）各事業参加状況

	項 目	日・曜日	回数	内 容	参加者数
物作り等講座	体操教室	月曜日 (第1・第4)	18	足腰の体操を中心とした体操	354
	らくらく健康体操	水曜日	46	栄養ポイントと体操	890
	クラフトバンド	土曜日 (2か月に1回)	6	クラフトバンドを用いたかご編み等	69
	布ぞうり	水曜日 (第1)	12	布ぞうりの制作	118
	手芸	木曜日 (第1・第3)	23	編み物の制作	121
	親子リトミック	木曜日 (第3)	12	親子でリトミック体操	104
	いきいきリズム体操	土曜日 (第1)	12	リズムに合わせた体操、ストレッチ	231
	書道教室	12月27日	1	小学生対象の書道教室	7
	ミニ作品展	不定期	12	利用者の絵画展・写真・書道・保育園児の絵画・ぬり絵等	—
高齢者介護等事業	つながりサロン	火曜日	50	住民主体の体操、脳トレ	333
その他	もりあげ隊	随時		平塚橋ゆうゆうプラザボランティア活動	5
	ピアノコンサート	6月28日	1	区内で活動中の方のピアノコンサート	37
	キットパスボランティア	6月28日 12月7日	2	キットパス（口に入れても安心なチョーク）を使用して窓ガラスにイラスト制作	9
	eスポーツ交流会	7月23日	1	東中延児童センターとのeスポーツ交流	10
	クイズで学ぶお金の話	7月29日	1	お金の使い方を学ぶ子どもセミナー（三井住友銀行講師）	7
	キッズお菓子作り教室	8月9日 3月28日	2	キッズ向けのアイシングクッキーづくり	23
	カラオケ大会	9月 13日・14日	1	カラオケ登録団体によるカラオケ大会	240
	とごしの杜保育園発表会	9月 15日・19日	1	保育園児（5歳児）の発表会（ダンス・歌）	22
	コーラスコンサート	9月27日	1	地域住民によるコーラスコンサート	59
	荏原平塚学園職場体験	9月 29日・30日	1	荏原平塚学園8年生2名職場体験	2

コーラスコンサート	10月18日	1	区内小学生の合唱団のコンサート	72
ゆうゆうプラザまつり	11月9日	1	第一部：登録団体の発表 第二部：子ども縁日・窓ガラスにお絵かき・パン販売・輪投げ	235
介護者リフレッシュ教室	11月26日	2	在宅介護者対象のリフレッシュ教室	1
脳トレクイズ大会	12月3日	1	カラオケ機器を使用したクイズ大会	10
ボッチャ大会	12月14日		ボッチャで交流（品川区出前講座）	19
クリスマスイベント	12月20日	1	子ども達のフランドンスショー 「漢字一文字」ピタリ賞発表	51
ピアノ弾き語りコンサート	1月24日	1	区内で長年活動しているシンガーソングライターのコンサート	68
ジャズと絵本読み聞かせ	2月7日	1	ジャズシンガーの歌と絵本の読み聞かせ	41
作品展	2月18日～24日	1	登録団体、自主事業講座の作品発表（見守りボランティア41名）	—
管弦楽コンサート	2月28日	1	近隣の小学校の金管クラブとゆうゆうプラザ利用団体のコンサート	78
合同消防避難訓練	3月4日	1	荏原消防署、近隣四町会、区営住宅、もりあげ隊の合同消防避難訓練	52
みんなで歌おうコンサート	3月11日	1	ゴスペル講師によるコンサート	54
脳活（3種類）	月1回 （塗り絵は2回）	47	大人の塗り絵・川柳・音楽鑑賞	224
絵本の読み聞かせ	5月20日 10月21日 11月18日 12月16日 1月20日 2月17日 3月17日	7	登録団体の「絵本の読み聞かせ」に近隣の保育園児が来園	84

（２）地域ミニデイ実施状況

開催回数	延べ参加人数
46	293名

(3) 利用者状況

		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	
目的内 利用者数 (高齢者)	男	573	554	560	591	576	
	女	1,556	1,424	1,537	1,498	1,425	
	計	2,129	1,978	2,097	2,089	2,001	
	1 日平均人数	71.0	63.8	69.9	67.4	64.5	
新規登録者数	男	3	2	4	—	4	
	女	11	9	10	5	2	
	計	14	11	14	5	6	
新規登録団体数		2	0	0	1	—	
入浴者数 (火曜日・金曜日)	男	149	147	154	171	176	
	女	176	162	170	178	189	
	計	325	309	324	349	365	
	1 日平均人数	40.6	34.3	40.5	38.8	40.6	
マッサージ (第 1・3 水曜日)	男	3	4	24	4	—	
	女	29	28	27	28	—	
	計	32	32	51	32	—	
部屋別稼働率 午前 (%)	レクリエーション室	83.3	83.9	83.3	87.1	83.9	
	コミュニティ室 1	63.3	67.7	73.3	71.0	25.8	
	コミュニティ室 2	43.3	58.1	66.7	58.1	32.3	
	コミュニティ室 3	43.3	67.7	70.0	54.8	41.9	
	スタジオ 1	60.0	61.3	56.7	61.3	58.1	
	スタジオ 2	70.0	67.7	70.0	51.6	41.9	
部屋別稼働率 午後 (%)	レクリエーション室	96.7	87.1	96.7	80.6	54.8	
	コミュニティ室 1	70.0	71.0	73.3	64.5	51.6	
	コミュニティ室 2	73.3	71.0	86.7	67.7	51.6	
	コミュニティ室 3	43.3	61.3	60.0	51.6	41.9	
	スタジオ 1	80.0	71.0	73.3	71.0	71.0	
	スタジオ 2	80.0	67.7	80.0	83.9	74.2	
部屋別稼働率 夜間 (%)	レクリエーション室	60.0	45.8	48.0	57.7	44.0	
	コミュニティ室 1	4.0	16.7	8.0	15.4	16.0	
	コミュニティ室 2	—	8.3	16.0	19.2	12.0	
	コミュニティ室 3	—	8.3	—	7.7	—	
	スタジオ 1	8.0	20.8	4.0	3.8	4.0	
	スタジオ 2	—	4.2	4.0	19.2	4.0	
部屋別稼働率合計 (%)		51.0	55	56.3	53.2	41.2	
利用者数	自主事業 (ゆうゆうプラザ主催分)	279	232	283	269	236	
	品川区事業	470	546	622	691	451	
	目的外利用者数 (区事業・高齢者団体以外)	497	562	622	509	439	
	総利用者数 (延人数)	3,396	3,337	3,639	3,577	3,144	
言語・聴覚 相談件数	聞こえの障害 (第 1・3 木曜日)	—	—	—	—	—	
	子ども (第 1・2・3 木曜日)	18	18	12	18	13	
	言葉の障害 (第 1・3 火曜日)	2	1	2	1	3	
	飲み込みの障害 (第 1・3 火曜日)	—	—	1	—	1	
	高次脳機能障害 (第 1・3 火曜日)	1	—	—	—	—	
	計	21	19	15	19	17	

	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	年度合計	平均
	533	566	540	572	479	481	514	6,539	544.9
	1,426	1,532	1,428	1,510	1,384	1,361	1,523	17,604	1,467.0
	1,959	2,098	1,968	2,082	1,863	1,842	2,037	24,143	2,011.9
	65.3	67.7	65.6	74.4	66.5	65.8	65.7		67.3
	—	—	1	8	1	5	8	36	3.0
	6	4	3	9	7	9	9	84	7.0
	6	4	4	17	8	14	17	120	10.0
	—	—	—	1	—	—	—	4	0.3
	155	180	169	167	164	160	151	1,943	161.9
	173	207	187	180	176	177	175	2,150	179.2
	328	387	356	347	340	337	326	4,093	341.1
	41.0	43.0	44.5	43.4	42.5	42.1	40.8		41.0
	2	4	5	4	—	6	4	60	5.5
	29	28	26	27	—	25	26	273	24.8
	31	32	31	31	—	31	30	333	27.8
	90.0	83.3	93.3	85.7	85.7	82.1	83.9		85.5
	66.7	63.3	63.3	67.9	67.9	67.9	61.3		63.3
	60.0	43.3	60.0	57.1	50.0	64.3	71.0		55.4
	66.7	50.0	43.3	39.3	60.7	75.0	64.5		56.4
	56.7	56.7	66.7	67.9	50.0	67.9	61.3		60.4
	50.0	53.3	63.3	60.7	60.7	64.3	58.1		59.3
	80.0	73.3	86.7	82.1	78.6	82.1	74.2		81.1
	60.0	66.7	60.0	67.9	71.4	71.4	74.0		66.8
	70.0	73.3	66.7	85.7	60.7	75.0	67.7		70.8
	60.0	60.0	46.7	50.0	60.7	75.0	51.6		55.2
	76.7	70.0	66.7	75.0	60.7	78.6	67.7		71.8
	73.3	80.0	80.0	82.1	78.6	82.1	77.4		78.3
	41.7	57.7	60.9	62.5	65.2	90.0	56.0		57.5
	25.0	3.8	—	8.3	—	4.5	—		8.5
	16.7	19.2	8.7	4.2	4.3	18.2	12.0		11.6
	—	7.7	—	—	4.0	—	—		2.3
	73.3	38.5	39.1	20.8	17.4	36.4	36.0		25.2
	—	15.4	—	8.3	—	9.1	—		5.4
	54.2	52.1	52.4	53.1	50.6	60.5	53.3		52.7
	452	291	446	312	311	300	295	3,706	308.8
	506	486	374	578	587	631	452	6,394	532.8
	543	571	635	389	431	592	679	6,469	539.1
	3,482	3,468	3,444	3,388	3,216	3,391	3,485	40,967	3,413.9
	—	—	—	—	1	—	—	1	0.1
	19	20	20	24	22	20	19	223	18.6
	1	1	1	3	1	5	3	24	2.0
	2	1	—	—	—	1	—	6	0.5
	—	—	—	—	—	—	—	1	0.1
	22	22	21	27	24	26	22	255	21.3

5. 防災

(1) 防災委員会の開催

(成 幸)

開 催 日	検 討 内 容
7. 4. 17	自然災害発生時における業務継続計画について
7. 5. 15	通用口の鍵交換について、防犯カメラ設置検討
7. 6. 19	非常食の購入について、地下通用口の暗証番号変更
7. 7. 17	消防点検設備指摘事項の確認
7. 8. 21	福祉避難所の防災備品について
7. 9. 18	施設内火気取り扱いについて確認
7. 10. 16	館内暗証番号の管理について
7. 11. 20	近隣小学校の防災訓練参加について
7. 12. 18	喫煙場所・ルールについて
8. 1. 15	防災用非常食、非常用電源について
8. 2. 19	荏原消防署、町会合同の防災訓練の実施に向けての準備
8. 3. 26	荏原消防署、近隣町会合同の防災訓練実施報告

(戸越台)

開 催 日	検 討 内 容
7. 4. 17	令和7年度防災訓練実施計画、災害時の業務継続計画について
7. 5. 22	館内の防火設備を確認する
7. 7. 1	非常食の在庫確認、非常食の内容を検討する
7. 7. 24	消防設備点検について
7. 8. 28	戸越台中学校との合同防災訓練について
7. 9. 25	法定電気点検の全館停電時の対応について
7. 10. 23	区民まつり・防災訓練に参加
7. 11. 13	防火管理者実務講習に参加。リチウムイオン電池関連火災について
7. 12. 18	戸越台中学校避難所訓練参加報告（福祉避難所の説明、車いす操作の体験など）
8. 1. 15	支援センターの節電タップの1ヵ所が焦げて一部溶けた事例について
8. 1. 29	非常用蓄電池の導入について
8. 3. 25	三町会（戸越銀座・戸越一丁目・戸越二丁目・品川区防災課）合同防災訓練について

(荏 原)

開 催 日	検 討 内 容
7.4.3	今年度の計画と進め方 B C P 研修①総論
7.7.3	業務継続計画の検証（備蓄関連の精査）
7.10.7	業務継続計画の検証（風水害時の対応）
8.1.8	火災通報装置の使用方法について

(平塚橋)

開 催 日	検 討 内 容
7.4.3	地震の対応について（落下物防止について）
7.5.15	防火担当責任者の確認
7.6.19	B C P 現状確認
7.7.17	B C P 見直し、非常食の在庫確認
7.8.21	カムチャッカ半島地震に伴い、東京湾内に津波警報発表された時の対応の確認
7.9.16	台風対策について
7.10.16	リチウムイオン電池関連火災について
7.11.20	冬の火災予防（火災の出火原因）について
7.12.16	B C P について、警察直通の通報機器について
8.1.15	3月の合同防災訓練について
8.2.19	3月の合同防災訓練について、施設内のコンセントカバー破損や各種コードの破損について
8.3.19	B C P 訓練（蓄電池の設置方法、使用方法、保管場所について）

(2) 防災訓練の実施

今年度も下表の防災訓練を実施した。

○防災訓練等の実施状況

(成 幸)

実 施 日	訓 練 内 容
7. 4. 24	消火器・消火栓・避難経路の確認・非常用電源の位置周知 (12名)
7. 5. 29	屋上非常用発電機の稼働訓練 (9名)
7. 6. 26	緊急時受水槽の使用方法的共有 (11名)
7. 7. 24	自衛消防活動要領について (12名)
7. 8. 28	2号消火栓の使い方 (12名)
7. 9. 25	消火器の種類・使い方について (11名)
7.10.23	非常放送設備の使い方について (11名)
7.11.27	隣接地からの火災対応 (紙上訓練) (11名)
7.12.25	外国人向け防災ハンドブックの説明 (11名)
8. 1. 22	B C Pの再周知と見直し箇所の確認 (9名)
8. 2. 26	地下休憩室での避難方法確認、災害備品の確認 (11名)
8. 3. 17	町会と合同の防災訓練、荏原消防署員によるレクチャー (9名)

(戸越台)

実 施 日	訓 練 内 容
7. 4. 24	館内防災設備の説明 (集中管理システム、機器等の説明) (13名)
7. 5. 29	館内防災設備の説明 (集中管理システム、機器等の説明) (8名)
7. 6. 26	個別避難計画作成について。福祉避難所の備蓄確認 (8名)
7. 7. 31	夜間の火災を想定した初期消火訓練 (8名)
7. 8. 28	心肺蘇生とA E Dの使用訓練 (12名)
7. 9. 25	9月11日の集中豪雨による被害の検証。浸水時の避難方法について (11名)
7.10.30	防火設備 (防火戸、防火シャッター、補助散水栓、非常放送) の確認 (8名)
7.11.27	感染症の発生により資料回覧「防災通信・SAFETY LIFE TOKYO」
7.12.24	防災食品と非常食品の現有確認 (9名)
8. 1. 29	非常用蓄電池の使用方法的。階段を使用した非常用水の運搬訓練 (9名)
8. 2. 26	合同防災訓練のシミュレーションおよび避難経路、動線の確認 (9名)
8. 3. 25	近隣三町会合同防災訓練 (避難誘導、散水栓を使用した消火訓練) (14名)

(荏 原)

実 施 日	訓 練 内 容
7. 5. 1	避難経路確認訓練（夜間想定）（10名）
7. 6. 17	応急救護訓練（消防隊員によるA E Dを用いた応急訓練）（28名）
7. 7. 31	地震訓練（緊急地震速報時の行動訓練）（11名）
7. 8. 28	工事中の消防計画 避難経路および消火設備確認（11名）
7. 9. 24	風水害時対応訓練（線状降水帯事例）（11名）
7. 10. 30	初期消火訓練 リチウムイオン電池火災時の消火法（11名）
7. 11. 28	通報訓練 火災発生時の通報（11名）
7. 12. 25	救命訓練 A E D設置場所と使用方法（11名）
8. 1. 29	工事中の消防計画 避難経路および消火設備確認（11名）
8. 2. 26	非常食の保管について（11名）
8. 3. 26	非常災害時の発電機の活用方法について（12名）

(平塚橋)

実 施 日	訓 練 内 容
7. 4. 1	1階事務所異動職員へ消防設備の説明（煙感知器・熱感知器・スプリンクラー等 4名）
7. 5. 30	異動職員・新人職員を対象として、消防設備機器の説明を行う（3名）
7. 6. 30	異動職員・新人職員を対象として、消防設備機器の説明を行う（3名）スプリンクラー・煙感知器・非常電灯・消火器、消火栓の説明（3名）
7. 7. 30	防災パネルの機能確認（3名）
7. 8. 29	4階ショートステイ 消防設備の説明（3名）
7. 8. 30	リチウムイオン電池関連火災について（6名）
7. 10. 19	全館停電に伴い、日中の停電時の想定（物品確認、職員の動き、酸素や吸引使用利用者への対応確認等 30名）
7. 11. 19	ベランダへ避難する際の補助錠の保管場所や使用についての確認（6名）
7. 12. 16	夜間時に消防隊等を受け入れ方の確認（機械警備解除・玄関開錠等 20名）
8. 1. 20	災害に備えて蓄電池の使用方法や設置場所の確認（7名）
8. 2. 27	火災に備えて、消火器・消火栓等の設置場所・避難経路の確認（3名）
8. 3. 4	合同防災訓練（火災・地震の際、急病人への初動対応としての救命講習、消火器の使い方について 20名）

6. 委員会活動

(1) 苦情解決・サービス向上委員会

(成 幸)

開 催 日	内 容
7. 6. 19	1. 事故報告 2. 昼食異物混入報告 3. 委員からの助言、意見など
7. 9. 18	1. 行事報告、館内照明LED化について 2. 事故報告 3. 委員からの助言、意見など
7. 12. 18	1. 事故報告 2. おせち料理について 3. 協力医療機関の変更について 3. 委員からの助言、意見など
8. 3. 19	1. おせち料理提供報告 2. 事故報告 3. 委員からの助言、意見など

(戸越台)

開 催 日	内 容
7. 6. 10	1. 新型コロナウイルス感染症報告 2. 事故報告 3. 三徳会元気クッキングについて 4. 都議会選挙について 5. 委員からの助言、意見など
7. 9. 9	1. 事故報告 2. 敬老式典について 3. 夏の体験ボランティアについて 4. 夏まつりについて 5. 委員からの助言、意見など
7. 12. 9	1. 事故報告 2. 新型コロナウイルス感染症報告 3. 戸越台中学校避難所訓練について 4. おせち料理について 5. 委員からの助言、意見など
8. 3. 10	1. 事故報告 2. 特別養護老人ホーム説明会・見学会について 3. 三町会、品川区防災課を招いての合同防災訓練について 4. 委員からの助言、意見など

(荏原・小山)

開催日	内 容
7.6.11	1. 委員会の目的 2. 委員の紹介 3. 職員紹介・近況報告（大規模改修工事の影響について） 4. 委員からの助言、意見など
7.9.17	1. 特養ホームコロナ罹患の報告、フロア定員数変更のお知らせ 2. 栄養室、デイサービス、ショートステイ戻り引っ越し終了の報告 3. 支援センターから水分宅配事業の実施 4. 委員からの助言、意見など
7.12.10	1. 特養ホーム、デイサービスの事業説明、今期の状況 2. 委員からの助言、意見など
8.3.11	1. 委員からの助言、意見など

(平塚橋)

開催日	内 容
7.6.19	1. 事故報告 2. 委員からの助言、意見など
7.9.21	1. 敬老式典について 2. 事故報告 3. ゆうゆうプラザイベントについて 4. 委員からの助言、意見など
7.12.18	1. 協力医療機関の変更について 2. 正月お祝い膳について 3. 委員からの助言、意見など
7.3.19	1. 家族懇談会実施について 2. 給食業者変更について 3. 制度改正について 4. 委員からの助言、意見など

(2) 安全衛生委員会

(成 幸)

[構成：産業医、施設長、衛生管理者、衛生委員 6 人]

開 催 日	会 議 内 容
7. 4. 15	職員体調確認、利用者状態報告、職員休職報告
7. 5. 20	職員体調確認、新人職員報告、職員休職報告、夜勤職員健康診断報告
7. 6. 17	職員体調確認、職員休職報告、熱中症対策報告
7. 7. 15	職員体調確認、コロナウイルス感染症報告、熱中症対策報告
7. 8. 19	職員体調確認、コロナウイルス感染症報告、職員休職報告
7. 9. 16	職員体調確認、職員休職報告、豪雨被害状況報告
7.10.21	職員体調確認、インフルエンザ発生報告
7.11.18	職員体調確認、職員健康診断、インフルエンザ予防接種について
7.12.16	職員体調確認、インフルエンザ感染報告
8. 1. 20	職員体調確認、ストレスチェック報告、利用者健康診断について
8. 2. 17	職員体調確認、利用者健康診断終了報告、コロナウイルス感染報告
8. 3. 17	職員体調確認、インフルエンザ感染報告、面会方法変更報告

(戸越台)

[構成：産業医、施設長、衛生管理者、衛生委員 6 人]

開 催 日	会 議 内 容
7. 4. 15	職員体調確認、新型コロナウイルス感染症報告、新人・異動職員について
7. 5. 20	職員体調確認、職員休職報告
7. 6. 17	職員体調確認、新型コロナウイルス感染症報告、外国人職員の入職について
7. 7. 15	職員体調確認、熱中症の注意喚起について
7. 8. 19	職員体調確認、新型コロナウイルス感染症報告
7. 9. 16	職員体調確認、線状降水帯による豪雨について
7.10.21	職員体調確認、新型コロナウイルス感染症・インフルエンザ報告
7.11.18	職員体調確認、インフルエンザ・新型コロナウイルス感染症予防接種について
7.12.16	職員体調確認、ストレスチェック実施報告、新型コロナウイルス感染症報告、ノロウイルス検査報告
8. 1. 20	職員体調確認、インフルエンザ・ノロウイルスについて
8. 2. 17	職員体調確認、職員健診について
8. 3. 17	職員体調確認、来年度の体制について

(荏 原)

[構成：産業医、施設長、衛生管理者、衛生委員 7 人]

開 催 日	会 議 内 容
7. 4. 15	職員体調確認、今年度の健康診断などの予定
7. 5. 20	職員体調確認、改修工事に伴う労働環境について
7. 6. 17	職員体調確認、改修工事に伴う空調について
7. 7. 15	職員体調確認、コロナウイルス感染の報告
7. 8. 19	職員体調確認、熱中症の報告
7. 9. 16	職員体調確認、コロナウイルス感染の報告
7.10. 21	職員体調確認、インフルエンザ予防接種の情報提供
7.11. 18	職員体調確認、インフルエンザ感染報告、予防接種の情報
7.12. 13	職員体調確認、ストレスチェック結果報告
8. 1. 20	職員体調確認、大規模改修工事での労働環境の確認
8. 2. 17	職員体調確認、ノロウイルス感染報告
8. 3. 17	職員体調確認、コロナウイルス、疥癬感染報告

(平塚橋)

[構成：産業医、施設長、衛生管理者、衛生委員 6 人]

開 催 日	会 議 内 容
7. 4. 15	職員体調確認、休職者報告、新型コロナウイルス感染症陽性報告・注意喚起、
7. 5. 20	職員体調確認、職員新規採用の報告、職員検診について、休職者報告
7. 6. 17	職員体調確認、熱中症について、休職者報告
7. 7. 15	職員体調確認、職員健康診断実施中の報告、新型コロナウイルス感染症について
7. 8. 19	職員体調確認、新型コロナウイルス感染症陽性報告、浴室リフトのデモについて
7. 9. 16	職員体調確認、新型コロナウイルス感染症状況報告、インフルエンザ予防接種について、労災について
7.10. 21	職員体調確認、ストレスチェック実施予定について、協力医療機関変更について
7.11. 18	職員体調確認、ストレスチェックについて、職員検診について、インフルエンザについて
7.12. 16	職員体調確認、インフルエンザについてス
8. 1. 20	職員体調確認、感染症注意喚起について、休職者の報告、利用者検診について
8. 2. 17	職員体調確認、職員健康診断の結果報告について、職員の腰痛について
8. 3. 17	職員体調確認、職員胃腸炎について、給食事業が委託から直営になることについて

(3) 給食委員会

新型コロナウイルス感染症のため利用者参加は規模を縮小または中止とした。

(成 幸)

開催日	活動内容
7.4.10	新体制への変更、給食委員の確認、新入職員への対応の確認について
7.5.8	食事の味付け、職員食の汁物の具の確保、下膳場所について
7.6.12	利用者の意見、検食簿の記載方法の確認、食事保管時間について
7.7.10	利用者の意見、異物混入の報告、保健所拭き取り調査について
7.8.14	利用者の意見、異物混入の報告、麺の固さ、厨房スタッフ変更について
7.9.11	利用者の意見、禁食対応、盛り付け量について
7.10.9	利用者の意見、ご飯の固さ、DH満足度アンケートについて
7.11.13	利用者の意見、お楽しみ食、おやつ変更の連絡のタイミングについて
7.12.11	利用者の意見、ご飯の固さ、年末年始体制の確認について
8.1.8	利用者の意見、年末年始の評価、魚の固さについて
8.2.12	利用者からのご飯の固さについての意見、来年度の予定について
8.3.12	食事の味付け、ご飯の固さの変化、職員食の香物について

(戸越台)

開催日	活動内容
7.4.11	給食委員の確認、味噌汁具の切り方、とろみ剤、今年度の予定について
7.5.9	利用者の意見、粥の水分量、屋上喫茶、歳時食、感染症対策について
7.6.13	利用者の意見、松花堂弁当の提供の仕方、汁の具の提供の仕方について
7.7.4	西瓜割り、禁食、食堂洗面台、主食・麺類の汁の量について
7.8.8	利用者の意見、野菜の硬さ、エビチリの辛さ、お楽しみ食について
7.9.13	(ご利用者参加月) ST相談、イノラスゼリーの硬さ、浸水・停電について
7.10.10	利用者リクエスト、朝食提供、麺の長さ、歳時食献立、正月、感染について
7.11.14	花ひろばカフェ、食堂装飾、朝食提供時間、食器洗浄について
7.12.12	利用者の意見、ご飯の量、味付け、感染症対応、年末年始の確認
8.1.13	利用者の意見、おやつ、感染者対応、年末年始評価、感染対応について
8.2.13	利用者の意見、配膳の確認、主食の量、来年度の予定、感染対策
8.3.13	利用者の意見、海老の尻尾・味噌汁具の切り方評価、感染対応について

(荏 原)

開 催 日	活 動 内 容
7. 4. 1	麺類提供時の割り箸について、大規模改修に伴う変更について
7. 5. 8	職員食再開について、お茶ゼリーについて
7. 6. 12	温冷配膳車等の機器使用について、デイ・ショート引っ越しについて
7. 7. 10	汁とろみ提供者への麺について、大規模改修に伴う変更について
7. 8. 14	職員食の提供休止について、汁とろみ提供者への麺類提供について
7. 9. 11	3 F ・ 4 F フロアの人数変更に伴う対応について、検食の味について
7. 10. 9	ハーベスト人事、エレベーターの改修工事について
7. 11. 13	ハーベスト人事、食事提供量について
7. 12. 11	お楽しみ食について、年末年始の行事食について
8. 1. 8	クリスマス料理・正月料理の感想（統一献立提供での課題など）
8. 2. 12	残菜調査について、次年度の資料配布について
8. 3. 12	食事形態について、食事箋の記入について

(平塚橋)

開 催 日	活 動 内 容
7. 4. 24	食形態について、配膳車の温度について、ペーストの固さについて」
7. 5. 22	利用者の意見、配膳時間について
7. 6. 26	水分補給について、利用者の要望
7. 7. 24	水分補給について、食中毒について
7. 8. 28	献立について、水分補給について、年末年始の配膳時間について
7. 9. 25	ゼリー食について、選択食について、電気点検に伴う全館停電について
7. 10. 23	お楽しみ食時のハーフ食について、お米について
7. 11. 27	利用者からの要望について、クリスマスについて
7. 12. 25	利用者からの要望について、年末年始について
8. 2. 22	利用者からの意見について、残菜調査について
8. 2. 26	利用者からの要望について、お楽しみ食について
8. 3. 26	ペーストについて新年度の職員体制について

7. その他

(1) 研修報告

令和7年度は集合型研修とリモートによる研修に参加した。

在宅介護支援センターの研修参加は下記のとおり各拠点に含む。

成 幸 : 成幸在宅介護支援センター

戸越台 : 戸越台在宅介護支援センター、杜松在宅介護支援センター

荏原・小山 : 荏原在宅介護支援センター、小山在宅介護支援センター、小山台在宅介護支援センター

※オンライン研修は*で表記 人数は実人数

施設外研修

(成 幸)

年	月	日	研 修 会 名	人数 (人)
7	4	21～31	全国老人福祉施設協議会 介護施設における安全対策担当者養成研修*	1
	5	15	品川福祉カレッジ 虐待防止研修「価値、倫理を基盤とした本質的な支援の理解」*	1
	6	18	品川区 高齢者虐待予防基礎研修	1
		18～8/6	東京都社会福祉協議会 施設長のための経営講座① 社会福祉法人会計入門研修*	1
	7	16	東京都 区市町村職員等高齢者権利擁護研修「権利擁護テーマ別実践研修 セルフ・ネグレストへの支援」	1
	8	21	品川福祉カレッジ 「虐待防止研修」*	1
	9	4	東京社会福祉協議会 人事管理研修～法人の価値を高める人事管理と経営戦略～*	1
		5、17、18、10/2、23	東京都認知症介護研修 認知症介護実践者研修*	1
		11	品川区福祉カレッジ 新任職員向け基礎講座	1
		20、25	東京都 介護支援専門員専門研修課程Ⅱ	1
		29、10/10	東京都 介護支援専門員専門研修課程Ⅱ	1
10	7		東京都福祉保健局 感染症対策研修	1
	8		国際福祉機器展	1
	29		東京都社会福祉協議会 デジタル福祉inTOKYO' 25	1
11	4		高齢者福祉施設における中堅職員のためのスキルアップ研修会	1
	14		品川区 高齢者虐待防止研修 アンガーマネジメントについて知ろう	1
12	7、20、1/11、25		東京都介護福祉士会 介護福祉士実習指導者講習会	1
	15		東京都社会福祉協議会 第25回特別養護老人ホーム経営実態調査フォローアップ研修（経営層編）	1
	18		東京都立中部総合精神保健福祉センター 精神保健福祉研修 相	1

8	1	19	談援助技術研修3（ハラスメント対応）	1
		24	福祉医療機構 社会福祉法人会計実務セミナー	1
		19	品川区 研修「自立支援、重度化防止のために～あらためて地域資源を考える～」	1
		20	品川福祉カレッジ 認知症ケア専門コース 優しさを伝えるケア技術 ユマニチュード*	1
	2	28	東京都福祉保健財団 施設職員向け福祉用具講習会（実践型講習会）「施設における福祉用具関連の困難事例への対応方法を学ぶ」	1
		12	品川区 養介護施設従事者等による高齢者虐待研修 意思決定支援	2
		18	品川福祉カレッジ 認知症ケア専門コース 意思決定支援の基礎と応用～住み慣れた地域で、認知症になっても当たり前の暮らしを続けていくために大切なこと～	1
	3	19	品川・大田医療福祉栄養士の会 急性期病院におけるクックチルシステムによる給食運営の現状	1
			計	28

施設外研修

(戸越台)

年	月	日	研 修 会 名	人数 (人)
7	4	17	品川区 高齢者総合支援システム操作研修会	1
		5	品川福祉カレッジ ケアマネジメントの実践原理と基盤～倫理・原論～*	1
		15	品川福祉カレッジ 虐待防止研修「価値、倫理を基盤とした本質的な支援の理解」*	2
	6	5	医療的ケア教員講習会（喀痰吸引等研修教員講習会）	1
		13	品川福祉カレッジ 適切なケアマネジメント手法（1）～基礎的理解と基本ケア～*	1
	7	15	東京都高齢者福祉施設協議会 職員研修委員会 栄養研修委員会	1
		29	品川福祉カレッジ 認知症ケア専門コース 認知症の人がよりよく暮らしていくことを支えるための医学・生活支援講座「認知症患者を地域でみていくためには」*	1
	8	1～10/31	社会福祉法人・施設会計「会計実務研修会基礎編」*	1
		6	品川区 在宅介護者支援研修「家族も支える支援、どう届ける？～家族介護の多様性を理解し、支援授受難しさについて考える～」	1
		6、16、21、11/11、27、12/10、18	東京都福祉局 東京都主任介護支援専門員更新研修（リモート研修および集合型研修）*	1
		12、1/23	品川区 適切なケアマネジメント手法 疾患別 認知症のある方のケア*	1
	9	16	東京都高齢者福祉施設協議会 栄養研修委員会	1
		26	東京都高齢者福祉施設協議会 職員研修委員会 機能訓練指導員研修委員会「自立支援に向けた環境調整の考え方」	1
		30	東京都高齢者福祉施設協議会 情報・広報室 広報戦略推進委員会	1
	10	21	品川福祉カレッジ 適切なケアマネジメント手法（2）～基本ケア	1

			実践の振り返りと今後に向けて～＊	
		23	防火管理者実務講習会	1
		28	東京都社会福祉協議会 東京都高齢者福祉施設協議会 中央ブロック会栄養士会	1
		28	品川区 ケアプランサポート研修 ケアマネジメントの質の向上研修会～保険者と共に行うケアプラン点検～	1
		30	品川区 7 法人連携福祉栄養士連絡会	1
11	5		クックデリ調理導入施設の見学研修	1
		11	東京都高齢者福祉施設協議会 職員研修委員会 栄養研修委員会「看取り介護のエッセンス」～看取りとどう向き合うか～	1
		17	品川区 サービス事業所管理者向け 高齢者虐待予防研修「高齢者虐待対応で求められる役割を知る」	2
		18	品川福祉カレッジ 事例から学ぶカスタマーハラスメント	1
8	1	6	東京都高齢者福祉施設協議会 職員研修委員会 介護報酬事務に関する研修会（応用編）＊	3
		20	品川福祉カレッジ 認知症ケア専門コース 優しさを伝えるケア技術 ユマニチュード＊	1
		28	東京都福祉保健財団 施設職員向け福祉用具講習会（実践型講習会）「施設における福祉用具関連の困難事例への対応方法を学ぶ」	1
	2	9	品川介護福祉専門学校 品川福祉保健従事者 実践・研究発表会	3
		16	品川区 地域包括支援センター研修 地域包括ケアシステムの理解と地域包括支援センターのミッション～求められる役割と期待～	1
		18	品川福祉カレッジ 認知症ケア専門コース 意思決定支援の基礎と応用～住み慣れた地域で、認知症になっても当たり前の暮らしを続けていくために大切なこと～	1
		20	品川ケア協議会 ケアマネジメント支援部研修「認知症の方が加害者になる場合、被害者になる場合」～起こりうる法的問題と対処の仕方～	1
	3	6	品川区 高齢者虐待予防応用研修 虐待の要因分析と養護者支援	1
		13	厚生中央病院 医療と介護連携セミナー 医療機関・介護施設での感染予防 実践編	1
		16	品川区 在宅介護者支援研修 介護トラブルの背景にある家族介護者の心理と実情～支援者の負担が軽くなる関わり方と実践のヒント～	1
			計	39

施設外研修

（荏原・小山・小山台）

年	月	日	研 修 会 名	人数 (人)
7	4	21～31	全国老人福祉施設協議会 介護施設における安全対策担当者養成研修＊	1
		25～5/16、23、 6/3、4、25、7/10	東京都社会福祉協議会 認知症介護実践者研修＊	1
	5	15	品川福祉カレッジ 「虐待防止研修」価値、倫理を基盤とした本質的な支援の理解＊	3

	30	大森榎本クリニック 高齢・依存にまつわるニーズと精神科ダイナ イトケアでの実際	1
6	17、18	東京都 地域包括支援センター職員研修（初任者研修）	1
	18～8/6	東京都社会福祉協議会 新任職員の定着・育成入門研修	1
7	12	認知症介護研究・研修仙台センター 認知症介護基礎研修＊	2
	16	高齢者権利擁護研修「権利擁護テーマ別実践研修（第1回）」	1
	16、8/1	東京都社会福祉協議会 認知症対応型サービス事業管理者研修	1
	18、22	東京都福祉保健財団 東京都地域包括支援センター職員研修（初任 者研修）	1
8	1～9/1、10/28、 11/20、12/4、16	東京都 主任介護支援専門員更新研修＊	1
	1～9/1、11/11、 27、12/10、18	東京都 主任介護支援専門員更新研修（リモート研修および集合型 研修）＊	1
	7	品川・大田医療福祉栄養士の会 リハビリテーション薬剤	1
	7	東京都福祉保健財団 ひきこもりに係る関係機関向け研修	1
	13～11/12	東京都保健医療局 感染対策リーダー養成研修事業＊	1
	14	東京都社会福祉協議会 東京都高齢者福祉施設協議会 業務継続 計画の実効性を高めるHUG及びKIZUKIのファシリテーター養成研修	1
	15	東京都社会福祉協議会 採用力・広報力研修～採用担当者としての 基本を学び、困りごとを突破する実践的ノウハウを身につける～＊	1
	21	品川福祉カレッジ 「虐待防止研修」虐待・グレイゾーンについて の理解	2
	26	東京都自立支援協議会 交流会	1
9	11	品川福祉カレッジ 新任職員向け基礎講座	2
	22～10/31	認知症介護研究・研修センター 3センター合同研究成果報告会＊	1
10	2	高齢者権利擁護研修「権利擁護テーマ別実践研修（第3回）」	1
	3	東京都交通安全協会 安全運転管理者講習	1
	13、16	東京都 介護支援専門員専門研修課程Ⅱ	1
	15	東京都 地域包括支援センター職員研修現任者研修（基礎科目Ⅱ）	1
	22、29	東京都福祉局 盲ろう者福祉ワーカー研修会	1
	27、11/24、1/13、 25、2/1、15、25、 3/6、16、19	東京都福祉局 東京都主任介護支援専門員研修	1
	29	東京都社会福祉協議会 デジタル福祉inTOKYO' 25	1
	29	品川区 ケアプランサポート研修 ケアマネジメントの質の向上研 修会～保険者と共に行うケアプラン点検～	2
11	11	東京都高齢者福祉施設協議会 職員研修委員会 栄養研修委員会 「看取り介護のエッセンス」～看取りとどう向き合うか～	1
	14	品川区 高齢者虐待防止研修 アンガーマネジメントについて知ろ う	2
	14、20	東京都看護協会 入退院時連携強化研修（リモート研修および集合 型研修）＊	1
	17	品川区 サービス事業所管理者向け 高齢者虐待予防研修「高齢者 虐待対応で求められる役割を知る」	1

8	1	18	品川福祉カレッジ 事例から学ぶカスタマーハラスメント	1
		27～12/19	東京都 結核予防講演会 高齢者施設における結核対策＊	1
		12 1～2/28	東京都福祉保健財団 介護サービス事業管理者等高齢者権利擁護研修＊	2
		1～2/28	東京都福祉保健財団 介護サービス事業管理者等に対する認知症のある人の意思決定支援研修＊	2
		15	東京都社会福祉協議会 第25回特別養護老人ホーム経営実態調査フォローアップ研修（経営層編）	1
		14	東京都 地域包括支援センター職員研修現任者研修（テーマ別） 高齢者の見守り～ひとり暮らし高齢者等を見守るための関係機関との連携、地域づくり～＊	1
		16	品川区 しながわ相談スキルアッププロジェクト 障害者の生活におけるICT活用について	1
		19	品川区 研修「自立支援、重度化防止のために～あらためて「地域資源を考える～」	1
		26	東京都 地域包括支援センター職員研修現任者研修（テーマ別） ファシリテーション～地域包括支援センターが主催する会議等の効果的な運営～＊	1
		2 3	東京都社会福祉協議会 東京都高齢者福祉施設協議会 職員研修委員会「高齢者福祉施設におけるサービスマナー研修会」～直接援助職が身につけるべき基本的サービスマナー～	2
		10	東京都社会福祉協議会 東京都高齢者福祉施設協議会 特養分科会 ショートステイ連絡会「ショートステイのリスクマネジメント研修会」	2
		12	品川区 養介護施設従事者等による高齢者虐待研修 意思決定支援	2
3	19	18	品川福祉カレッジ 認知症ケア専門コース 意思決定支援の基礎と応用～住み慣れた地域で、認知症になっても当たり前の暮らしを続けていくために大切なこと～	1
		18	東京都 地域包括支援センター職員研修現任者研修（テーマ別） 包括内の多職種連携～地域包括支援センターの力を引き出すチームづくり～＊	1
		3 19	品川・大田医療福祉栄養士の会 急性期病院におけるクックチルシステムによる給食運営の現状	1
計				60

施設外研修

（平塚橋）

年	月	日	研 修 会 名	人数 (人)
7	4	21～31	全国老人福祉施設協議会 介護施設における安全対策担当者養成研修＊	1
	5	27、28	日本ユニットケア推進センター 施設管理者研修＊	1
		27～30	日本ユニットケア推進センター ユニットリーダー研修	1
	6	18～8/6	東京都社会福祉協議会 施設長のための経営講座① 社会福祉法人会計入門研修＊	1
		20	全国個室ユニット型施設推進協議会 ユニットケア基礎研修＊	1

7	1～1/31	品川区 今から考える明日への備え～スマホで簡単“ACP eラーニング講座～	1
	14～8/13	東京都高齢者福祉施設協議会 介護報酬請求事務に関する研修会（初任者編）＊	1
8	31	上石神井幸朋苑 見学研修	2
	6	ケアホーム西大井こうほうえん 見学研修	1
10	18、19、11/4～7	日本ユニットケア推進センター ユニットリーダー研修	1
	21	東京都社会福祉協議会 特養分科会 ユニット型特養の経営安定化と効率化	1
11	21	東京都高齢者福祉施設協議会 生活相談員リスクマネジメント研修会	1
	4	日本ユニットケア推進センター ユニットリーダー研修実地研修施設を目指すためのセミナー＊	1
12	5	社会福祉法人兼愛会 特別養護老人ホームしょうじゅの里小野 見学研修	1
	7	特別養護老人ホームエリザベート成城 見学研修	1
17	17	品川区 サービス事業所管理者向け 高齢者虐待予防研修「高齢者虐待対応で求められる役割を知る」	1
	20	日本ユニットケア推進センター ユニットリーダー研修	1
8	12 1～2/28	東京都福祉保健財団 介護サービス事業管理者等高齢者権利擁護研修＊	1
	1～2/28	東京都福祉保健財団 介護サービス事業管理者等に対する認知症のある人の意思決定支援研修＊	1
20	2～5	日本ユニットケア推進センター ユニットリーダー研修	1
	17	東京都高齢者福祉施設協議会 職員研修委員会 機能訓練指導員研修委員会「機能訓練指導員のための情報交換会～機能訓練指導員は何をすべきか～」	1
3	1 26	東京都福祉局 科学的介護定着促進事業講演会	1
	2 2	品川区 在宅介護者支援研修 優しさを伝えるケア「ユマニチュード」を知ろう	2
12	12	品川区 養介護施設従事者等による高齢者虐待研修 意思決定支援	2
	20	日本ユニットケア推進センター 食に携わる職員のためのユニットケア研修	1
20	20	東京都社会福祉協議会 高齢者福祉施設における看護師の役割	1
	3 19	品川・大田医療福祉栄養士の会 急性期病院におけるクックチルシステムによる給食運営の現状	1
計			30

法人勉強会①（成幸・戸越台・荏原・平塚橋）

年	月	日	研修会名	内 容	担当・講師
7	7	24	介護技術勉強会	安全な嚥下と食事介助	日本福祉教育専門学校 阿部裕実講師
	9	4, 11	介護支援専門員 受験講座	介護支援専門員受験講座	福祉塾 関根一春講師
	10	7	感染症対策研修	東京都研修講師派遣 感染症対策 研修	メディカルコンシェル ジュ所属講師
		18	介護技術勉強会	移乗、A D Lの維持の方法等	株式会社大起エンゼル ヘルプ 田中義行講師
		8, 20	介護技術勉強会	平塚橋ホームでの実地研修	株式会社大起エンゼル ヘルプ 田中義行講師
	12	5	介護技術勉強会	シーティングの考えと実践	株式会社大起エンゼル ヘルプ 田中義行講師
8	1	6	ハラスメント対 策研修	介護事業者向け カスタマーハラ スメント対策説明会	厚生労働省（オンライ ン動画研修）

法人勉強会②（海外人材向け日本語研修・実務者研修支援研修・介護福祉士資格取得
支援研修）

年	月日	研修会名	内 容	担当・講師
7	7/ 9 8/13 9/10 10/ 8 11/12 12/ 3	海外人材向け 日本語研修	来日直後の職員を対象に、日本語 能力試験N 3 取得を目標とし、各 種教材を用いての日本語読み書 き・会話に関する勉強会の実施	事務局・法人職員
8	1/ 7 2/ 4 3/11			
7	9/25 10/23 11/27 12/25	実務者研修 支援研修	介護福祉士実務者研修の取得のた め、サポートを中心とした研修の 実施	事務局・法人職員
8	1/15 2/19			
7	10/22 11/19 12/17	介護福祉士資格 取得支援研修	介護福祉士国家資格取得にむけ、 試験対策と専門知識の理解を目的 とした勉強会の実施	日本福祉教育専門学校 岡本啓介講師
8	1/14 1/21			

施設内研修（成 幸）

年	月	日	研修会名	内 容	担当・講師
7	4	1～ 5/31	オンライン動画 研修	高齢者虐待、身体拘束防止	ジョブメドレー アカデミー
		25	サービス研究会	令和7年度サービス研究会 年間計画	課長
	5	1～	オンライン動画	看取り 1	ジョブメドレー

	6/30	研修	倫理 事故発生および再発防止（上期）	アカデミー	
	22	サービス研究会	腰痛予防体操	訓練室	
6	26	サービス研究会	食中毒予防	栄養室	
7	1～ 6/30	オンライン動画 研修	感染症 1 ・感染予防（衛生管理） 認知症ケア・プライバシー保護 ・認知症ケア 6 つの方法 ・個人情報保護	ジョブメドレー アカデミー	
	24	サービス研究会	高齢者虐待・権利擁護	課長	
8	28	サービス研究会	看取り	生活サービス室	
9	1～ 10/31	オンライン動画 研修	褥瘡予防 ・褥瘡になりやすい部位	ジョブメドレー アカデミー	
	25	サービス研究会	感染症 ・新型コロナウイルス・白癬	医務室	
10	23	サービス研究会	年末調整	事務室	
11	1～ 12/31	オンライン動画 研修	BCP ・なぜ今BCPが必要なのか 情報共有 ・情報共有の仕方の基本 ・記録の大事さ	ジョブメドレー アカデミー	
	27	サービス研究会	退院支援	支援センター	
12	25	サービス研究会	シーティングの考え方と実践	生活サービス室	
8	1	1～ 2/28	オンライン動画 研修	感染症 2 ・感染予防（手洗い） 高齢者虐待、身体拘束防止 ・高齢者逆や身体拘束を無くすための課題解決 ・スピーチロック	ジョブメドレー アカデミー
	22	サービス研究会	ストレスチェック	施設長	
	2	1～ 3/31	オンライン動画 研修	看取り 2 ・終末期経過のポイント 事故発生および再発防止（下期） ・事故の分析	ジョブメドレー アカデミー
	26	サービス研究会	デイサービス利用者アンケート結果	デイサービス	
3	26	サービス研究会	令和 8 年度介護報酬臨時改定の概要	施設長	

施設内研修

（戸越台）

年	月	日	研修会名	内 容	担当・講師
7	4	1～ 5/31	オンライン動画 研修	高齢者虐待、身体拘束防止	ジョブメドレー アカデミー
		1～6/30	オンライン動画 研修	看取り 1、倫理、事故発生および再 発防止（上期）	ジョブメドレー アカデミー
		17	サービス研究会	令和 7 年度のサービス研究会計画	施設長
	5	15	サービス研究会	障害福祉サービスについて	戸越台支援センター
	6	19	サービス研究会	身体拘束廃止のための指針	生活サービス室
	7	8/21	サービス研究会	手洗いについて（感染症対策ガイド ブック）	医務室

		1～8/31	オンライン動画 研修	感染症 1、認知症ケア・プライバシー 保護	ジョブメドレー アカデミー
	8	21	サービス研究会	食中毒について	栄養室
	9	18	サービス研究会	認知症と地域のつながり	デイサービス
		1～10/31	オンライン動画 研修	褥瘡予防	ジョブメドレー アカデミー
	10	16	サービス研究会	適切なケアマネジメント手法	支援センター
	11	1～ 12/31	オンライン動画 研修	BCP・情報共有	ジョブメドレー アカデミー
		20	サービス研究会	感染症対策について	医務室
	12	15	サービス研究会	腰痛予防	訓練室
8	1	1～3/31	オンライン動画 研修	高齢者虐待、身体拘束防止について（下 期）、看取り 2、事故発生および再発 防止	ジョブメドレー アカデミー
		15	サービス研究会	福祉避難所について	課長
	2	19	サービス研究会	デイサービスと地域のつながり	デイサービス
	3	26	サービス研究会	事故発生の防止・予防、緊急時の対 応	施設長

施設内研修

(往 原)

年	月	日	研 修 会 名	内 容	担当・講師
7	5	22	サービス研究会	食品衛生について	栄養室
	6	26	サービス研究会	褥瘡について、最近の感染症の動向に ついて	医務室
	7	24	サービス研究会	腰痛予防について	訓練室
		1～ 8/31	オンライン動画 研修	情報公表対応研修「接遇」「認知症」 感染症の予防とまん延防止、食中毒の 予防とまん延防止	お茶の水ケアサ ービス学院
	8	28	サービス研究会	看取りケアへの取り組みについて	生活サービス室
	9	25	サービス研究会	身寄りのない人の支援を考える品川介 護福祉専門学校授業概要	荏原在宅介護 支援センター
		1～ 10/31	オンライン動画 研修	医療につなぐために必要な医療知識「バ イタル編」「体調不良のサイン編」 情報公表対応研修「ターミナルケア/精 神的ケア」「虐待防止/身体拘束防止」	お茶の水ケアサ ービス学院
	10	23	サービス研究会	BCP机上訓練、災害想定ゲームを通して	施設長
		24	認知症研修	認知症の方の介護とそのポイント	大起エンゼルヘル プ 介護事業 部 理学療法士 田中義行講師
	11	11/1～ 12/31	オンライン動画 研修	情報公表対応研修「プライバシー保護/ 個人情報取り扱いの理解」「倫理・法 令遵守の理解」	お茶の水ケアサ ービス学院
		27	サービス研究会	法人の採用関連業務	事務室
	12	25	サービス研究会	なぜ今カスタマーハラスメント対策が 重要なのか？	小山在宅介護 支援センター
8	1	29	サービス研究会	リスクマネジメントと権利擁護	小山の家
		1～	オンライン動画	パワハラを理解する	お茶の水ケアサ

	3/31	研修	情報公表対応研修「事故防止の知識/緊急時対応の理解」「非常災害時の対応と業務継続（BCP）」	ービス学院
	30	排泄研修	適切なオムツ使用についての実地訓練	大王製紙
2	26	サービス研究会	意思決定支援の基本	小山台在宅介護支援センター
3	26	サービス研究会	介護福祉現場におけるストレスとアンガーマネジメント	施設サービス課長

施設内研修

(平塚橋)

年	月	日	研修会名	内 容	担当・講師
7	4	1～5/31	オンライン動画研修	高齢者虐待、身体拘束防止	ジョブメドレーアカデミー
	5	1～6/30	オンライン動画研修	看取り 1・倫理・事故発生および再発防止（上期）	ジョブメドレーアカデミー
		18	サービス研究会	令和 7 年度のサービス研究会計画	施設長
		15	サービス研究会	人権・虐待	施設長
	6	19	サービス研究会	食中毒について	栄養室
	7	17	サービス研究会	看取り	医務室
		1～8/31	オンライン動画研修	認知症ケア・プライバシー保護	ジョブメドレーアカデミー
	8	21	サービス研究会	身体拘束・虐待について	課長
	9	18	サービス研究会	ストレスマネジメント	生活サービス室
		1～10/31	オンライン動画研修	褥瘡予防	ジョブメドレーアカデミー
	10	2～15	感染症勉強会	手洗いの正しい方法 手洗いチェッカーを使用した確認	医務室
		16	サービス研究会	感染症予防	医務室
	11	20	サービス研究会	褥瘡	生活サービス室
		1～12/31	オンライン動画研修	BCP・情報共有	ジョブメドレーアカデミー
	12	18	サービス研究会	スライディングボード使用について腰痛予防	訓練室
8	1	15	サービス研究会	心理的孤立について（身体拘束・虐待）	施設長
		1～3/31	オンライン動画研修	感染症 2・高齢者虐待について・身体拘束防止について（下期）・看取り 2	ジョブメドレーアカデミー
	2	19	サービス研究会	リスクマネジメント	課長
	3	19	サービス研究会	ユマニチュードについて	施設長

※上記勉強会資料を各ユニットで回覧、休憩室に資料を設置。

(2) 実習生受入れ

(単位：人)

区 分	延べ人数	福祉系大学 専門学校等		その他	
		人数	延人数	人数	延人数
成 幸	96	18	73	23	23
戸 越 台	309	85	276	3	33
荏 原	261	102	251	4	10
小山の家	51	8	16	7	35
平 塚 橋	77	2	34	43	43

区 分	主な実習依頼先
成 幸	品川介護福祉専門学校、東京医科大学、東京未来大学福祉保育専門学校
戸越台	品川介護福祉専門学校、日本福祉教育専門学校、東京医療保健大学、女子栄養大学、実践女子大学、昭和大学歯学部、昭和大学医学部附属看護専門学校、東京医科大学、東京都介護支援専門員実務者研修
荏 原	品川区社会福祉協議会、品川介護福祉専門学校、日本福祉教育専門学校、東京医科大学、東京医療保健大学、昭和大学医学部附属看護専門学校、女子栄養大学、東京家政大学
小山の家	昭和大学医学部附属看護専門学校、日本体育大学、法政大学
平塚橋	品川介護福祉専門学校、東京医療保健大学、東京医科大学、東京未来大学福祉保育専門学校

(3) 見学

<団体見学>

6月23日、30日 品川区役所福祉部福祉計画課 平塚橋ホーム

【年間の見学】

(単位：人)

区 分	入所(居)検討 サービス利用前検討	就職検討 職場見学	団体・企業
成 幸	15	7	—
戸越台	29	6	—
荏 原	55	8	—
小山の家	4	1	—
平塚橋	111	7	11

(4) 近隣との交流

新型コロナウイルス感染が5類に移行後、これまでに交流のあった小中学校や保育園、近隣町会の地域活動への参加を継続した。

(地域事業)

9月27日 みんな集まれ「ふくしまつり」に参加

10月19日 荏原第三地区区民まつりに参加

【実施した事業】

(成幸)

令和7年7月10日	ソラストえばら保育園来所
9月16日	ソラストえばら保育園に訪問
9月19日	ソラストえばら保育園来所
9月27・28日	町会祭禮(神輿、盆踊り)
10月8・9日	品川区立荏原第六中学校 職場体験
10月29・30日	玉川聖学院 ボランティア
12月6日	品川区立中延小学校 防災訓練に参加
令和8年3月17日	中延一丁目・中延二丁目・西中延一丁目・西中延二丁目・東中延一丁目町会・荏原消防署合同防災訓練

(戸越台)

令和7年5月24日	戸越台中学校運動会見学
7月9日	戸越台中学校「認知症サポーター養成講座」
7月4日	戸越台中学校との七夕交流会
8月13, 15, 20日	戸越台中学校 夏休みボランティア活動
9月13日	町会祭禮(神輿見学・交流)
9月25～26日	戸越台中学校 職場体験
10月7日	東戸越保育園児来園
11月7日	宮前小学校 職場体験
11月29日	大崎中学校・戸越台中学校 吹奏楽演奏会
12月6日	戸越台中学校・三町会避難所訓練
令和8年3月10日	戸越台中学校「認知症サポーターステップアップ講座」
3月25日	合同防災訓練

(荏原)

令和7年10月7～9日	荏原第六中学校 職場体験
9月29～30日	荏原平塚学園 職場体験
令和8年2月13日	荏原第六中学校 進路学習「六中寺子屋」

(小山の家)

令和7年9月14～15日	荏原平塚学園 職場体験
--------------	-------------

10月7～9日	荏原第六中学校 職場体験
(平塚橋)	
令和7年6月	とごしの杜保育園園児作品展展示「雨の玉すだれ」、 「虹のちぎり絵」
7月23日	東中延児童センター「eスポーツ交流会」
9月19日	とごしの杜保育園園児の発表会（ダンス・歌）
9月29～30日	荏原平塚学園 職場体験
10月	石井こども園園児 作品展「みんなの宇宙」
令和8年2月18～24日	合同作品展
3月	とごしの杜保育園作品展 東京消防庁キャラクター 「キュータ」ぬり絵
3月4日	平塚四丁目町会、中延一丁目町会、西中延一丁目町会、 区営住宅、荏原消防署、ゆうゆうプラザ利用者合同防 災避難訓練
令和7年5月20日、10月21日、11月18日、12月16日、 令和8年1月20日、2月17日、3月17日	石井子ども園 絵本読み聞かせ来所

(5) ボランティア事業報告

【ボランティア活動実績】

(成幸)

・配膳、下膳、お話し相手	1人 週1回
・配膳、下膳、お話し相手	1人 月2回
・ピアノ演奏	1人 月2回
・車いす清掃	年間5回

(戸越台)

・洗濯たたみ	3人 週1回
・洗濯たたみ	1人 週2回
・車いす清掃	年間5回

(荏原)

・車いす清掃	年間4回
--------	------

(小山の家)

・活動人数	1人
・昼食、おやつ、お話し相手	週1回

(平塚橋)

・車いす清掃	年間5回
・ゆうゆうプラザもりあげ隊	5人 随時

別表 ボランティア登録状況（定期）

施設名	活動内容	登録人数	活動回数
成 幸	リハビリ	3	週 1 ～ 2 回
	洗濯たたみ	2	週 1 ～ 3 回
	ホーム喫茶・バイキング（民生委員）	11	計11回
	ピアノとアコーディオン	4	月 1 回
	話し相手	1	週 1 回
	クラブ手伝い	1	月 2 回
	ピアノ演奏	1	週 1 回
戸 越 台	リハビリ	9	週 1 ～ 2 回
	ドライヤー	1	週 1 ～ 2 回
	夕食手伝い	1	週 1 回
	生花	1	月 1 回
	車いす清掃	12	月 1 回
	シーツ交換	4	月 1 回
	エレクトーン演奏	1	月 1 回
	三味線演奏・紙芝居・歌	6	月 1 回
	ホーム喫茶（民生委員）	12	月 1 回
	昼食手伝い	3	週 1 回
	フロア清掃	4	週 2 回
	洗濯たたみ	6	週 1 ～ 2 回
	ホーム喫茶	5	月 1 回
荏 原	デイサービスお茶出し	2	週 1 回
	ショートステイ話し相手	1	週 1 回
	デイサービスカラオケ補助	1	週 1 回
	デイサービス下膳	6	週 1 回
	ピアノ演奏	3	週 1 ～ 2 回
	縫いもの	1	不定期
	紙芝居	1	週 2 回
	リハビリ手伝い	3	週 1 回
小山の家	昼食手伝い	1	週 1 回
	おやつ手伝い	1	週 1 回
	食後の片づけ手伝い	—	なし
	散歩介助	—	なし
平 塚 橋	ゆうゆうプラザもりあげ隊	5	随時
	ゆうゆうプラザ窓ガラス装飾	5	計 2 回

※ボランティア登録者を掲載（活動実績と異なる）

各施設の実施状況 成幸ホーム：ピアノ演奏 戸越台ホーム：洗濯たたみ、車いす清掃 荏原ホーム、平塚橋ホーム：車いす清掃

(6) 令和7年度行事表

(成 幸)

月	日	行 事	場 所
5	5～7	菖蒲湯	浴室
8	13～16	お盆	館内
9	13	敬老式典	1 階
	20～26	お彼岸	館内
12	21	クリスマス会	2・3・4 階
	21～27	デイサービス クリスマス週間	デイサービスセンター
	19～22	ゆず湯	浴室
2	3	節分	2・3・4 階
3	17～23	お彼岸	館内

(戸越台)

月	日	行 事	場 所
5	2～5/8	菖蒲湯	浴室
7	4	七夕交流会（戸越台中学校来園）	7 階
	14	すいか割り	5 階
		夏まつり	デイサービスセンター
9	13	戸越銀座町会神輿	駐車場
	14	敬老式典	8 階
12	11	クリスマス会（特養）	
	20	クリスマス会	デイサービスセンター
	18～24	ゆず湯	浴室
1	1, 2, 3	初詣	8 階
	～10	新年週間	デイサービスセンター
	16～22	戸越台中学校作品展に出品	ランチルーム
2	3	節分（特養）	5・6・7 階、デイサービスセンター
3	25	合同防災避難訓練（三町会、品川区防災課）	地下1 階、7 階、屋上

(荏原・小山)

月	日	行 事	場 所
5	3～5	菖蒲湯	浴室
7	7	七夕	館内
	20	スイカ割り大会	3 階・4 階
8	24	アイス会	3 階
9	14	敬老お祝いの会	1 階ロビー
12	22	クリスマス会	3 階・4 階
	19～25	クリスマス週間	デイサービスセンター
12	19～21	ゆず湯	浴室
	20	ハンドベルコンサート	1 階ロビー
1	1～3	初詣	3 階・4 階
2	3, 4	節分	3 階・4 階

(平塚橋)

月	日	行 事	場 所
5	5～7	菖蒲湯	浴室
9	13	敬老式典	1 階ゆうゆうプラザ館内
12	22～24	ゆず湯	浴室
3	4	合同防災避難訓練（春の火災予防運動に伴う消防訓練・救命講習）	1 階ゆうゆうプラザ館内

社会福祉法人 三 徳 会
令和 7 年度事業報告書

発行者 小濱 哲二

令和 8 年 6 月 15 日発行

〒142-0053 東京都品川区中延1-8-7

TEL. 03 (3787) 3616 (代表)

